

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

図 面 目 録										
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	
	建築		建築		建築		電気設備		機械設備	
	表紙・目次	A-26	屋外階段 B 平面詳細図 (改修前後)	A-52	2 階支援室 (1) 展開図 (改修前後)	E-01	電気設備工事特記仕様書 (1)	M-01	機械設備工事特記仕様書 (1)	
A-01	改修特記仕様書 (1)	A-27	屋外階段 B 断面詳細図 (改修前後)	A-53	3 階資料室 平面詳細図 (改修前後)	E-02	電気設備工事特記仕様書 (2)	M-02	機械設備工事特記仕様書 (2)	
A-02	改修特記仕様書 (2)	A-28	普通教室 4 階 1-3 教室 平面詳細図・展開図 (改修前後)	A-54	3 階資料室 展開図 (改修前後)	E-03	電気設備工事特記仕様書 (3)	M-03	給排水衛生設備 1 階平面詳細図 (改修前後)	
A-03	改修特記仕様書 (3)	A-29	普通教室 3 階 2-1 教室 平面詳細図・展開図 (改修前後)	A-55	4 階生徒会室 平面詳細図 (改修前後)	E-04	電気設備 配置図 (改修後)	M-04	給排水衛生設備 2 階平面詳細図 (改修前後)	
A-04	改修特記仕様書 (4)	A-30	普通教室 4 階 1-6, 1-5 教室 平面部分詳細図・展開図 (改修前後)	A-56	4 階生徒会室 展開図 (改修前後)	E-05	電灯・コンセント・動力設備 1 階平面図 (改修前後)	M-05	給排水衛生設備 3 階平面詳細図 (改修前後)	
A-05	改修特記仕様書 (5)	A-31	普通教室 4 階 1-2, 1-1, 3 階 2-3, 2 階 3-3 教室 平面部分詳細図・展開図 (改修前後)	A-57	1 階昇降口廻り詳細図 (1) (改修前後)	E-06	電灯・コンセント・動力設備 2 階平面図 (改修前後)	M-06	空調・換気設備 1, 2 階平面詳細図 (改修前後)	
A-06	改修特記仕様書 (6)	A-32	1 階廊下 展開図 (改修前後)	A-58	1 階昇降口廻り詳細図 (2) (改修前後)	E-07	電灯・コンセント・動力設備 3 階平面図 (改修前後)	M-07	空調・換気設備 3, 4 階平面詳細図 (改修前後)	
A-07	改修特記仕様書 (7)	A-33	2 階廊下 展開図 (改修前後)	A-59	1_4 階 天井伏図 (改修前後)	E-08	電灯・コンセント・動力設備 4 階平面図 (改修前後)			
A-08	建築概要・付近見取図・配置図	A-34	3 階廊下 展開図 (改修前後)	A-60	建具表 (改修前後)	E-09	自動火災報知設備系統図			
A-09	仕上表 (1)	A-35	4 階廊下 展開図 (改修前後)	A-61	部分詳細図 (1)	E-10	弱電・自動火災報知設備 1 階平面図 (改修前後)			
A-10	仕上表 (2)	A-36	1, 2 階 天井伏図 (改修前後)	A-62	部分詳細図 (2)	E-11	弱電設備 2 階平面図 (改修後)			
A-11	普通教室棟 1 階 平面図 (改修前後)	A-37	3, 4 階 天井伏図 (改修前後)	A-63	鉄骨標準図	E-12	自動火災報知設備 2 階平面図 (改修前後)			
A-12	2 階 平面図 (改修前後)	A-38	1, 2 階 建具伏図	A-64	エレベーター廻り構造詳細図 (1)	E-13	弱電・自動火災報知設備 3 階平面図 (改修前後)			
A-13	3 階 平面図 (改修前後)	A-39	3, 4 階 建具伏図	A-65	エレベーター廻り構造詳細図 (2)	E-14	弱電・自動火災報知設備 4 階平面図 (改修前後)			
A-14	4 階 平面図 (改修前後)	A-40	建具表 (1) (改修前後)	A-66	1 階廊下 劣化調査 (参考)	E-15	電気設備 普通教室棟 2, 3 階平面図			
A-15	屋根・PH屋根 平面図 (改修前後)	A-41	建具表 (2) (改修前後)	A-67	2 階廊下 劣化調査 (参考)	E-16	電気設備 普通教室棟 4 階, 屋上平面図			
A-16	南・西立面図 (改修前後)	A-42	昇降口管理棟 1 階 平面図兼仮設計画図 (1) (改修前～夏休み期間)	A-68	3 階廊下 劣化調査 (参考)					
A-17	北・東立面図 (改修前後)	A-43	1 階 平面図兼仮設計画図 (2) (二学期以降)	A-69	4 階廊下 劣化調査 (参考)				昇降機設備	
A-18	断面図 (既存)	A-44	1 階 平面図 (改修後)	A-70	仮設計画図 (参考)			EV-01	エレベーター詳細図 (1) (参考図)	
A-19	断面詳細図 (1) (改修前)	A-45	2 階 平面図兼仮設計画図 (改修前後)					EV-02	エレベーター詳細図 (2) (参考図)	
A-20	断面詳細図 (2) (改修後)	A-46	3 階 平面図兼仮設計画図 (改修前後)					EV-03	エレベーター詳細図 (3) (参考図)	
A-21	屋内階段 平面詳細図 (改修前後)	A-47	4 階 平面図兼仮設計画図 (改修前後)					EV-04	エレベーター詳細図 (4) (参考図)	
A-22	屋内階段 断面詳細図 (改修前)	A-48	エレベーター廻り 断面詳細図 (改修前後)					EV-05	エレベーター詳細図 (5) (参考図)	
A-23	屋内階段 断面詳細図 (改修後)	A-49	1 階倉庫 平面詳細図 (改修前後)					EV-06	エレベーター詳細図 (6) (参考図)	
A-24	屋外階段 A 平面詳細図 (改修前後)	A-50	1 階倉庫 展開図 (改修前後)					EV-07	エレベーター詳細図 (7) (参考図)	
A-25	屋外階段 A 断面詳細図 (改修前後)	A-51	2 階支援室 (1) 平面詳細図 (改修前後)							

工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

II. 工事概要

1 工事場所

津市桜橋二丁目 地内

2 敷地面積

24,462㎡

3 工事内容

様名称

普通教室棟、昇降口管理棟

構造

鉄筋コンクリート造

建築面積

777.10㎡（普通教室棟）427.3㎡（昇降口管理棟）

延べ面積

3,145㎡（普通教室棟）1,453㎡（昇降口管理棟）

工事項目

防水改修、外壁改修、内装改修、建具改修、塗装改修、躯体改修、昇降機設置（既設建物内）、20-F設置

III. 建築改修工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修棟の該当項目等を示す。

章

項目

特記事項

①

① 適用基準等

1）公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

2）公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

3）建築物解体工事共通仕様書
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

4）建築工事標準詳細図
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

② 施工条件

施工方法及び検査に関する事項

※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。

※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。

※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。

※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。

※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。

※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。

※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。

※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。

※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。

※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。

※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。

※ 工事作業については、学校運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。

※ 撤去工事等の騒音及び振動が生じる作業は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。

※ 外部足場の設置及び解体は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。

※ 夏休み中等の学校休校日であっても部活動等の団体が利用する場合があるため、安全に十分注意すること。

※ 作業後の校舎等の施設については学校側と十分協議を行うこと。

※ 原則として、撤去工事等の現場への本格着手は7月20日からとする。但し、学校及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りではない。

※ 本工事は、通常授業時に限らず夏休み中であっても部活動等の利用をしながらの改修工事となるため、施工に先立ち、学校及び市監督員と協議の上、施工工程を作成し、市監督員の承諾を得てから工事を行うこと。

※ 外壁補修（浮き部、ひび割れ補修等）は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うものとする。

※ 外廊鉄部塗替えにおいて、下地調整ケレン時に集じん機付きディスクグラインダーの使用又は湿潤化し飛散発生するなど粉塵の飛散防止に努めること。

※ 高所等の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。

※ 工事用水、電力については校内既存の施設を無償で利用できる。但し、学校行事に影響しないよう事前に打合せのうえ計画し、施工すること。

※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

※ 夏休み期間、生徒昇降口を立入制限する為、下足入れ（50足分）を一時的に設置し、対応すること。また設置位置については、協議によるものとする。

※ 下記に示す諸室の改修工事について、2学期または3学期以降の学校運用に支障が無いよう、市検査課の中間検査（書類を含む）を受け、引き渡すこと。なお、下記に中間検査対象箇所及び引渡し計画時期を示す。但し、学校との協議により運営に支障がない範囲であれば、施工範囲を変更できるものとする。（8月中引渡）
<普通教室棟>
・内部改修部（普通教室、廊下、階段室）
・外壁 南面、西面（西面にいたっては1Fが給食搬入口となっているため2学期開始までに足場撤去まで完了すること。）
<昇降口管理棟>
・外部スロープ・生徒昇降口アルミ建具及びSUSグレーティング

※ 各諸室（1クラス30名程度）について、作り付け家具のほか、机等の備品があるため、作業に際し移設及び養生を適宜行うこと。（平面詳細図参照）
なお、下記に各諸室の主要な備品を明記する。
・普通教室：机、椅子及び教卓
・昇降口：下足入れ、傘立て、掲示板、案内板等
・廊下：掲示板、タレット保管庫

③ 発生材の処理等

(1.3.12)

本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。
分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	○有・無	○手作業 ○手作業、機械作業の併用
屋根	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○有・無	○手作業 ○手作業、機械作業の併用
その他（ ）	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

④ 建設副産物情報交換システムの利用

⑤ 三重県産業廃棄物税

6 電気保安技術者

(1.3.3)

7 技能士

(1.6.2)

⑧ 施工数量調査

(1.5.2)

9 調査のための破壊部分の補修

(1.5.3)

⑩ 建築材料等

① 化学物質の濃度測定

(1.6.9)

② 特別な材料の工法

③ 騒音・振動の防止

④ 工事写真

(1.2.4)

⑤ 完成図等

(1.8.2)
(1.8.3)

⑥ 完成写真

⑦ 設備工事との取合い

⑧ 既存部分等への処理

(1.3.13)

⑨ 事故報告

○ 引き渡しを要するもの
・ 特別管理産業廃棄物
○ 水銀仕様製品産業廃棄物
○ 有○ 蛍光灯ランプ・HIDランプ・（ ）
「水銀廃棄物ガイドライン」（第2版）（平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）に基づき適切に処理すること。
○ 石綿含有成形板等解体時の留意点
1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。
3. 飛散されない様にする。こと。
4. 保護具及び作業着を着用すること。
5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。
・ 現場において再利用を図るもの
○ 再資源化を図るもの
○ コンクリート塊
・ アスファルトコンクリート塊
・ 建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調査を作成し、監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。
なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

配置する

職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。

調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による

補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）

1） 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
2） 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

測定対象化学物質（●で示したものとす。）

通用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
●	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●			●		
	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定箇所数 ○ 図示（図面番号： A-12、A-13、A-14 ） ・ （ ）
測定方法 ○ バッシブ法 ・ アクティブ法
測定時期 ○（ 改修前、改修後 ）
報告書提出部数 2部

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官庁官庁営繕部（最新版）)に従い撮影する。
提出部数1部 用紙は上質紙とする。
なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（令和5年3月1日国営建技14号）」による。

作成する（○ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ （ ））
完成図作図範囲（設計図を訂正）
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。
○ デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。
（A4版用紙に1ページあたり3枚）1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

施工範囲
○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
○ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ

施工図
○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
工事施工に際し、既存部分を汚損した場合は又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

② 消防提出書類

② 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

② 不正軽油の使用の禁止

23 屋外広告物

② 石綿含有建材の調査

(1.5.1)

② 騒音・粉じん等の対策

(2.1.3)

② 足場

(2.2.1)
(表2.2.1)

③ 既存部分の養生

(2.3.1)

④ 仮設間仕切り

(2.3.2)
(表2.3.1)

5 監督員事務所

(2.4.1)

6 監督員事務所の設備・備品等

(2.4.1) ② (7)

⑦ 仮設便所

⑧ 工事用水

⑨ 工事用電力

⑩ 交通誘導警備員

1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
○ 本工事 ○ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事） ・ 別途工事
2) 防火対象物使用開始届出書
労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。
1) 一般事項
工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2) 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。
○ 石綿含有建材の事前調査
調査範囲 ○ 改修部分すべて ・ （ ）
貸与資料 ・ 既存の設計図書 ○ 石綿含有建材の調査報告書 ・ （ ）
・ 分析調査
分析対象 アクリルノリ、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トシモライト
分析方法

材料名	定性分析法 JIS A 1481-1 JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4 JIS A 1481-5
	・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）
	・ 箇所数（ ）	・ 箇所数（ ）

サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図面（図面番号： ） ・ （ ）

・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）
・ 防音シート 設置範囲 ○

設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

内部足場の種別（参考） ○ 脚立 ・ 足場板 ○ その他（階段足場、ｼﾌﾄ内足場）
外部足場の種別（参考） ○ 枠組木足場手摺先行据置式 ・ 移動足場 ・ 高所作業車
外部足場設置範囲（参考） ○ 外部改修部 ・ 設備改修部 ○ 昇降用 ・ 転落防止
防護シート等による養生 ○ 適用する ・ 適用しない

足場の組立て後、足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。
つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。
1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者
2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参照書」に必要な資格を有する者
3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1）又は2）に掲げる者と同等の知識・経験を有する者

既存部分の養生 ・ 図示（ ）
既存ブラインド・カーテンの養生
養生方法（ ）
保管場所 ・ 構内既存施設内
固定された備品、机、ロッカーの移動
○ 行う ・ 行わない

屋内の仮設間仕切り ・ A種 ○ B種 ・ C種 ○ 図示
合板 厚さ ・ 9mm ・ （ ）
せっこうボード 厚さ ○ 9.5mm ・ （ ）
合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ○ 行わない
仮設扉 設置箇所 ○ 図示（ A-42、A-43、A-45、A-46、A-47 ）
仕様 ・ 合板張り木製扉 ・ （ 図示 ）

・ 構内建物内の一部を使用する。
・ 設置する ・ 設置しない
監督員事務所の規模(単位:m)

適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
------	------	------	------	------	-------

監督員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調査ペイント塗り

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

構内既存の施設
・ 利用できる ○ 利用できない

構内既存の施設
○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない
構内既存の施設
○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない
有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。
配置 ○ 図示（ A-70 ）

特記

月

日

U 建築設計

設計番号

年 月 日

縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

N0.

三 重 県 津 市 白 塚 町 5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

設計

一級建築士事務所 一級建築士第248160号

登録番号（1）第2118号 内 田 貴 之

改修特記仕様書（1）

A-01
**
原 図：A2

③

防水改修工事

1

アスファルト防水

(3.3.3)~
(表3.3.3)~
(表3.3.10)

改質アスファルトルーフィングシート

種類・改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による・()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類・改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による・()

(3.3.2)

断熱工法の断熱材 (PIB1, P2A1, T1B1, POD1, M3D1, M4D1)

材質・()
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキンあり)
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種 1号
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種 2号
厚さ・()
ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置・図示(図面番号:)

(3.3.3)(2)(イ)
(3.3.3)(3)

脱気装置 (M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1)

・設ける(設置数量・図示(図面番号:), 材質())
・設けない
・仕上塗料 種類() 使用量()

(3.3.5)

保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ・水下80mm以上・()
床タイル張り・水下60mm以上・()

(表8.1.5)

こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ

a種・b種・c種

保護層・設ける・設けない
屋上排水溝の適用・適用する
立上り保護・乾式保護材()
・れんが(材種・JIS R1250)

2

改質アスファルトシート防水

(3.4.2)

改質アスファルトシート

種類・改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による・()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類・改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による・()

断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POAS1)

材質、厚さ()
図示・()

(3.4.3)
(表3.4.1)~
(表3.4.3)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・M4AS	・AS-T1・AS-T2 ・AS-J2		

脱気装置

・設ける(設置数量・図示(図面番号:), 材質())
・設けない

3

合成高分子系ルーフィングシート防水

(3.5.2)

ルーフィングシート

種類・改修標準仕様書(表3.5.1)~(表3.5.3)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.5.1)~(表3.5.3)による・()

絶縁用シート・発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質及び寸法形状・図示()

断熱工法の断熱材 (POS1, S4S1, S4S1, S3S1, M4S1)

材質、厚さ()
・図示()

(3.5.3)
(表3.5.1)~
(表3.5.3)

工法	種別	種別	仕上塗料
・S3S ・S3SI	・S-F1(SI-F1) ・S-F2(SI-F2)		

脱気装置

・設ける(設置数量・図示(図面番号:), 材質())
・設けない

(3.5.4)

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合

目地処理・図示(図面番号:)
増張り・図示(図面番号:)
保護層の施工・図示(図面番号:)

④

塗膜防水

(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3)(1)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・POX L4X	・X-1・X-2	平場部分(屋上)	フッ素仕上
・POX L4X	・X-1・X-2	立上り部分(屋上、 笠木天端)	フッ素仕上

脱気装置

・設ける(設置数量・図示(図面番号: A-15), 材質(ステン製))
・設けない

(3.6.3)(2)

工法	種別	施工箇所
・PIY ・P2Y	・Y-2	

保護層・図示(図面番号:)

(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1)

・行う・行わない
(L4X)・行う・行わない

5

既存防水層表面の仕上塗装の除去

(3.2.6)(3)(イ)
(3.2.6)(3)(ハ)

6

シーリング

(3.7.2)
(表3.7.1)

材料

種類	材種	施工箇所
・SR-1	シリコーン系	かざ廻り
・MS-2	変成シリコーン系	建具廻り
・PS-2	ポリサルファイド系	スロ-フ
・PU-2	ポリウレタン系	

(3.7.4~7)

7

とい

(3.8.2)
(表3.8.1)
(表3.8.2)

工法

・シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法

シーリング材の試験

・簡易接着性試験・引張接着性試験・行わない

材種

・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)・配管用鋼管(白管)
・()

とい受金物及び足金物

といの材種	形状	取付け間隔

工法

・図示(図面番号:)

部材の種類

・押出し250形
・押出し300形
・押出し350形
・板材折曲げ形(本体幅()mm、板厚・2.0mm・())

固定金具の間隔(mm)

固定方法・()

表面処理・()

工法

既存笠木等の撤去・図示(図面番号:)
下地補修の工法・図示(図面番号:)
板材折曲げ形の笠木の取付方法・図示(図面番号:)
笠木固定金具の工法・図示(図面番号:)

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

⑨

保証書

工事区分	材料名	保証年数
防水工事	・防水	・0年・年

※防水施工業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。

④

外壁改修工事

①

施工数量調査

(4.1.4)
(4.1.5)

・行う・行わない

調査範囲・全面・()
・ひび割れ部(・幅0.2mm未満・0.2mm以上~1.0mm以下・1.0mm超)

調査項目・はがれ及びはく落部分
・浮き部

調査方法・打診、目視及びクラックスケール等(・足場・ゴンドラ)

報告書2部(立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

外壁	種類	改修工法
・コンリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法
	欠損部	・()
	ひび割れ部	・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法
	欠損部	・充填工法 ・モルタル塗替え工法
・モルタル塗り仕上げ外壁	浮き部	・アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・充填工法 ・モルタル塗替え工法
	ひび割れ部	・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法
	欠損部	・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法
	浮き部	・アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法
	目地	・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法
・塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・薄付け仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ・複層仕上塗材塗り ・可とう形改修用仕上塗材塗り ・各種塗料塗り ・マステック塗材塗り ・外壁用塗膜防水材塗り

③

改修工法等

(4.2.2)(1)
(4.3.4)
(4.4.5)
(4.5.5)

・樹脂注入工法

種類・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
・注入量()注入間隔()
・手動式エポキシ樹脂注入工法
・注入量()注入口間隔()
・機械式エポキシ樹脂注入工法
・注入量()注入口間隔()

材料

エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)
・低粘度形・中粘度形

コア抜取検査

・行う・行わない
・抜取り個数()
・抜取り部分補修方法()

(4.2.2)(2)
(4.3.5)
(4.4.6)
(4.5.6)

(4.2.2)(2)

Uカットシール材充填工法

材料

・シーリング用材充填
(・PU-1・PU-2・())
・可とう性エポキシ樹脂充填

シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填

・行う・行わない

(4.2.2)(3)
(4.3.6)
(4.4.7)

・シール工法

材料

・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(4)
(4.3.7)
(4.4.8)

・充填工法

材料

・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(7)
(4.4.9)

・モルタル塗替え工法

材料

・現場調査材料・既調査材料
・既製目地材の適用及び形状()
・仕上げ厚(50mm)

(4.2.2)(5)
(4.4.10)
(図4.4.1)

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数

・標準・()
材料

・ステンレス鋼(SUS304)・()

(4.2.2)(5)
(4.4.11)
(図4.4.2)

・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数び注入口の数

・標準・()
材料

・ステンレス鋼(SUS304)・()

(4.2.2)(5)
(4.4.12)
(図4.4.2)

・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

アンカーピンの本数び注入口の数

・標準・()
材料

・ステンレス鋼(SUS304)・()

(4.2.2)(6)
(4.4.13)
(図4.4.3)

・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数

・標準・()
材料

・ステンレス鋼(SUS304)・()
呼び径

・6mm・()

(4.2.2)(6)
(4.4.14)
(図4.4.4)

・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数

・標準・()
材料

・ステンレス鋼(SUS304)・()
呼び径

・6mm・()

(4.2.2)(6)
(4.4.15)
(図4.4.4)

・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置

・標準・()
材料

・ポリマーセメントスラリー()
・注入口付アンカーピン(・ステンレス鋼(SUS304)・())
呼び径

・6mm・()

(4.2.2)(8)
(4.5.7)

・タイル部分張替え工法

張替え材料

・ポリマーセメントモルタル
・接着剤(一液反応硬化形変成シリコーン樹脂)・()

(4.2.2)(8)
(4.5.8)
(表4.5.4)

・タイル張替え工法

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
		・密着張り	5~8
		・改良積み上げ張り	7~10
・外装タイル	小口以上二丁掛け以下	・改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4
・ユニットタイル	・25mm角を超え小口未満 ・小口未満	・マスク張り	3~4
		・モザイクタイル貼り	3~5

(4.5.15)

・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法

注入口付アンカーピンの本数(本)

(4.2.2)(9)
(4.5.16)

・目地ひび割れ部改修工法

伸縮調整目地改修工法

伸縮調整目地

(位置 寸法 ×)

検査

シーリング接着性試験
・行う(・簡易接着性試験・引張接着性試験)

特記

月 日

U 建築設計

三 重 県 津 市 白 塚 町 5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

設計番号

年 月 日

縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

N0.

改修特記仕様書(2)

A-02

登録番号(1)第2118号

内 田 貴 之

設計

原 図: A2

④

塗り仕上げ
(4.2.2)(10)
(表4.2.4(その1)
(その2))

種 類

呼び名

仕上げ形状

工法

薄付け仕上塗材

○ 外装薄塗材E

○ 砂壁状

・ ゆず肌状

・ 平たん状

・ 凹凸状

・ ゆず肌状

・ さざ波状

・ 着色骨材砂壁状

吹付け

こて

ローラー

吹付け

こて

・ ()

・ ()

・ ()

厚付け仕上塗材

・ 外装厚塗材C

・ 吹放し

・ 凸部処理

・ 平たん状

・ 凹凸状

・ ひき起し

・ 掻き落とし

吹付け

こて

・ 外装厚塗材Si

・ 外装厚塗材E

・ 吹放し

・ 凸部処理

・ 平たん状

・ 凹凸状

・ ひき起し

吹付け

・ こて

・ ローラー

複層仕上塗材

○ 複層塗材E

・ 複層塗材RE

・ 防水形複層塗材E

・ 防水形複層塗材RE

・ 吹放し

・ 凸部処理

○ 凹凸状

ローラー

吹付け

・ ()

・ ()

・ ()

可とう形改修用
仕上塗材

・ 可とう形改修塗材E

・ 可とう形改修塗材RE

・ 可とう形改修塗材OE

・ 平たん状

・ さざ波状

・ ゆず肌状

ローラー

吹付け

・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量 (kg/㎡2)

・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種

複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類

樹脂種類

溶媒種類

外 観

・ アクリル系

・ 溶剤系

・ 弱溶剤系

・ 水系

・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック

・ 艶有 ・ 艶無

・ 艶有 ・ 艶無

・ シリカ系

・ 水系

・ 艶無

・ ポリウレタン系

・ 溶剤系

・ 弱溶剤系

・ 水系

・ 艶有 ・ 艶無

・ 艶有 ・ 艶無

・ 艶有 ・ 艶無

・ アクリル
シリコン系

・ 溶剤系

・ 弱溶剤系

・ 水系

・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック

・ 艶有 ・ 艶無

・ 艶有 ・ 艶無

○ ふっ素系

・ 弱溶剤系

○ 水系

・ 艶有 ・ 艶無

○ 艶有 ・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法

種類

仕上げの形状

工法

外壁用塗膜防水材

・ 凹凸状

・ 凸部処理

・ ゆず肌状

・ さざ波状

吹付け

ローラー

既存塗膜等の除去及び下地処理

工法

処理範囲

・ サンダー工法

・ 高圧水洗工法

・ 塗膜はく離剤工法

○ 水洗い工法 (・ デッキブラン ○ 高圧ポンプ(10～15MPa))

外壁

巾木

下地調整

・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()

⑤

建 具
改 修 工 事

1 改修工法
(5.1.3)

○ かぶせ工法

○ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法

2 防火戸
(5.1.4)

・ 撤去工法

・ はつり工法 ・ 引抜き工法

3 見本の製作
(5.1.5)

・ 例示仕様

・ 個別認定 (認定番号:)

・ 自動閉鎖機構

・ 図示 (図面番号:)

4 防犯建物部品
(5.1.7)

・ 製作する

・ 製作しない

5 プラインドボッ
クス等
(5.1.6)(3)

・ 図示 (図面番号:)

5 プラインドボッ
クス等
(5.1.6)(3)

・ 再使用する

・ 再使用しない

⑥

アルミニウム製
建具

外部建具の性能等級等 ○ A種 ・ B種 ・ C種

○ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ○ (図示)

・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)

・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)

・ 耐震ドアセット (等級)

・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類

・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外)

・ BA-1 ・ BA-2 ()

○ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外)

・ BB-1 ○ BB-2 ・ ()

・ 内部に面する建具

・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()

7 網戸
(5.2.3)(5)

・ 可動式 ・ 固定式

防虫網の材質

・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製

網目

・ 16メッシュ ・ 18メッシュ

8 樹脂製建具
(5.3.2)～(5.3.5)
(表5.3.1)～
(表5.3.3)

外部に面する樹脂製建具の性能等級等

・ A種 ・ B種 ・ C種

9 鋼製建具
(5.4.2)

鋼製建具の性能等級

・ 簡易気密性ドアセット

・ 外部に面する建具の耐風圧

・ S-4 ・ S-5 ・ S-6

・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)

・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)

・ 耐震ドアセット (等級)

(5.4.4)

・ H>2400又はW≧950の建具

鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号: A-52)

10 鋼製軽量建具
(5.5.2)
(5.5.5)
(5.2.2)(2)
(5.5.3)
(5.5.4)
(5.6.3)(1)
(5.2.3)(1)

鋼製軽量建具の性能等級

・ 簡易気密性ドアセット

・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)

・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)

・ 耐震ドアセット (等級)

・ H>2400又はW≧950の建具

鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号: A-52)

(5.6.3)

表面仕上げ

・ 焼付け塗装

・ ビニル被覆鋼板

・ カラー鋼板

・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)

・ ()

(5.6.4)

ステンレス製建具の性能等級

・ 簡易気密性ドアセット

・ 外部に面する建具の耐風圧

・ S-4 ・ S-5 ・ S-6

・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)

・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)

・ 耐震ドアセット (等級)

(5.6.5)

材料 ・ SUS304 ・ ()

(5.6.6)

表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()

(5.6.7)

曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

⑫

建具用金物
(5.7.2)

(5.7.4)

金物の見え掛かり部等の材質等

○ 改修標準仕様書(表5.7.1)による

・ 図示 (図面番号:)

(5.7.4)

マスターキー ・ 製作する ○ 製作しない (既設マスター合わせ)

引渡用鍵箱 ・ 必要 ○ 不要

13 自動ドア開閉
装置
(5.8.2)

駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 多機能トイレ出入口用)

・ 図示 (図面番号:)

(5.8.3)

引き戸用検出装置の種類

・ 図示 (図面番号:)

(5.8.3)(7)

凍結防止措置 ・ あり ・ なし

⑭

自閉式上吊り
引戸装置
(5.9.3)

(5.10.2)

自閉式上吊り引戸装置の性能値

○ 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ()

15 重量シャッター
ー
(5.10.2)

種類

・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター

・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター

(5.10.2)(3)
(表5.10.1)

耐風圧強度 (Pa以上)

(5.10.2)(6)
(5.10.3)

開閉機能

・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式

(5.10.2)(6)
(5.10.3)

一般重量シャッターのシャッターケース

・ 設ける ・ 設けない

・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()

16 軽量シャッター
ー
(5.11.2)
(表5.11.1)
(5.11.3)
(5.11.4)

耐風圧強度 (Pa以上)

(5.11.4)

スラットの材質及び形状

・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形

・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ()

JIS G 3322 ・ A290 ・ ()

①

オーバーヘッ
ドドア
(5.12.2)

(5.12.3)

型式及び機構

セクション材料

・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ

(5.12.3)

耐風圧強度 (Pa以上)

(5.12.3)

開閉方式

・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式

(5.12.3)

収納形式

・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形

(5.12.3)

ガイドレール

・ 溶融亜鉛めっき銅板 ・ ステンレス銅板

⑧

板ガラス
(5.13.2)(1)
(5.13.4)

(5.13.2)(2)

○ シーリング ・ ガスケット ()

⑨

ガラス溝の寸
法、形状等
(5.13.3)

(5.13.3)

・ 図示 (図面番号:)

○ 改修標準仕様書 (表5.13.1) による

21 ガラスブロッ
ク積み
(5.13.5)

ガラスブロック

表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:)

金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:)

(5.13.5)

化粧カバー ・ 図示 (図面番号:)

工法 ・ 図示 (図面番号:)

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

⑥

内 装
改 修 工 事

①

一般事項
(6.1.3)(2)

(6.1.3)(3)

既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分

改 修 範 囲

○ 天井

○ 図示

○ 壁

○ 図示

○ 床

○ 図示

(6.1.3)(5)

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲

○ 図示 (図面番号: A-59) ・ ()

(6.1.3)(5)

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修

○ 図示 (図面番号:) ・ ()

②

既存床撤去、下
地補修
(6.2.2)(1)(7)

(6.2.2)(1)(4)

既存床仕上げ材の除去等

浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去

○ 行う ・ 行わない

(6.2.2)(3)

合成樹脂張り床材の除去等

・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

(6.2.2)(3)

改修後の床の清掃範囲

○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲

・ ()

③

既存壁撤去、下
地補修
(6.3.2)

(6.5.2)(2)(7)

既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法

○ (既設同等)

4

木下地等
(6.5.1)(3)
(表6.5.1)
(表6.5.2)
(6.5.2)(1)(4)
(表6.5.3)

(6.5.2)(2)(7)

表面仕上げ

機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種

手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種

(6.5.2)(1)(4)
(表6.5.3)

木材の含水率 (工事現場搬入時・質量比)

部材名称

種 別

下地材

・ A種 ・ B種

造作材

・ A種 ・ B種

(6.5.2)(2)(7)

製材

「製材の日本農林規格」による製材

部位

樹種・寸法・形状

等級

含水率

保存処理

材面の品質

下地用

・ 図示 (図面番号:)

・ ()

・ ()

・ ()

・ ()

針葉樹製材

・ 図示 (図面番号:)

・ ()

・ ()

・ ()

・ ()

造作用

・ 図示 (図面番号:)

・ ()

・ ()

・ ()

・ ()

針葉樹製材

・ 図示 (図面番号:)

・ ()

・ ()

・ ()

・ ()

(6.5.2)(2)(4)
(6.5.2)(2)(4)
(表6.5.4)

「製材の日本農林規格」以外の製材

樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:)

造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ()

樹種

部 位

樹 種

県 産 材

巾木、額縁

米桐

○

(6.5.2)(3)(7)

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部 位

品 名 ・ 樹 種

見付け材面の寸法・品質・数

厚さ

造作用集成材

・ 図示 (図面番号:)

・ 図示 (図面番号:)

・ ()

化粧ばり造作用
集成材

・ 図示 (図面番号:)

・ 図示 (図面番号:)

・ ()

化粧ばり構造用
造作用集成柱

・ 図示 (図面番号:)

・ ()

特 記

月 日

U 建 築 設 計

設計番号

年 月 日

縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

N0.

三 重 県 津 市 白 塚 町 5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

設計

1/200

改修特記仕様書 (3)

A-03

一級建築士事務所 一級建築士第248160号

登録番号 (1) 第2118号

内 田 貴 之

原 図 : A2

	(6.5.2)(2)(4) (6.5.2)(2)(5) (表6.5.2) 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示（図面番号： ） 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ （ ） 樹種 (5.5.6)(1)～ (5.5.9)(1) <table><tr><th>部 位</th><th>樹 種</th><th>県 産 材</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (6.5.2)(3)(7) 造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table><tr><th>部 位</th><th>品 名 ・ 樹 種</th><th>見付け材面の寸法・品質・数</th><th>厚さ</th></tr><tr><td>造作用集成材</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td><td>/</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td><td>・ （ ）</td></tr><tr><td>化粧ばり構造用造作用集成柱</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td><td></td><td>・ （ ）</td></tr></table> (6.5.2)(3)(4) 「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ １５％以下 ・ （ ） (6.5.2)(4)(7) 造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 <table><tr><th>部位</th><th>品名・寸法</th><th>表面の品質</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>造作用単板積層材</td><td>・ 図示（図面番号： ）</td><td>・ （ ）</td><td>・ （ ）</td></tr></table> (6.5.2)(4)(4) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ １４％以下 ・ （ ） (6.5.2)(5) 「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示（図面番号： ） (6.5.2)(6) <table><tr><th>品名(品目)</th><th>樹種名</th><th>接着の程度</th><th>等級</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理等</th><th>厚さ</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (6.5.3)(1) 接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ （ ） (6.5.3)(2) 諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示（図面番号： ） (6.5.5)(1) ・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示（図面番号： ） 保存処理性能区分（ ） 薬剤の塗布等の処理方法（ ） 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する（ ・ 薬剤の種類（ ） ・ 適用部位（ ）） ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（ ） (6.5.5)(2) ・ 防虫処理 ・ 図示（図面番号： ） ⑤ 軽量鉄骨天井下地 (表6.6.1) (6.6.3) 野縁等の種類 ○ 屋内 ○ 19形 ・ （ ） ・ 屋外 ・ 25形 ・ （ ） 形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示（図面番号： ） ・ 耐震天井 ・ 図示（図面番号： ） ・ ふところ≧3.0m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示（図面番号： ） (6.6.4) 既存埋込みインサート ・ 使用する ○ 使用しない（※使用する場合は、確認試験を行う） 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う（ 図示（図面番号： ）） ○ 行わない ・ 確認試験箇所数（ 箇所） ・ 確認強度（ ） 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示（図面番号： ） ⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示（図面番号： A-49-、A-51、A-53、A-55 ） ⑦ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)(1) (6.8.2)(2) 材料 ○ ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】 <table><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td>F S</td><td>無地</td><td>2.0mm</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (6.8.2)(2) ○ ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】 <table><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td>K T</td><td></td><td></td><td>2.0mm</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (6.8.2)(3)(7)(4) ・ 帯電防止床シート又は床タイル <table><tr><th>種類</th><th>性能</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (6.8.2)(3)(7) ・ 視覚障害者用床タイル <table><tr><th>種類</th><th>形状</th><th>備考</th></tr><tr><td>ビニル床タイル</td><td>300×300×7.0mm</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	部 位	樹 種	県 産 材										部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集成材	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	/	化粧ばり造作用集成材	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	・ （ ）	化粧ばり構造用造作用集成柱	・ 図示（図面番号： ）		・ （ ）	部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示（図面番号： ）	・ （ ）	・ （ ）	品名(品目)	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ															種類の記号	色柄	厚さ	備考	F S	無地	2.0mm						種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考	K T			2.0mm							種類	性能	寸法	厚さ	備考											種類	形状	備考	ビニル床タイル	300×300×7.0mm					(6.8.2)(3)(2) ・ 耐動荷重性床シート <table><tr><th>種類</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (6.8.2)(3)(7)(3) ・ 防滑性床シート又は床タイル <table><tr><th>種類</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (6.8.2)(5) ・ ゴム床タイル <table><tr><th>種類</th><th>色柄</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (6.8.3)(1) 工法 下地 ○ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他（ ） (6.8.3)(2)(7) ビニル床シート張り 熱溶接工法 ○ 適用する ・ 適用しない ・ 織じゅうたん <table><tr><th>種別</th><th>糸の種類</th><th>パイルの形状</th><th>帯電性</th><th>品質の程度</th><th>色柄</th></tr><tr><td>・ A種</td><td>・ そ毛</td><td>・ カットパイル</td><td>・ 人体帯電圧3KV以下</td><td>・ （ ）</td><td>・ 無地</td></tr><tr><td>・ B種</td><td>・ 紡糸</td><td>・ ループパイル</td><td></td><td></td><td>・ 柄物</td></tr><tr><td>・ C種</td><td>・ （ ）</td><td>・ カット、ループ併用</td><td>・ （ ）</td><td></td><td></td></tr></table> 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様） ・ タフテッドカーペット <table><tr><th>パイルの形状</th><th>パイル長(mm)</th><th>帯電性</th><th>工法</th><th>品質の程度</th></tr><tr><td>・ カットパイル</td><td></td><td>・ 人体帯電圧3KV以下</td><td>・ 全面接着工法</td><td>・ （ ）</td></tr><tr><td>・ ループパイル</td><td></td><td></td><td>・ グリッパー工法</td><td></td></tr><tr><td>・ カット、ループ併用</td><td></td><td>・ （ ）</td><td></td><td></td></tr></table> (6.9.2)(3) (表6.9.2) ・ タイルカーペット <table><tr><th>種類</th><th>パイルの形状</th><th>寸法(mm)</th><th>総厚さ(mm)</th><th>品質の程度</th></tr><tr><td></td><td>・ カットパイル</td><td>・ 500×500</td><td>・ 6.5</td><td>・ （ ）</td></tr><tr><td></td><td>・ ループパイル</td><td>・ （ ）</td><td>・ （ ）</td><td>・ （ ）</td></tr></table> (6.9.2)(4) (6.9.2)(5) 下敷き材 ・ 第２種第２号、厚さ8mm ・ （ ） 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、種類及び形状 ・ 図示（図面番号： ）） (6.9.3)(3) 織じゅうたんの接合法 ・ ヒートボンド工法 ・ （ ） (6.9.3)(5) タイルカーペットの敷き方 <table><tr><th>平場</th><th>市松敷き</th><th>模様流し</th><th>・ （ ）</th></tr><tr><th>階段部分</th><th>市松敷き</th><th>模様流し</th><th>・ （ ）</th></tr></table> 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しのべ仕上げ（ ・ 平滑 ・ 防滑） ・ 厚膜流しのべ仕上げ（ ・ 平滑 ・ 防滑） ・ 樹脂モルタル仕上げ（ ・ 平滑 ・ 防滑） ・ 薄膜型塗床仕上げ（ ・ 平滑） ・ 釘留め工法 <table><tr><th>材料</th><th>種別</th><th>樹種</th></tr><tr><td>・ フローリングボード（根太張用）</td><td></td><td>・ なら</td></tr><tr><td>・ 複合フローリング（根太張用）</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td>・ （ ）</td></tr></table> 防湿処理 ・ 図示（図面番号： ） ・ 接着工法 <table><tr><th>材種</th><th>樹種</th><th>厚さ</th><th>大きさ</th></tr><tr><td>・ フローリングボード（直張用）</td><td rowspan="3">・ なら</td><td rowspan="3">・ （ ）</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>・ フローリングブロック（直張用）</td></tr><tr><td>・ 複合フローリング（直張用）</td></tr><tr><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示（図面番号： ） (6.11.6) 塗装 下地調整 ・ （ ） 塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り（１液形、B種） ・ オイルステイン塗りのうスワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り（ ） 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床 K T－（ ・ I ・ II ・ III ・ K ・ N ） ①② せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1) <table><tr><th>材種</th><th>種別</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td rowspan="3">○ せっこうボード</td><td rowspan="3">壁</td><td>○ 9.5(準不燃)</td></tr><tr><td>○ 12.5(不燃)</td></tr><tr><td>○ 9.5(準不燃)</td></tr></table>	種類	厚さ	備考							種類	寸法	厚さ	備考									種類	色柄	寸法	厚さ	備考											種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄	・ A種	・ そ毛	・ カットパイル	・ 人体帯電圧3KV以下	・ （ ）	・ 無地	・ B種	・ 紡糸	・ ループパイル			・ 柄物	・ C種	・ （ ）	・ カット、ループ併用	・ （ ）			パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットパイル		・ 人体帯電圧3KV以下	・ 全面接着工法	・ （ ）	・ ループパイル			・ グリッパー工法		・ カット、ループ併用		・ （ ）			種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ （ ）		・ ループパイル	・ （ ）	・ （ ）	・ （ ）	平場	市松敷き	模様流し	・ （ ）	階段部分	市松敷き	模様流し	・ （ ）	材料	種別	樹種	・ フローリングボード（根太張用）		・ なら	・ 複合フローリング（根太張用）	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ （ ）	材種	樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード（直張用）	・ なら	・ （ ）		・ フローリングブロック（直張用）	・ 複合フローリング（直張用）	・ A種 ・ B種 ・ C種				材種	種別	厚さ(mm)	○ せっこうボード	壁	○ 9.5(準不燃)	○ 12.5(不燃)	○ 9.5(準不燃)
部 位	樹 種	県 産 材																																																																																																																																																																																																																																																		
部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																	
造作用集成材	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	/																																																																																																																																																																																																																																																	
化粧ばり造作用集成材	・ 図示（図面番号： ）	・ 図示（図面番号： ）	・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																	
化粧ばり構造用造作用集成柱	・ 図示（図面番号： ）		・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																	
部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																	
造作用単板積層材	・ 図示（図面番号： ）	・ （ ）	・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																	
品名(品目)	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																																																																																																																																																																																																																																														
種類の記号	色柄	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																	
F S	無地	2.0mm																																																																																																																																																																																																																																																		
種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																
K T			2.0mm																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	性能	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																
種類	形状	備考																																																																																																																																																																																																																																																		
ビニル床タイル	300×300×7.0mm																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																		
種類	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	色柄	寸法	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																
種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄																																																																																																																																																																																																																																															
・ A種	・ そ毛	・ カットパイル	・ 人体帯電圧3KV以下	・ （ ）	・ 無地																																																																																																																																																																																																																																															
・ B種	・ 紡糸	・ ループパイル			・ 柄物																																																																																																																																																																																																																																															
・ C種	・ （ ）	・ カット、ループ併用	・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																	
パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																																																																																																																																																																																																																																																
・ カットパイル		・ 人体帯電圧3KV以下	・ 全面接着工法	・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																
・ ループパイル			・ グリッパー工法																																																																																																																																																																																																																																																	
・ カット、ループ併用		・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																		
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																																																																																																																																																																																																																																
	・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																
	・ ループパイル	・ （ ）	・ （ ）	・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																
平場	市松敷き	模様流し	・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																	
階段部分	市松敷き	模様流し	・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																	
材料	種別	樹種																																																																																																																																																																																																																																																		
・ フローリングボード（根太張用）		・ なら																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 複合フローリング（根太張用）	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																		
材種	樹種	厚さ	大きさ																																																																																																																																																																																																																																																	
・ フローリングボード（直張用）	・ なら	・ （ ）																																																																																																																																																																																																																																																		
・ フローリングブロック（直張用）																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 複合フローリング（直張用）																																																																																																																																																																																																																																																				
・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																				
材種	種別	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																		
○ せっこうボード	壁	○ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																		
		○ 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																		
		○ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																		

7

アクリル樹脂系
非水分散形塗料
(NAD)

(7.7.2)
(表7.7.1)

8

耐候性塗料塗り
(DP)

(7.8.2)～
(7.8.4)
(表7.8.1)～
(表7.8.3)

9

つや有合成樹脂
エマルションペ
イント塗り
(EP-G)

(7.9.2)～(7.9.5)
(表7.9.1)～
(表7.9.4)

10

合成樹脂エマ
ルションペイン
ト塗り (EP)

(7.10.2)
(表7.10.1)

11

ウレタン樹脂
ワニス塗り
(UC)

(7.11.2)
(表7.11.1)

12

ステイン塗り
(OS)

(7.12.2)
(表7.12.1)

13

木材保護塗料
塗り (WP)

(7.13.2)
(表7.13.1)

8

の
1

耐震改修工事
共通事項

8

の
2

耐震改修工事
撤去工事

7

種別
・ A種
・ B種

上塗り等級
○ 1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (ポリウレタン系)

下地	種別
コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A－1種 ・ A－2種 ・ B－1種 ・ B－2種 ・ C－1種 ・ C－2種

種別	下地	種別
コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()	
木部 (屋内)	○ A種 ○ B種 ・ C種	
鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	
亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	

種別
・ A種 ・ B種 ・ C種
しみ止め ()

種別
・ A種 ・ B種
工程1の着色 () 適用する () 適用しない ()

種類
・ ビグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り ・ オイルステイン塗りの工程、塗料 ()

種別
・ A種 ・ B種

8

の
1

耐震改修工事
共通事項

8

の
2

耐震改修工事
撤去工事

3

(既存部分の処理)
3 既存構造コン
クリート面の
目荒らし
(8.21.3)
(8.22.3)
(8.23.3)

既存構造体コンクリート面の目荒らし
目荒らし程度
・ 平均深さ2～5mmで最大深さ5～7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15～30%程度の面積となるように施す。
・ 図示 (図面番号:)

8

の
3

耐震改修工事
鉄筋工事

1

鉄筋
(8.2.1)
(表8.2.1)

材料 改修標準仕様書 (表8.2.1)による

種別	径 (mm)
○ SD295	D16以下
○ SD345	D19以上D25以下
・ SD390	
・ ()	

2 溶接金網
(8.2.2)

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径 (mm)

3 加工
(8.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径 () 図示 (図面番号:)

4 鉄筋の継手及び
定着
(8.3.4)

	径	部位
重ね継手	○ D16以下	
ガス圧接	・ D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
○ 改修標準仕様書 (8.3.4) (3) (7)による
・ 図示 (図面番号:)

継手位置
・ 各部配筋参考図による
・ 図示 (図面番号:)

先組み工法等
・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所設ける

鉄筋の定着長さ
○ 改修標準仕様書 (表8.3.4)による
・ (表8.3.4) のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 図示 (図面番号:)
・ 図示 (図面番号:)

機械式定着工法 適用箇所 () 種類 ()

帯筋組立の形、継手及び定着
・ 図示 (図面番号:)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ○ (40) mm

5 鉄筋のかぶり厚
さ及び間隔
(8.3.5)
(表8.3.6)

6 各部配筋
(8.3.8)

7 ガス圧接
(8.3.8)

(現場打ち鉄筋コン
クリート壁の増設工
事及び鉄骨ブレース
の設置工事等)

8 割製補強筋
(8.21.6)
(8.22.7)

9 鉄筋の機械式継
手及び溶接継手
(8.4.2)
(8.4.3)

(コンクリート工事
一般事項)
1 コンクリートの
種類及び強度
(8.1.3)
(8.1.4)

コンクリートの種類
○ I類 ・ II類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位 容積質量	スランプ
○ 24+S	躯体コンクリート	○ 2.3t/m ³ 程度	18
○ (24+S)	土間コンクリート		18
○ (21)	捨てコンクリート		15

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	種類	適用箇所	気乾単位 容積質量	スランプ
・ 36	・ 1種 ・ 2種			
・ ()				

合板せき板を用いる場合の打上げの種別
・ A種 ・ B種 ・ C種

コンクリートの仕上りの平たんさ
・ a種 ○ b種 ・ c種

8

の
4

耐震改修工事
コンクリート工事

3

(コンクリート)
3 コンクリートの
材料
(8.2.5)
(表8.2.3)

セメントの種類
○ 普通ポルトランドセメント
・ 高炉セメントA種
・ シリカセメントA種
・ フライアッシュセメントA種
・ ()
・ 高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種
適用箇所 ()

骨材
アルカリシリカ反応性による区分
・ AL (コンクリート中のアルカリ総量を規制)
・ A (安全と認められる骨材を使用)
なお、ALで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回／6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。
・ 特殊な骨材の使用
・ フェロニッケルスラグ細骨材
・ 鋼スラグ細骨材
・ 電気炉酸化スラグ骨材
・ 再生骨材H (普通エコセメントを使用するコンクリートに限る)

4 混和材料
(8.2.5)

混和剤
混和剤の種類
○ 改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (a)による
・ 図示 (図面番号:)

混和材
混和材の種類
・ 改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (b)による
・ 図示 (図面番号:)

構造体強度補正值 (S)
・ 3N/mm² ・ 6N/mm² ○ (改修標準仕様書表8.2.4による)

普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 ()

5 調査管理強度
(8.2.5)
(8.8.3)
(8.10.2)

6 養生
(8.7.7)

7 型枠
(8.2.7)
(8.7.8)

材料
○ 複合合板 (厚さ ○ 12mm ・ ())

スリーブ
・ 材質 () 規格 ()

型枠存置期間及び取外し
・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 ()

構造体強度補正值 (S)
○ 6N/mm² ・ ()

コンクリートの種類
○ 普通コンクリート ・ ()

設計基準強度
○ 18N/mm² ・ ()

スランプ
○ 15cm ・ 18cm ・ ()

(現場打ち鉄筋コン
クリート壁の増設工
事、溶接金網巻き工
法及び溶接閉鎖フ
ープ巻き工法)
10 コンクリートの
打込み工法等
(8.21.8)
(8.23.5)

(現場打ち鉄筋コン
クリート壁の増設工
事、溶接金網巻き工
法及び溶接閉鎖フ
ープ巻き工法)
10 コンクリートの
打込み工法等
(8.21.8)
(8.23.5)

部位別のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ 図示 (図面番号:) ・ ()

8
の
5

耐震
改修
工事

（あと施工アンカー）

①あと施工アンカーの材料
(8.2.4)
(表8.2.2)

種類
・ 金属系 セットの方式 ・ 本体打込み式 ・ 改良型 ・ 従来型）
 径及び埋込み長さ ・ 図示（図面番号： ）
 引張耐力 ・ 図示（図面番号： ）
 せん断耐力 ・ 図示（図面番号： ）
 接合筋の種類・径・長さ ・ 図示（図面番号： ）

 ・ 接着系 アンカーの種類 ・ カプセル型回転・打撃式 ・ （ ）
 接着剤の品質 ・ 有機系 ・ 無機系 ・ （ ）
 径及び埋込み長さ ・ 図示（図面番号： ）
 引張耐力 ・ 図示（図面番号： ）
 せん断耐力 ・ 図示（図面番号： ）
 アンカー筋の種類 ・ 図示（図面番号： ）
 アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示（図面番号： ）
 あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない

穿孔
埋込み配管等の探査の方法
・ 鉄筋探知機（金属探知機）により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
・ はつり出しによる。
・ （ ）

あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ・ 実施しない
試験方法 ・ 引張試験機による引張試験 ・ （ ）
1ロットの単位 ・ 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・ （ ）
試験の箇所数 ・ 1ロットに対し3本（無作為） ・ （ ）
確認強度 ・ （ ）

場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ
種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
 ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
 径[mm] ・ D10
 長さ[mm] ・ 増打壁厚－40 ・ （ ）
 膨込み深さ[mm] ・ 5d（d：シアコネクタの径）以上 ・ （ ）
 間隔[mm] ・ 500×500

シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ （ ）

8
の
6

耐震
改修
工事

①鉄骨製作工場
(8.1.5)

2鉄骨製作工場における
施工管理技術者
(8.1.6)

③鋼材
(8.2.8)

④高力ボルト
(8.2.9)
(8.14.2)
(8.14.7)

⑤溶接材料
(8.2.10)

6仮組
(8.13.10)

⑦溶接作業を行う
技能資格者
(8.15.3)

8溶接の準備
(8.15.4)

9溶接施工
(8.15.7)

⑩溶接部の試験
(8.15.12)

① 株日本鉄骨評価センター又は株全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・ J ・ R ・ M ・ H ・ S

施工管理技術者（鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等）の配置
・ しない ・ する

種類・形状及び寸法 ・ 図示（図面番号： ）

高力ボルトの適用
・ トルシア形高力ボルト2種（S10T）
・ JIS形高力ボルト2種（F10T）
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種（F8T相当）

ねじの呼び
・ 図示（図面番号： ）

すべり試験
・ 行う（試験方法等 図示：図面番号 ）

JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量
・ （ ）

・ 改修標準仕様書(8.2.10)(1)(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所 ・ 図示（図面番号： ）

仮組の実施
・ 実施する（ ） ・ 実施しない

溶接作業における技能資格者の技量付加試験
・ 実施する（ ） ・ 実施しない

開先の形状 ・ 図示（図面番号： ）

鋼製エンドタブの切断 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ）
切断面の仕上げ ・ （ ）
鋼製エンドタブに代わるその他の工法
鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ（セラミックタブ又はフラックスタブ）を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。
1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。
2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による図形タブに係るエンドタブ施工講習修了者（溶接技能者・A級以上）又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者となること。また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者となること。

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部
・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示（図面番号： ）

スカラップの形状 ・ 図示（図面番号： ）

溶接部の外観試験 ・ 試験方法（ ） ・ 確認方法（ ）

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
工場溶接の場合
・ 全数試験とする
・ 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(i)による。
平均出検査品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5% ・ （ ）
検査水準 ・ 第6水準 ・ （ ）
ロットの構成（ ）

工事現場溶接の場合
・ 全数試験とする
・ 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(7.6.12)(i)による。
平均出検査品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ （ ）

8
の
7

耐震
改修
工事

①（グラウト工事）
モルタル及びグラウト材
(8.2.6)
(表8.2.5)
(表8.2.10)

2既存構造体との
取合部の処理方法
(8.21.9)
(8.22.7)

① 鉄骨の錆止め塗装
(8.17.2)
(8.17.4)

② 耐火被覆材の種類及び性能
(8.18.2)
(8.18.3)

13 プレース設置
工事後の仕上
げ
(8.22.9)

14 スタッド
(8.2.11)

① 鉄骨コンクリート造の鋼製スリートの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）
・ 改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) （ ）種
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示（図面番号： ）
・ 改修標準仕様書(7.3.3)(表7.3.2) （ A ）種
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・ 図示（図面番号： ）

部位 種類 材料・工法 耐火性能
鉄骨梁 耐火材吹付 ロックウール 1時間耐火

・ 図示（図面番号： ）

スタッドの種類 ・ （ ）

構造体用モルタル
・ 改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.12)による。

無収縮モルタル
・ 改修標準仕様書(8.2.12)(1)による
・ （ ）

グラウト材
・ 改修標準仕様書(8.2.12)(2)による。

増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法

部位 処理方法 備考
増設壁の上部 ・ グラウト材を注入 ・ 寸法は図示による
・ （ ） ・ （ ） ・ （ ）
・ （ ） ・ （ ） ・ （ ）

現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等）

（連続繊維補強工事）
1 連続繊維シート等による工法
(8.24.1)
2 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料
(8.2.13)
3 連続繊維シートの施工準備
4 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法
(8.23.6)
5 耐震補強後の仕上げ
(8.23.7)
(8.24.7)
6 炭素繊維シートの施工
炭素繊維の目付量
・ 図示（図面番号： ）
・ 200g/m2
・ 300g/m2
・ （ ）
炭素繊維シートの巻き数
・ 図示（図面番号： ）
・ 1巻き
・ 2巻き
・ （ ）
引張強度試験
・ 実施する（JIS A1191に準拠する） ・ 実施しない
試験数量（ ）
付着強度試験
・ 実施する（JIS A6909に準拠する） ・ 実施しない
試験数量（ ）

柱頭柱脚の隙間寸法
・ 図示（図面番号： ）

・ 図示（図面番号： ）

炭素繊維の目付量
・ 図示（図面番号： ）
・ 200g/m2
・ 300g/m2
・ （ ）
炭素繊維シートの巻き数
・ 図示（図面番号： ）
・ 1巻き
・ 2巻き
・ （ ）
引張強度試験
・ 実施する（JIS A1191に準拠する） ・ 実施しない
試験数量（ ）
付着強度試験
・ 実施する（JIS A6909に準拠する） ・ 実施しない
試験数量（ ）

柱頭柱脚の隙間寸法
・ 図示（図面番号： ）

・ 図示（図面番号： ）

炭素繊維の目付量
・ 図示（図面番号： ）
・ 200g/m2
・ 300g/m2
・ （ ）
炭素繊維シートの巻き数
・ 図示（図面番号： ）
・ 1巻き
・ 2巻き
・ （ ）
引張強度試験
・ 実施する（JIS A1191に準拠する） ・ 実施しない
試験数量（ ）
付着強度試験
・ 実施する（JIS A6909に準拠する） ・ 実施しない
試験数量（ ）

柱頭柱脚の隙間寸法
・ 図示（図面番号： ）

・ 図示（図面番号： ）

炭素繊維の目付量
・ 図示（図面番号： ）
・ 200g/m2
・ 300g/m2
・ （ ）
炭素繊維シートの巻き数
・ 図示（図面番号： ）
・ 1巻き
・ 2巻き
・ （ ）
引張強度試験
・ 実施する（JIS A1191に準拠する） ・ 実施しない
試験数量（ ）
付着強度試験
・ 実施する（JIS A6909に準拠する） ・ 実施しない
試験数量（ ）

柱頭柱脚の隙間寸法
・ 図示（図面番号： ）

・ 図示（図面番号： ）

炭素繊維の目付量
・ 図示（図面番号： ）
・ 200g/m2
・ 300g/m2
・ （ ）<

9環境配慮改修工事

1石綿含有建材の除去工事(9.1.1)

・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	計 点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定 4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計 点
・	測定 5		処理作業室外（敷地境界）	計 点
・	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点
・	測定 7	処理作業後シート 撤去後 1 週間	処理作業室内	計 点
・	測定 8		調査対象室外部の付近	計 点

測定方法

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()

(9.1.3)

・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ）
除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2) (7)による ・ ()
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・ 湿潤化
・ 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.4)

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ）
除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ ()
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.5)

・石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 () 図示（図面番号： ）
石綿含有せっこうボードの処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
() 埋立処分（安定型最終処分場） () 中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.6)

・石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ）
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による）

※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（令和3年3月）」に基づき適切に処理すること。

・ 除去等作業の結果報告
除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。

2断熱アスファルト防水改修工事(9.2.1)～(9.2.3)

改修特記仕様書3章による

3外断熱改修工事(9.3.2)

断熱材

種類	厚さ〔mm〕
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキナシ）	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ロックウール断熱材	
・ グラスウール断熱材	
・ ()	

施工箇所
・ 図示（図面番号： ） ・ ()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3)

既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ()

(9.3.4)

工法
通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし
断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ ()
外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ ()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・ 適用しない
不陸等の下地調整 ・ 行う

4断熱・防露改修工事(9.5.2)

断熱材打込み工法

種類	厚さ〔mm〕
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキナシ）	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示（図面番号： ） ・ ()

(9.5.3)

断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・ A 種 1 ・ A 種 1 H ・ ()
厚さ（mm） ・ 25 ・ 30 ・ ()
施工箇所 ・ 図示（図面番号： ）

(9.5.4)

現場発泡断熱材
(品質・性能)
工事建築材料等品質性能表による
(試験方法)
工事建築材料等品質性能表による

5屋上緑化改修工事

(9.6.1)

(9.6.2)

(9.6.3)

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
・ 適用する ・ 適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示（図面番号： ） ・ ()
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示（図面番号： ） ・ ()

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・ 適用しない

かん水装置 ・ 設置する（種類 ・ ）
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

6透水性アスファルト舗装改修工事(9.5.2)～(9.5.7)(9.5.9)

既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示（図面番号： ） ・ ()
路床

種別	材料	厚さ〔mm〕
・ 盛土	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示（図面番号： ） ・ ()
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・ ()	・ 図示（図面番号： ） ・ ()
・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示（図面番号： ） ・ ()

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメント B 種
・ 生石灰（・ 特号 ・ 1 号） ・ 消石灰（・ 特号 ・ 1 号）
添加量（ kg/m2）（目標QBR ・ 5 以上 ・ ）

・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ ()
厚さ〔mm〕 ・ 0.5～1.0 ・ ()
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ ()
透水係数 ・ 1.5×10⁻⁷～1cm/sec 以上 ・ ()

試験
路床土の支持力比（CBR）試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない
現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・ 図示（図面番号： ） ・ ()
路盤材料 ・ 再生材のクラッシャーラン
・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ
・ 図示（図面番号： ）
・ ()

試験
路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

舗装

材料	厚さ〔mm〕
・ ストレートアスファルト	・ 図示（図面番号： ） ・ ()

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平たん性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()

特記

月 日

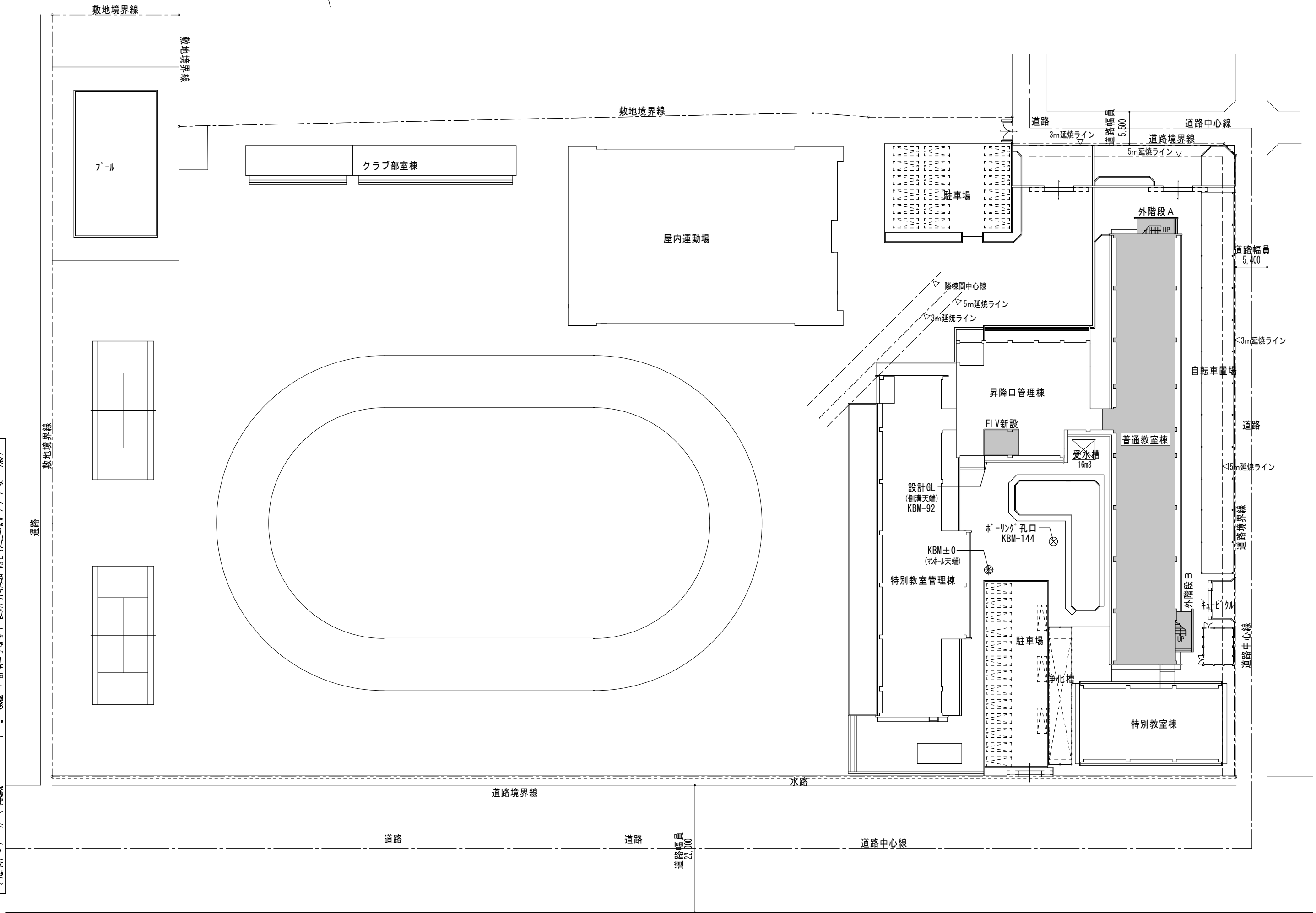
U 建築設計
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
一級建築士事務所 一級建築士第248160号
登録番号(1)第2118号 内田 貴之

設計番号
年 月 日
設計

縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事
改修特記仕様書（7）

N0.
A-07
**
原図：A2

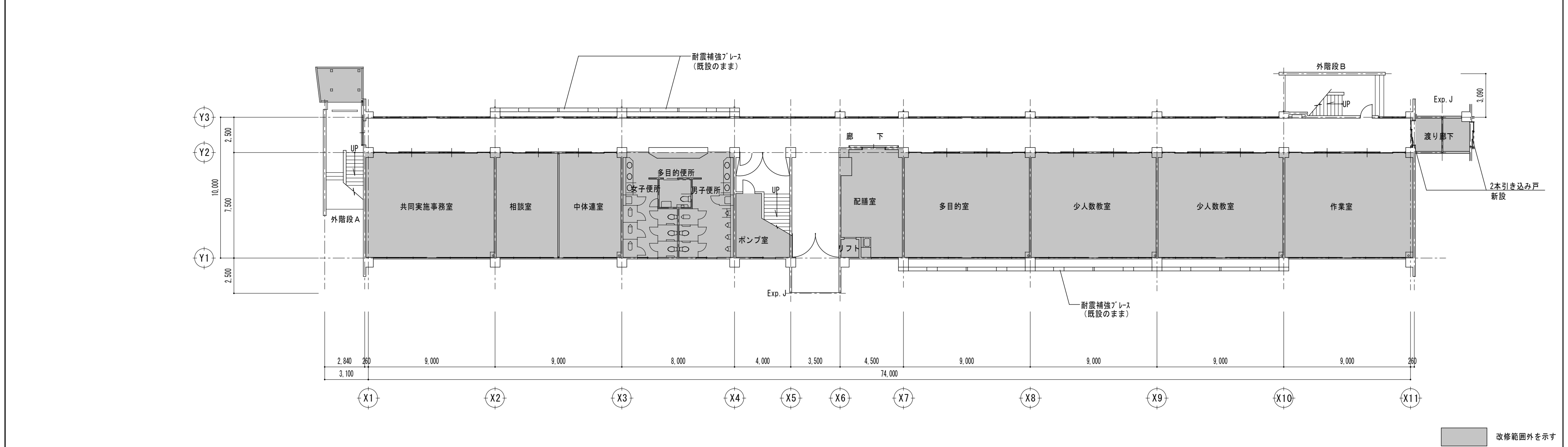
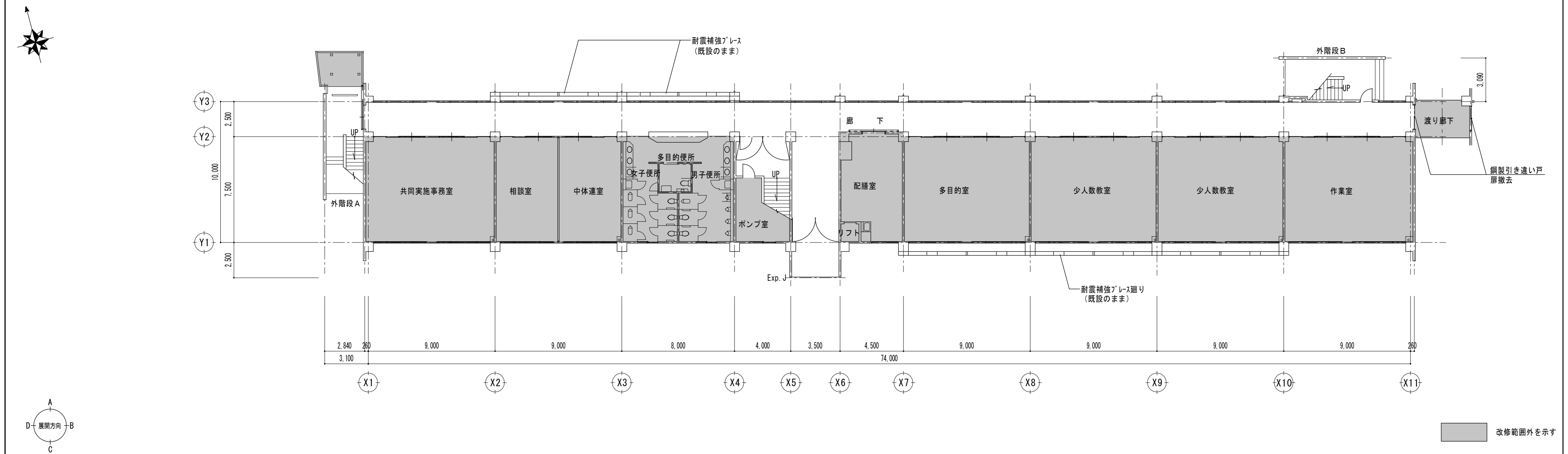


配置図 1/600

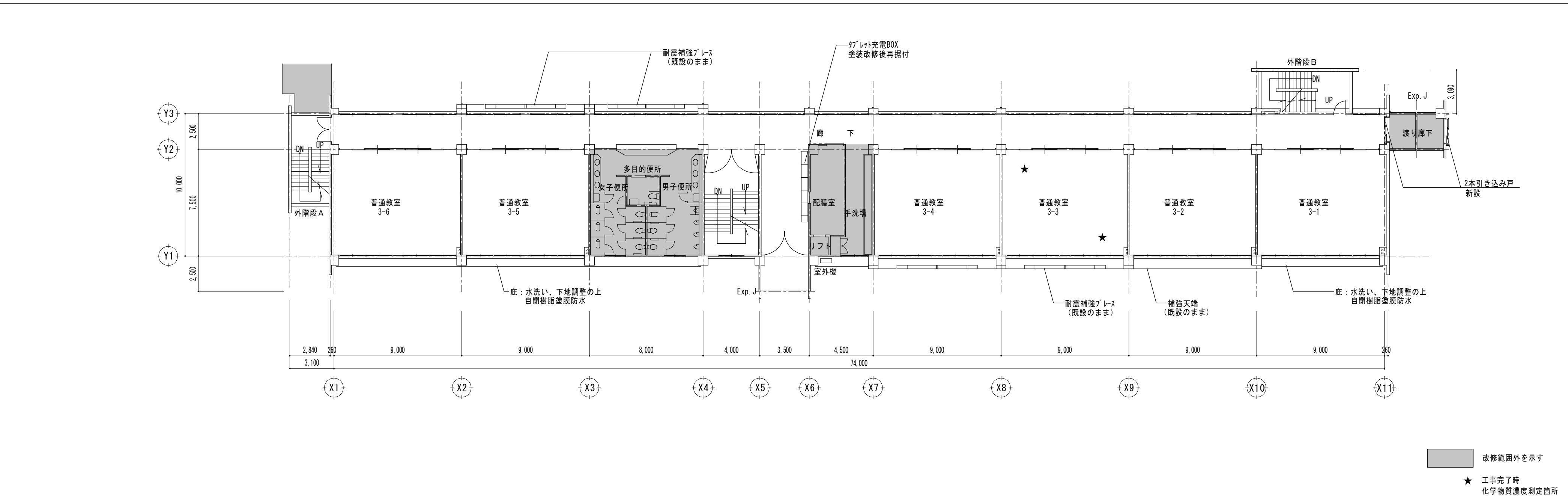
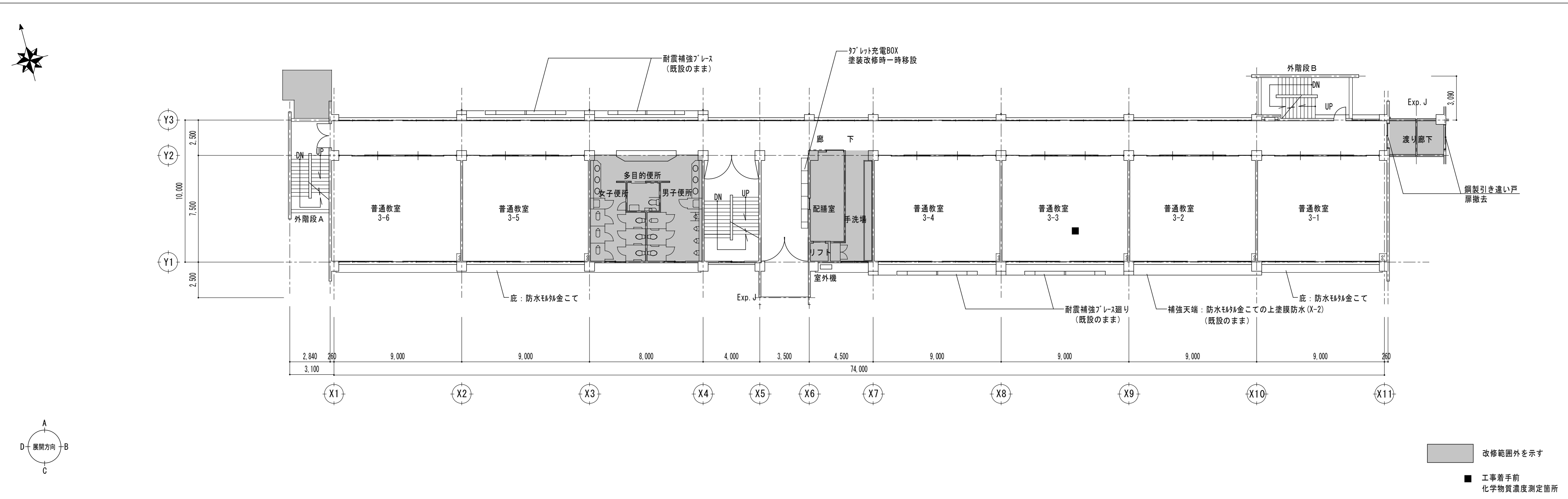
図：A2

特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津 市 立 橋 北 中 学 校 長 寿 命 化 改 修 工 事	N0. A-08 ** 原 図 : A2
			三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8 TEL : 059-231-8893 FAX : 059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/600 A3 1/848	建 築 概 要 ・ 付 近 見 取 図 ・ 配 置 図	
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之					

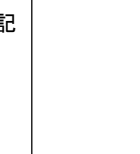
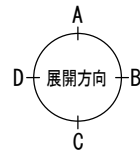
外 部 仕 上 表										
	部 位		仕 上	部 位		仕 上	部 位		仕 上	
普通 教室 棟	屋 上	改修前	アスファルト防水、軽量コンクリートt=60押え、防水モルタル金こて仕上。笠木：防水モルタル金こて仕上 伸縮目地（アスファルトシール）撤去、ルーフィング撤去、フェンス及びフェンス基礎全周撤去 ※伸縮目地（アスファルトシール）：石綿含有（アケチノライト Level13）	庇	改修前	天端：防水モルタル金こて仕上げ 側面：モルタル刷毛引き下地の上7クリル系リシン吹付 。上裏：合板型枠打放の上7クリル系リシン吹付	竖 樋	改修前	白ガス管 P φ100 OP	
		改修後	天端：水洗い、下地処理の上自閉樹脂塗膜防水新設 側面：高圧洗浄（30～50Mpa）、下地調整の上複層仕上塗材E 新設。 上裏：高圧洗浄（30～50Mpa）、下地調整の上外装薄塗材E 新設		改修後	下地調整R種の上DP塗 新設				
		改修後	平場：水洗い、目地処理テープ、下地処理の上ウレタン塗膜防水（X-1）フ素仕上 新設 立上り・笠木：水洗い、下地処理の上ウレタン塗膜防水（X-2）フ素仕上 新設 SUS製脱気筒、改修用ルーフィング、フェンス及びフェンス基礎新設	巾 木	改修前	モルタル金こて	建 具	改修前	アルミ製建具（外部サッシ）、木製建具（教室間仕切り） 鋼製建具撤去（渡り廊下 4ヶ所）	
		改修前	平場、立上り：ウレタン塗膜防水（改修済） ルーフィング（既設のまま） 屋上スチールラップ		改修後	水洗い		改修後	アルミ製建具、木製建具：清掃の上飛散防止フィルム貼り 新設 アルミ2枚引き込みハンガー戸：4ヶ所 新設	
	屋 上 （ベントハウス上部）	改修後	平場、立上り：ウレタン塗膜防水（既設のまま） 立上り壁・笠木：水洗い、下地処理の上ウレタン塗膜防水（X-2）フ素仕上 新設 屋上スチールラップ：下地調整R種の上DP 新設	外 壁	改修前	モルタル刷毛引き下地の上7クリル系リシン吹付		改修前		
		改修後	高圧洗浄（30～50Mpa）、下地調整の上複層仕上塗材E 新設		改修後					
	シーリング 防水	改修前	建具廻りシーリング 撤去	梁 型	改修前	天端：防水モルタル金こて仕上 側面、下端：モルタル刷毛引き下地の上7クリル系リシン吹付		改修前		
		改修後	建具廻りシーリング MS-2新設		改修後	天端：水洗い、下地処理の上自閉樹脂塗膜防水新設 側面、下端：高圧洗浄（30～50Mpa）、下地処理の上複層仕上塗材E 新設		改修後		
	昇 降 口 管 理 棟	生徒用昇降口 （アプローチ）	改修前	土間コンクリートt=120の上クリンカータイル貼り 150角 一部撤去 側溝（W300）：一部SUSがレチング 撤去	建 具	改修前	鋼製建具：一か所撤去 （生徒用昇降口）		改修前	
			改修後	スロープ新設：ノンスリップタイル貼り100角（一部警告マーク300角）、ステンレス製手摺（2段） 側溝（W300）：一部暗渠新設		改修後	アルミ製建具：両側引分けハンガー戸 新設。 （生徒用昇降口）		改修後	
		改修前			改修前			改修前		
		改修後			改修後			改修後		



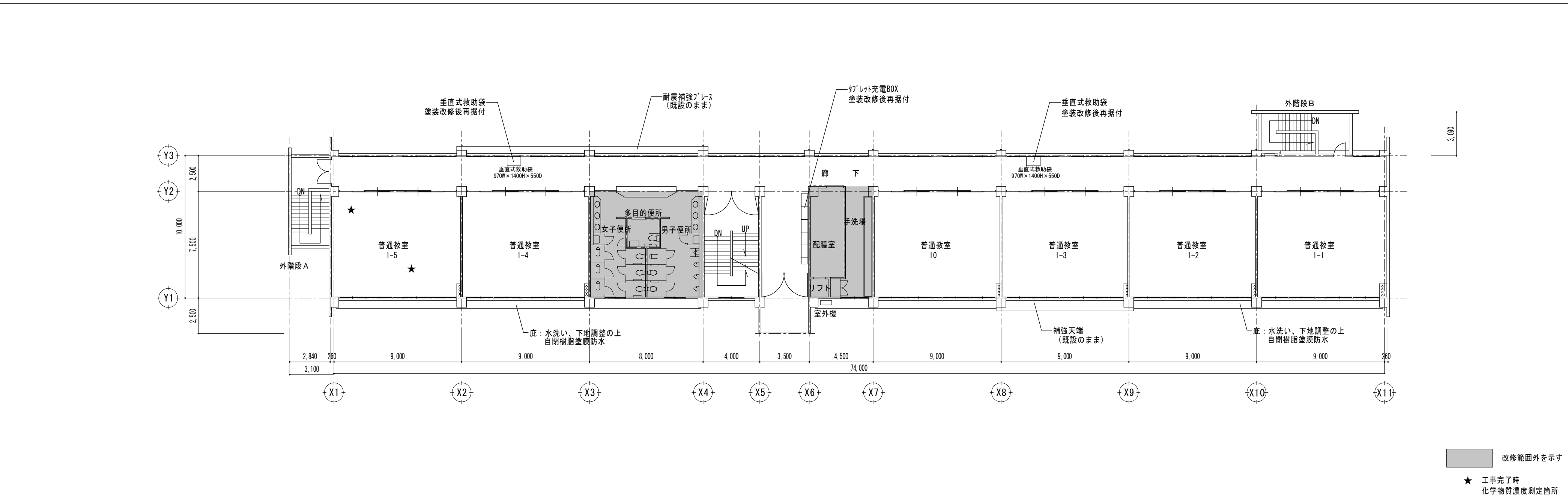
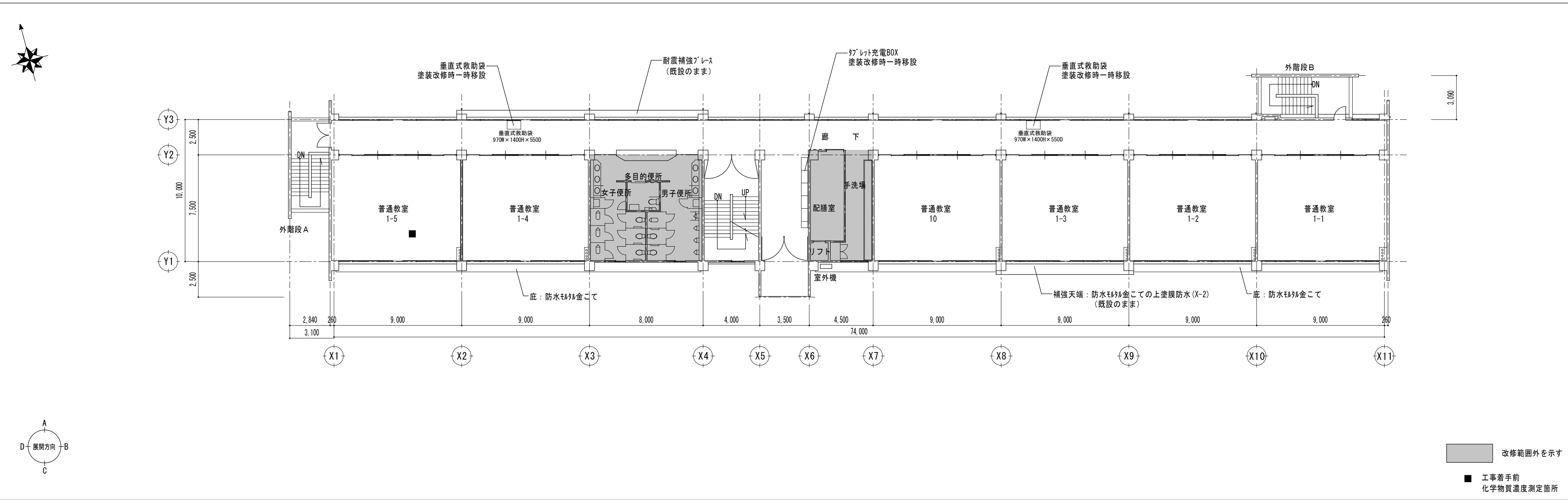
特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0. A-11 ** 原図：A2
			三重県 津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/200 A3 1/282.8	1階平面図 改修前後	
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之					



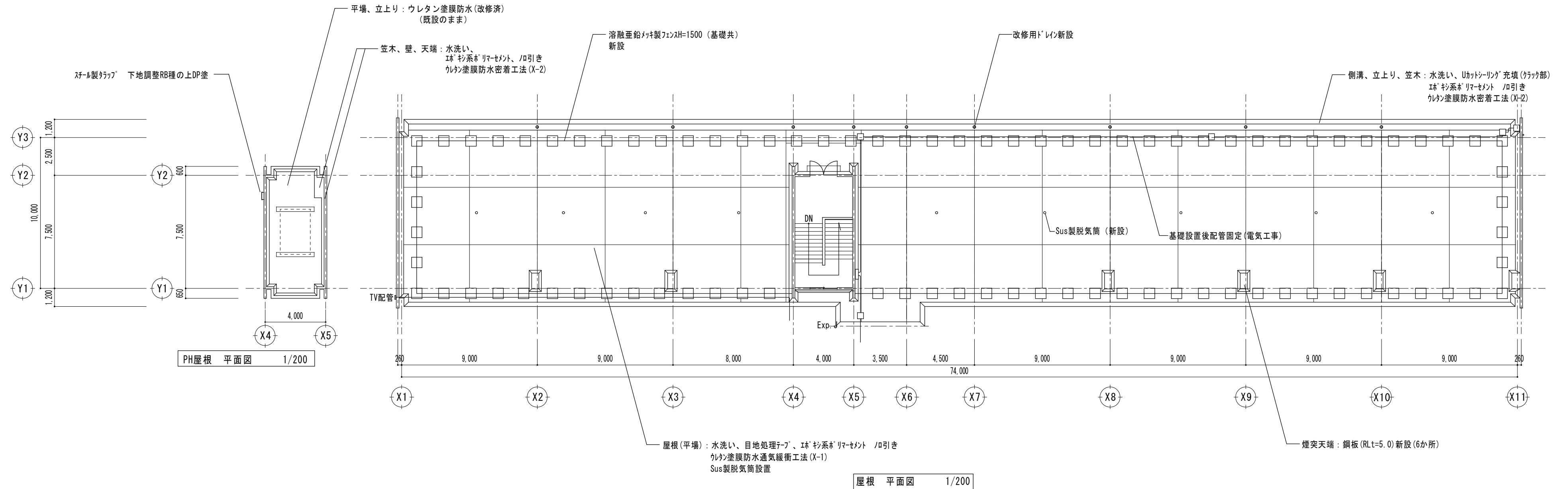
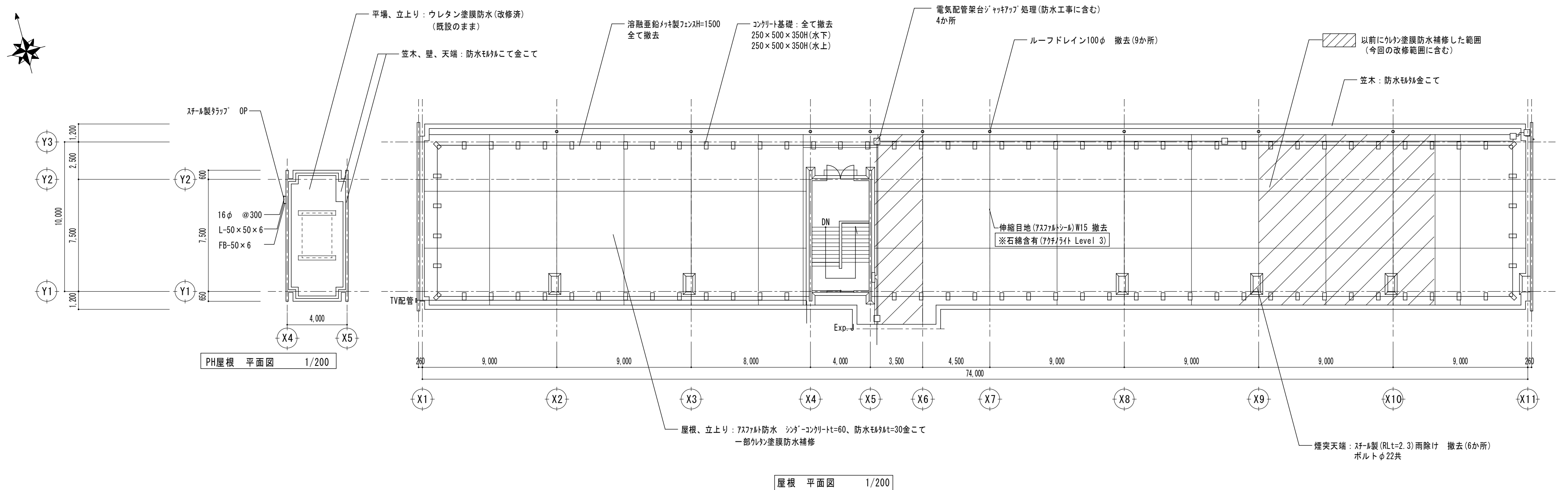
特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0.	
			三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8 TEL: 059-231-8893 FAX: 059-231-8897							
			一級建築士事務所	一級建築士第 2 4 8 1 6 0 号	設計		A2 1/200 A3 1/282.8	2 階 平 面 図	改 修 前 後	A-12 ** 原図: A2
			登録番号 (1) 第 2 1 1 8 号	内 田 貴 之						



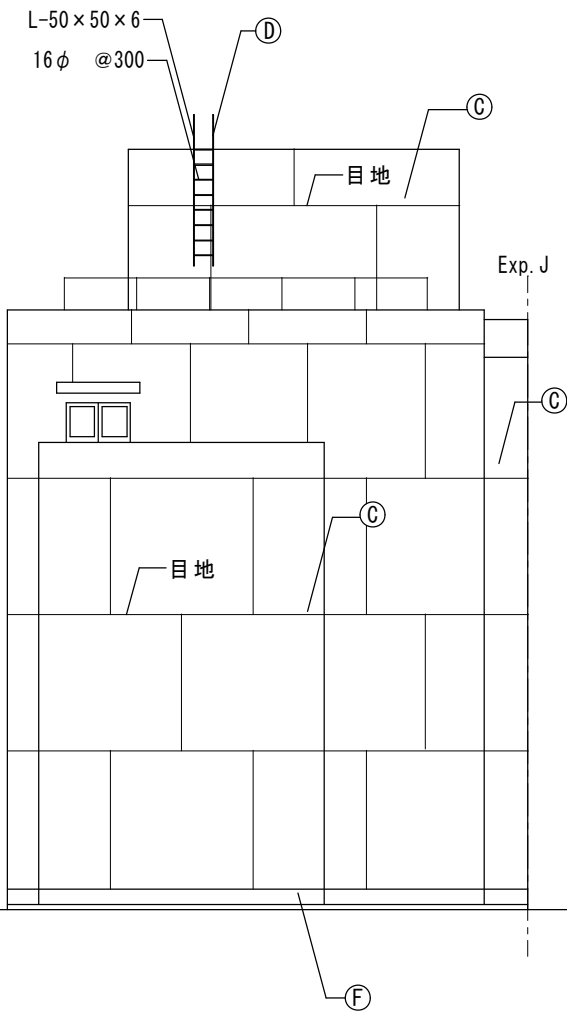
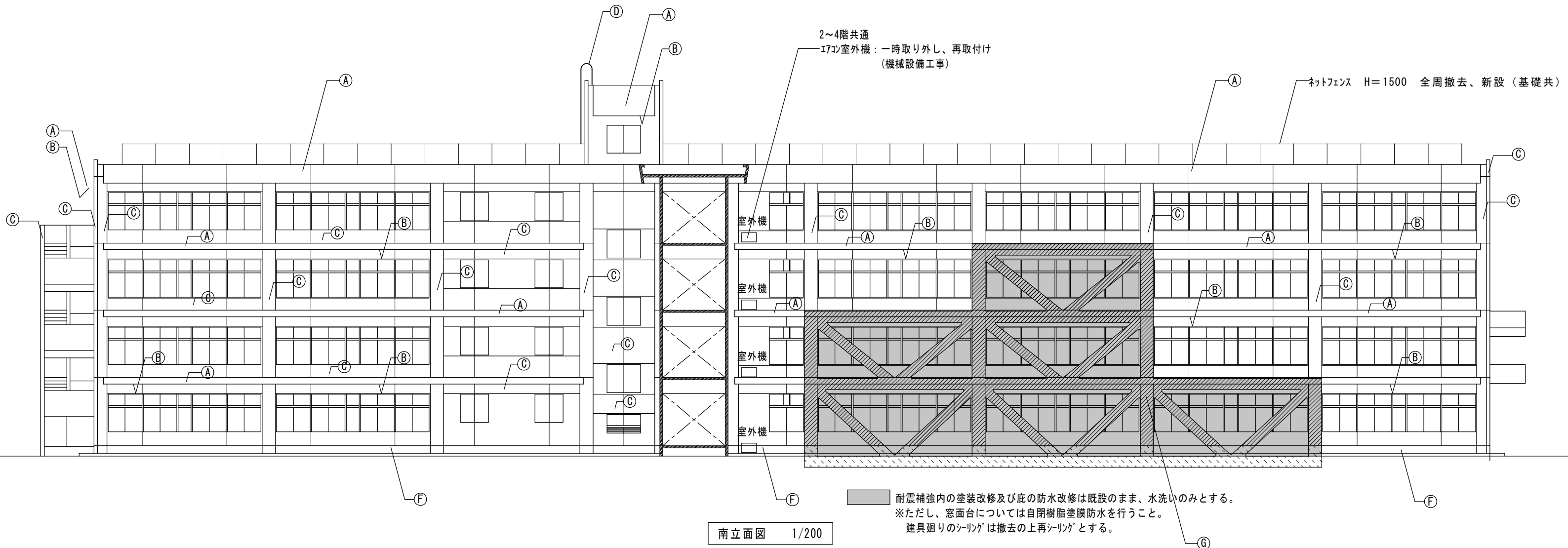
特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津 市 立 橋 北 中 学 校 長 寿 命 化 改 修 工 事	N0.	
			三 重 県 津 市 白 塚 町 5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897							A-13
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/200 A3 1/282.8	3 階 平 面 図	改 修 前 後	**
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之						



特記			月	日	U 建築設計		設計番号	年	月	日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事		N0.
					三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897									A-14
					一級建築士事務所 一級建築士第248160号		設計				A2 1/200 A3 1/282.8	4階平面図	改修前後	**
					登録番号(1)第2118号 内田 貴之									原図:A2



特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						A-15
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/200 A3 1/282.8	屋根・PH屋根 平面図 改修前後	**
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之					原図:A2



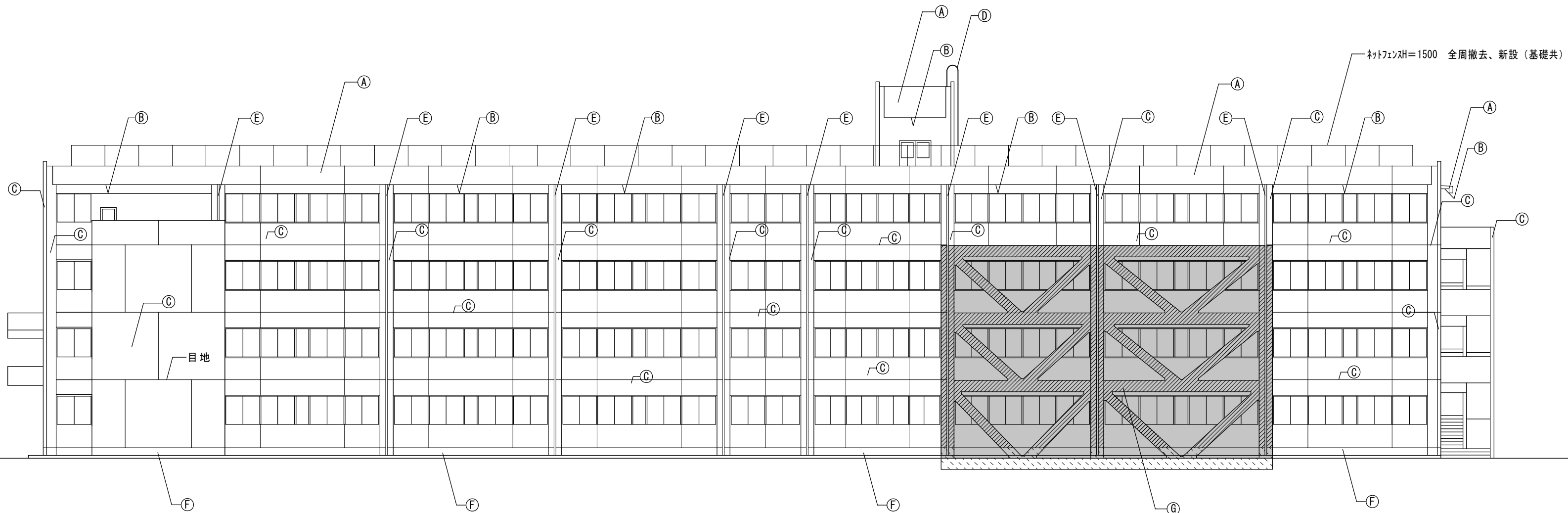
外壁改修仕様 凡例

部位	記号		
庇	A	改修前	天端、小口：防水モルタル金こて仕上 側面、下端：モルタル刷毛引き7クリル系リシン吹付
		改修後	天端：水洗い、下地処理の上自閉樹脂塗膜防水 側面、下端：高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上複層仕上塗材E
軒裏	B	改修前	合板型枠打放補修の上7クリル系リシン吹付
		改修後	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上外装薄塗材E
外壁	C	改修前	モルタル刷毛引き7クリル系リシン吹付
		改修後	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上複層仕上塗材E
タラップ	D	改修前	スチール製タラップ OP L=4000+2400 W=500（ステップ 8か所）
		改修後	スチール製タラップ 下地調整RB種の上DP塗
竖樋	E	改修前	白G管 100φ OP
		改修後	下地調整RB種の上DP塗
巾木	F	改修前	モルタル金こて仕上
		改修後	水洗い
耐震補強部 (ブレース・柱等)	G	改修前	モルタル金こての上防水型複層塗材E
		改修後	水洗い

＜注記＞
・サッシ廻りのシーリング撤去、再シーリング（MS-2）
・外壁目地部は、シーリング（PU-2）新設を行う
・外壁に取り付け設備配管、器具類は、養生を行い脱着はしないものとする

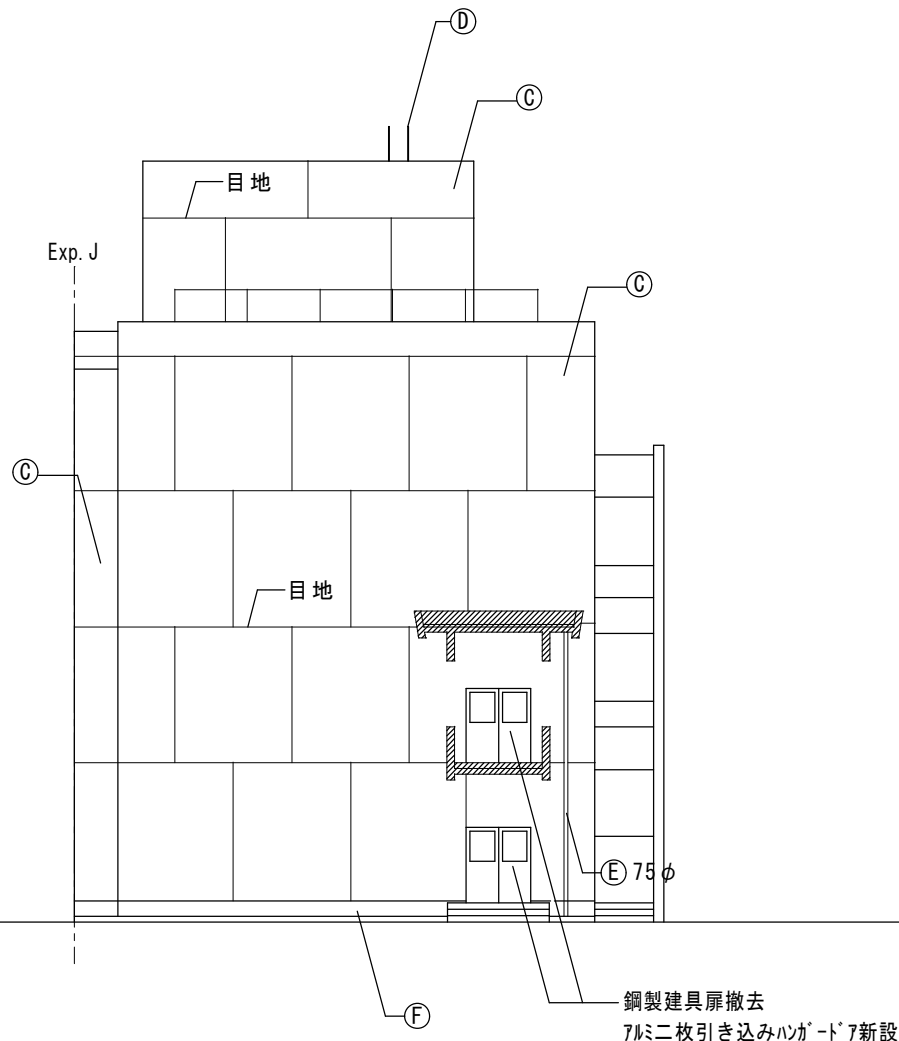
■外壁改修工事仕様 ※ひび割れ補修等は施工数量調査を行い、市監督員による確認後施工すること。

＜施工数量調査＞		＜外壁タラップ補修仕様＞	
・調査項目	タラップ、剥がれ及び剥落部、浮き部	・ひび割れ補修（1mm超）	ウレタン充填工法の上ホリマセメント充填
・調査方法	打診、目視及びタラップスケール等	・ひび割れ補修（1mm以下）	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
・報告書	2部（補修方法別に調査数量を集計すること。）	・欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填工法（防錆処理共）
		・浮き部補修	一般部：アンカービニリング部分 エポキシ樹脂注入工法（16本/㎡ 25ml/穴）
			見上部：アンカービニリング部分 エポキシ樹脂注入工法（25本/㎡ 25ml/穴）
			細幅部：アンカービニリング部分 エポキシ樹脂注入工法（5本/㎡ 25ml/穴）



北立面図 1/200

耐震補強内の塗装改修及び底の防水改修は既設のまま、水洗いのみとする。
※ただし、窓面台については自閉樹脂塗膜防水を行うこと。
また建具廻りのシーリングは撤去の上再シーリングとする。



東立面図 1/200

外壁改修仕様 凡例

部位	記号		
庇	A	改修前	天端、小口：防水めり金こて仕上 側面、下端：めり刷毛引き7クリル系リシン吹付
		改修後	天端：水洗い、下地処理の上自閉樹脂塗膜防水 側面、下端：高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上複層仕上塗材E
軒裏	B	改修前	合板型枠打放補修の上7クリル系リシン吹付
		改修後	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上外装薄塗材E
外壁	C	改修前	めり刷毛引き7クリル系リシン吹付
		改修後	高圧洗浄（30～50MPa）、下地調整の上複層仕上塗材E
タラップ	D	改修前	スチール製タラップ OP L=4000+2400 W=500（ステップ 8か所）
		改修後	スチール製タラップ 下地調整RB種の上DP塗
竖樋	E	改修前	白G管 100φ OP
		改修後	下地調整RB種の上DP塗
巾木	F	改修前	めり金こて仕上
		改修後	水洗い
耐震補強部 (ブレース・柱等)	G	改修前	めり金こての上防水型複層塗材E
		改修後	水洗い

＜注記＞
・サッシ廻りのシーリング撤去、再シーリング（MS-2）
・外壁目地部は、シーリング（PU-2）新設を行う
・外壁に取り付く設備配管、器具類は、養生を行い脱着はしないものとする

■外壁改修工事仕様 ※ひび割れ補修等は施工数量調査を行い、市監督員による確認後施工すること。

＜施工数量調査＞

- ・調査項目 クラック、剥がれ及び剥落部、浮き部
- ・調査方法 打診、目視及びクラックスケール等
- ・報告書 2部（補修方法別に調査数量を集計すること。）

＜外壁クラック補修仕様＞

- ・ひび割れ補修（1mm超）
- ・ひび割れ補修（1mm以下）
- ・欠損部補修
- ・浮き部補修

ウレタン樹脂充填工法の上部リマーセメント充填

自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

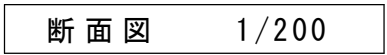
エポキシ樹脂樹脂充填工法（防錆処理共）

一般部：アンカービッディング部分 エポキシ樹脂注入工法（16本/㎡ 25ml/穴）

見上部：アンカービッディング部分 エポキシ樹脂注入工法（25本/㎡ 25ml/穴）

細幅部：アンカービッディング部分 エポキシ樹脂注入工法（5本/㎡ 25ml/穴）

特記		月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N.O.	
				三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8 TEL: 059-231-8893 FAX: 059-231-8897							
				一級建築士事務所	一級建築士第 2 4 8 1 6 0 号	設計		A2 1/200 A3 1/282.8	北・東立面図	改修前後	
				登録番号（1）第 2 1 1 8 号	内 田 貴 之						
									A-17	**	原図：A2

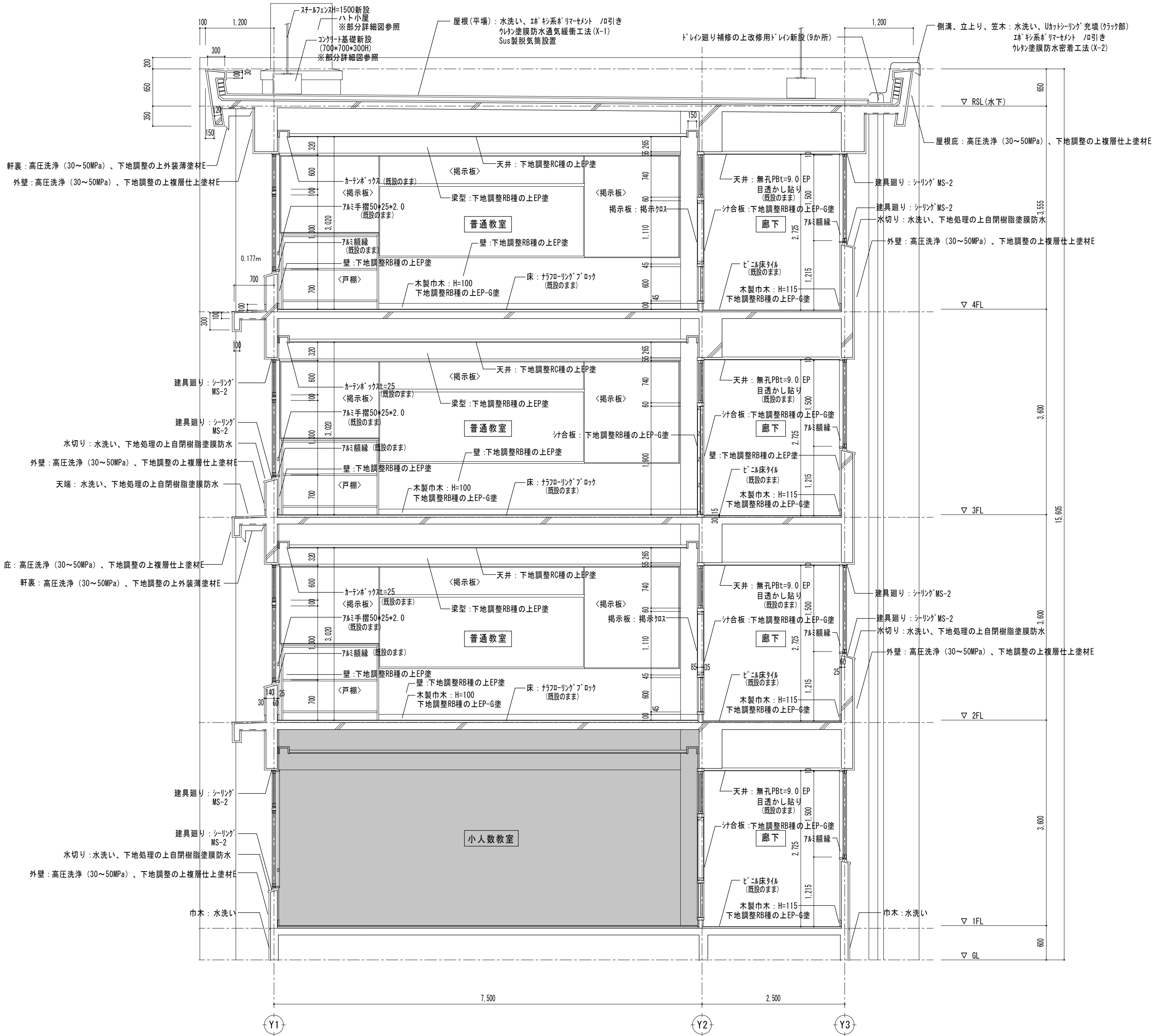


特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事		N0.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						A-18	
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/200 A3 1/282.8	断面図	既存	**
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之						

原図:A

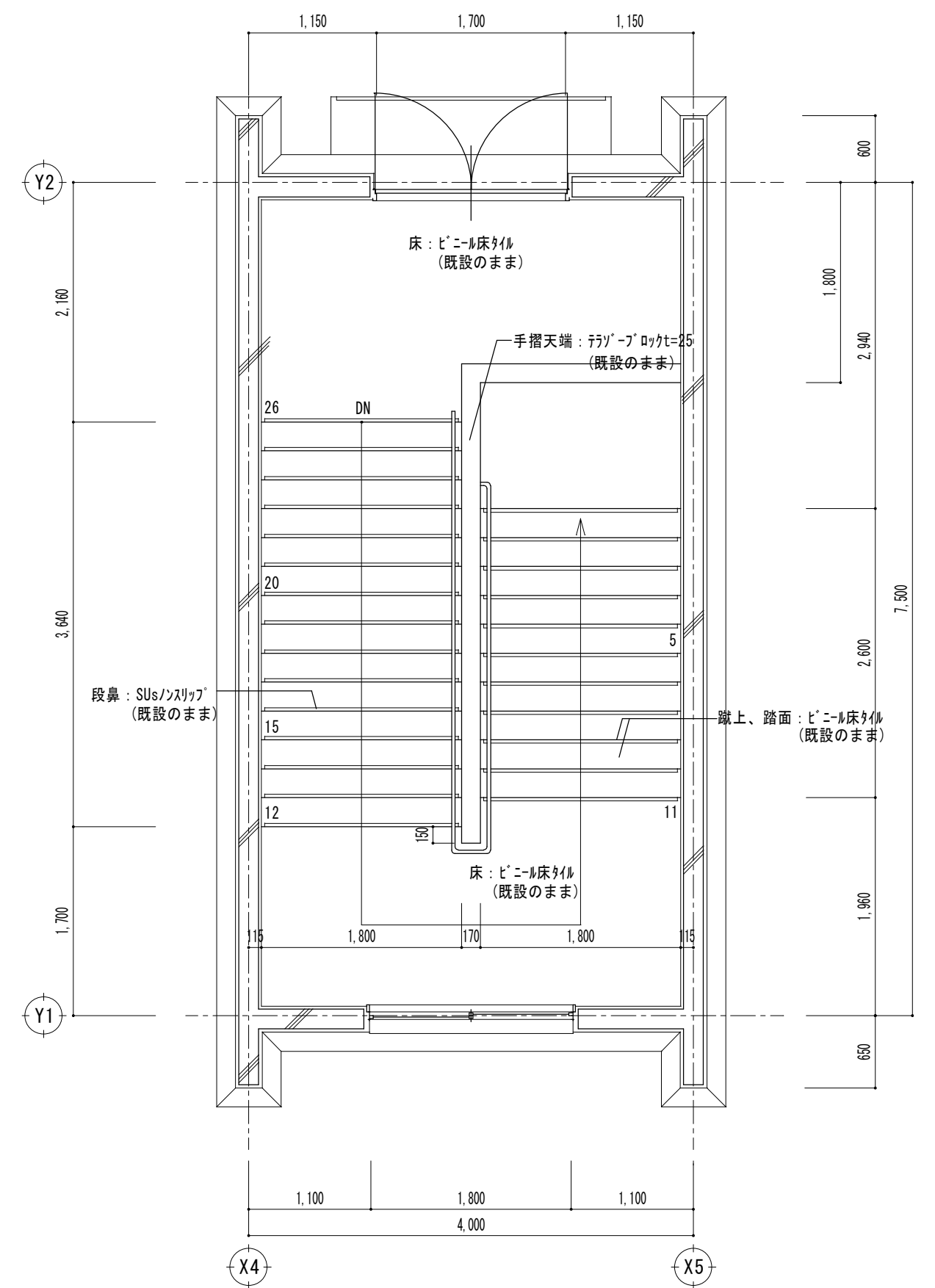
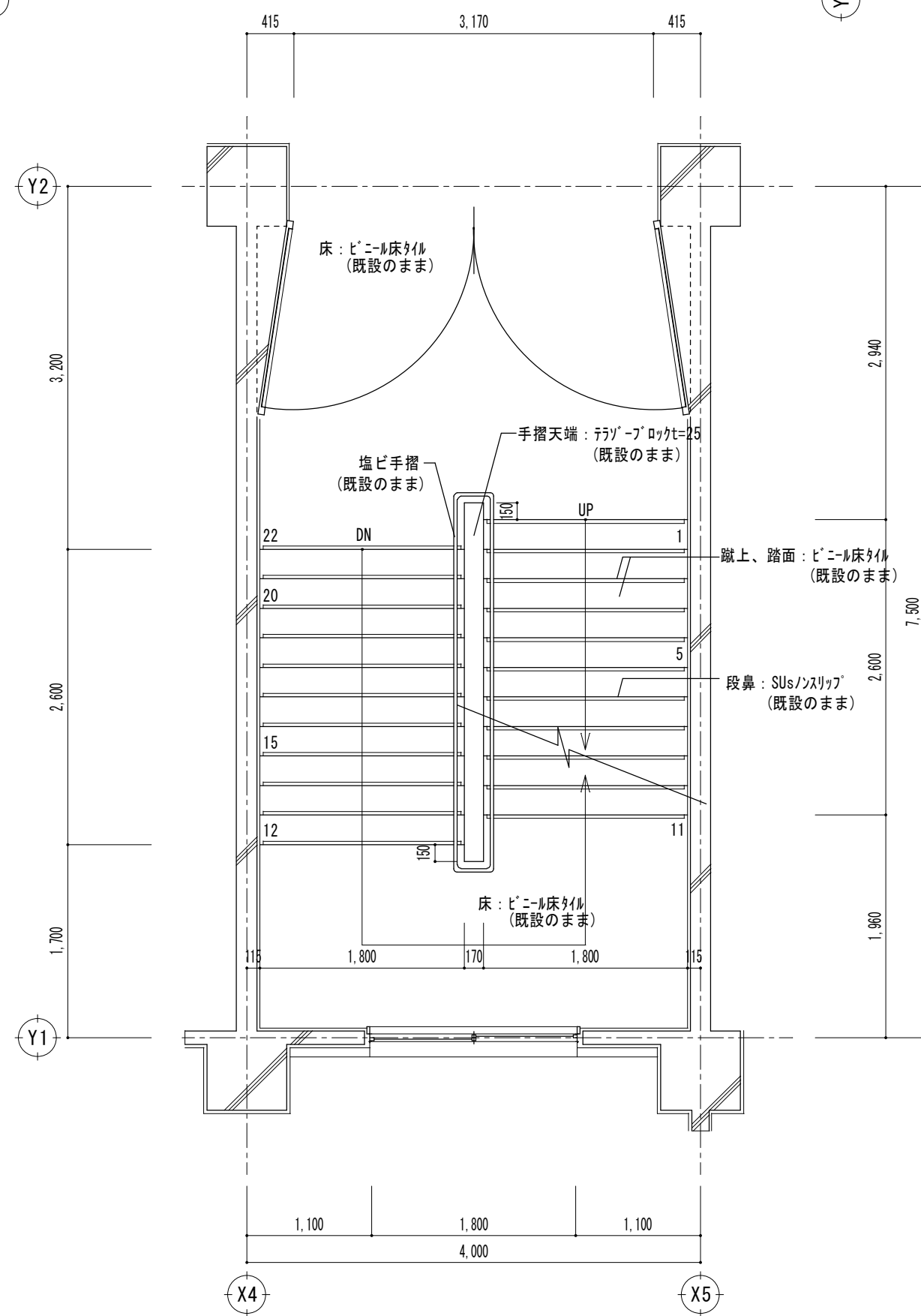
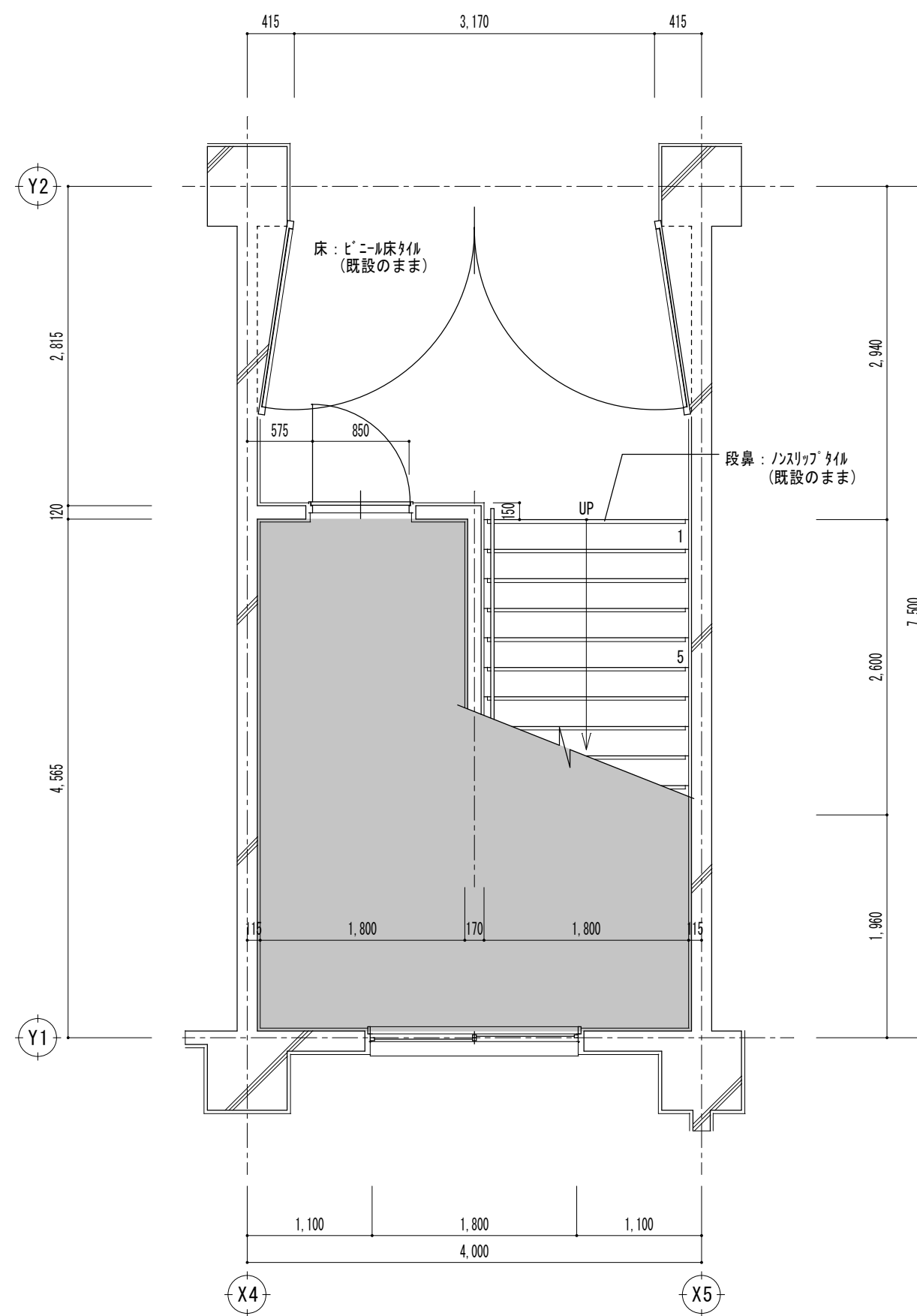
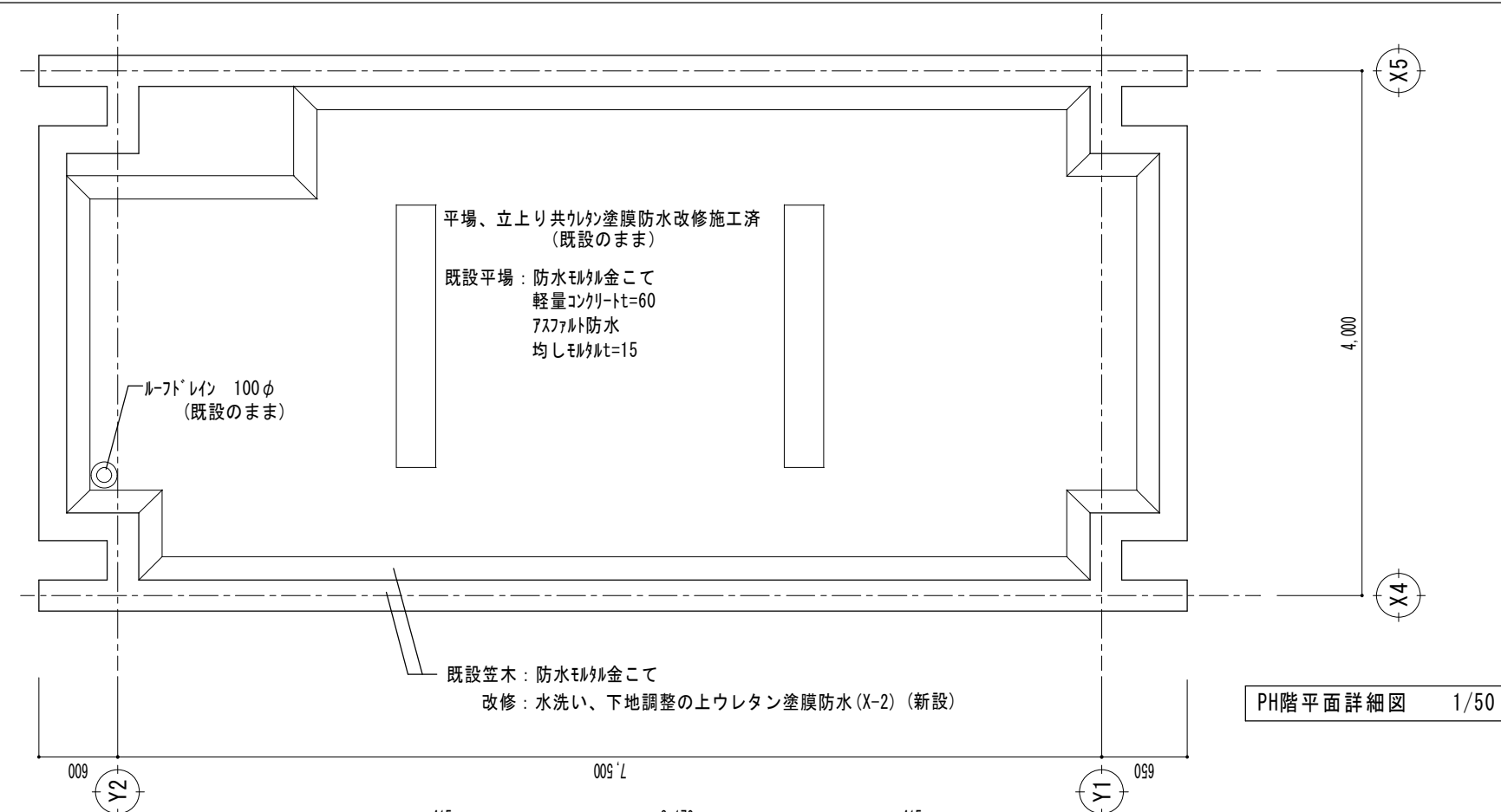


特記	月		日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0.
				三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				A-19		
				一級建築士事務所	一級建築士第 2 4 8 1 6 0 号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	断面詳細図(1)	



改修範囲外を示す

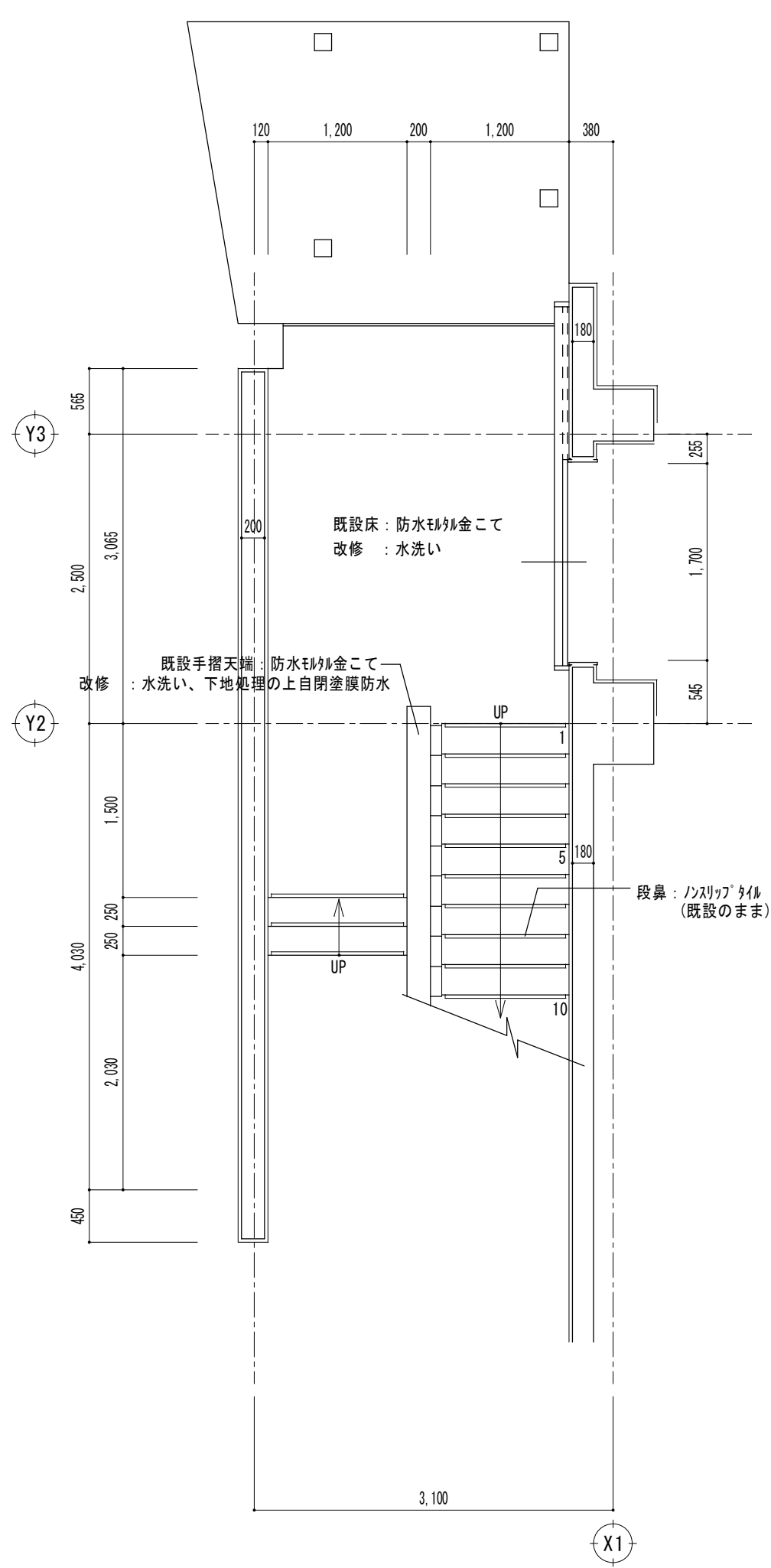
特記				月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N.O.
						三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
						一級建築士事務所	一級建築士第 2 4 8 1 6 0 号	設計	A2 1/50 A3 1/70.7		断面詳細図(2)	



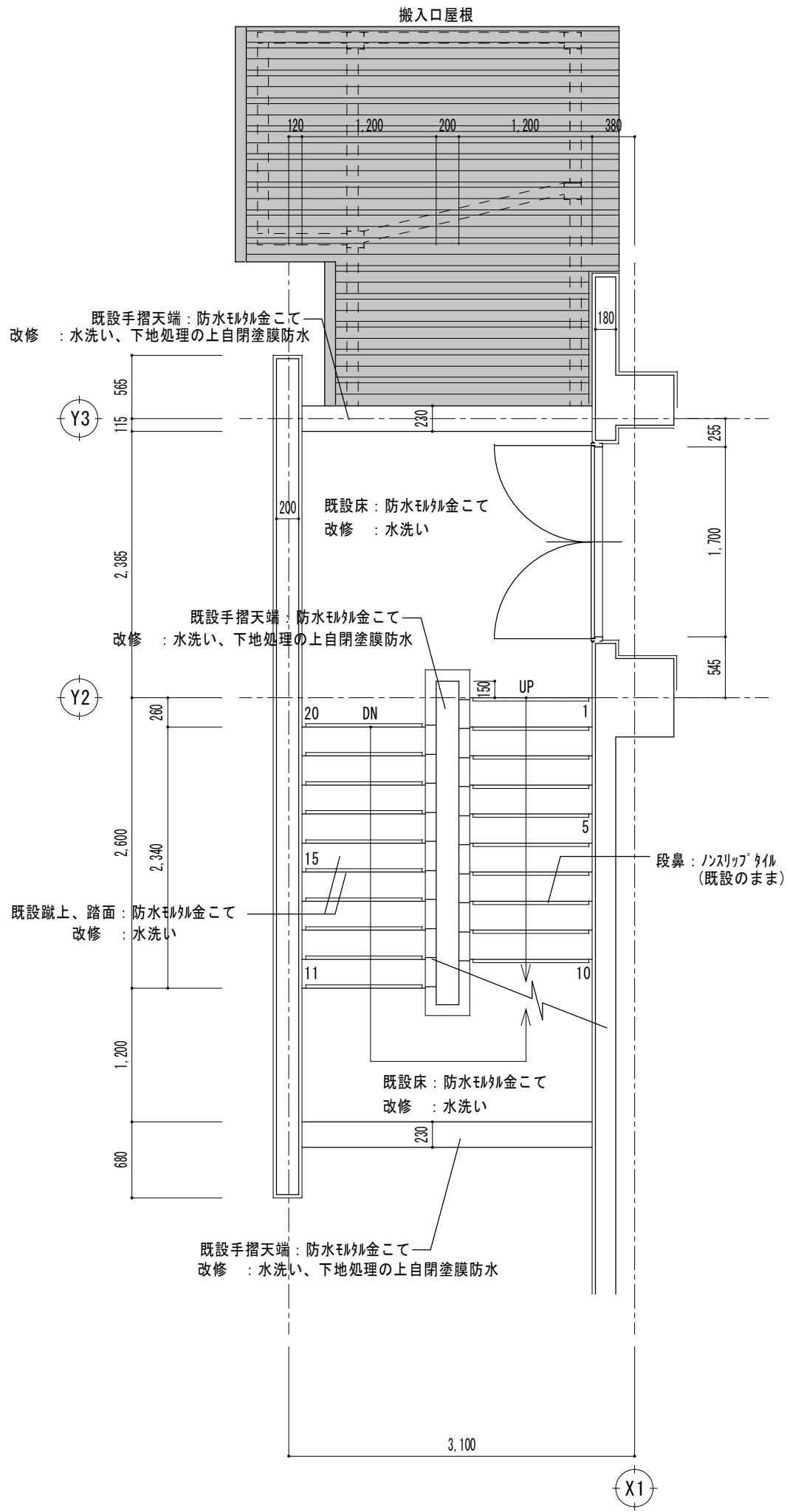
改修範囲外を示す

特 記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7		
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之					
								屋内階段平面詳細図 改修前後	A-21 ** 原図:A2

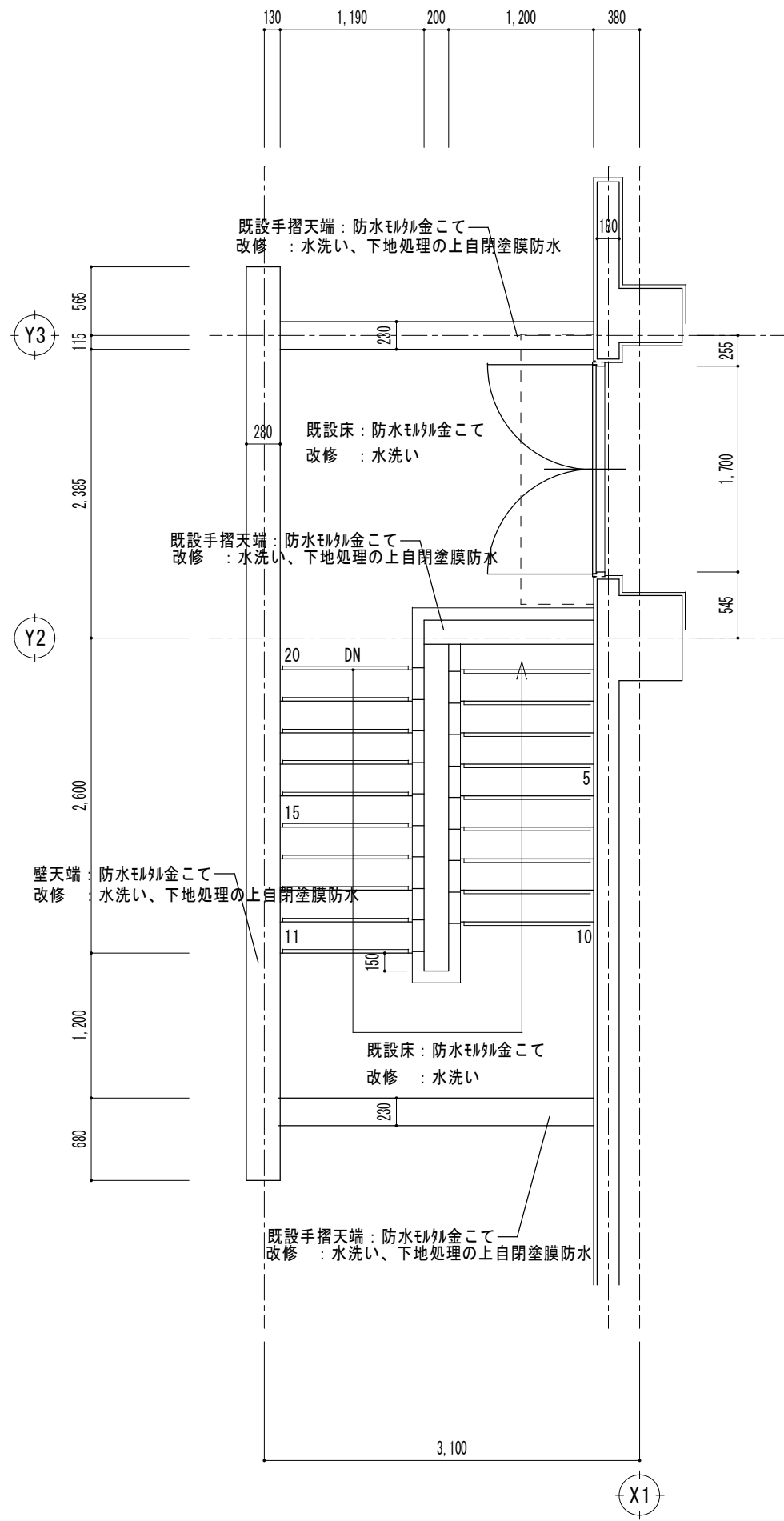
特 記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事		N0.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						A-23	
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				**	
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之					原図:A2	



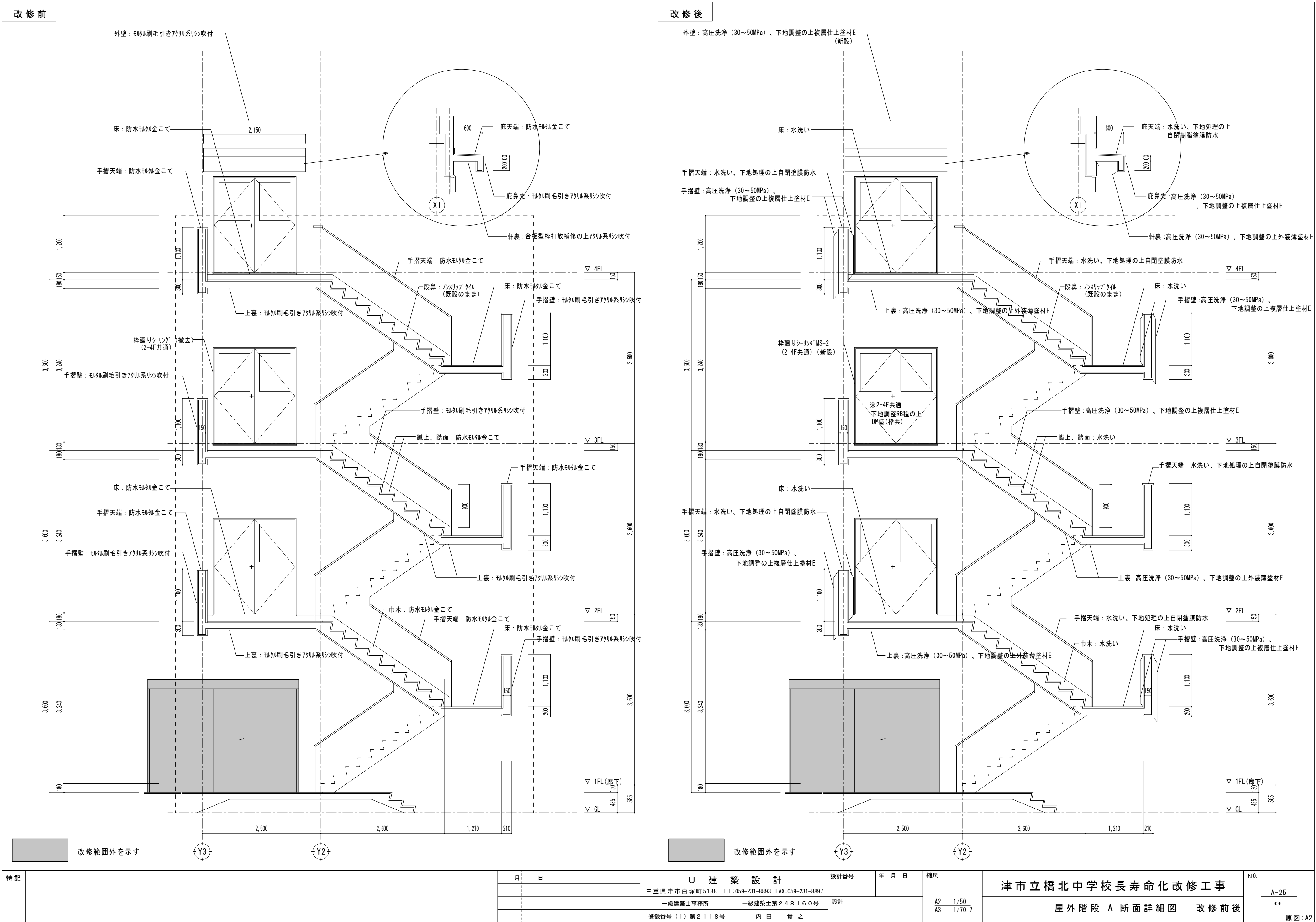
1 階平面詳細図 1/50

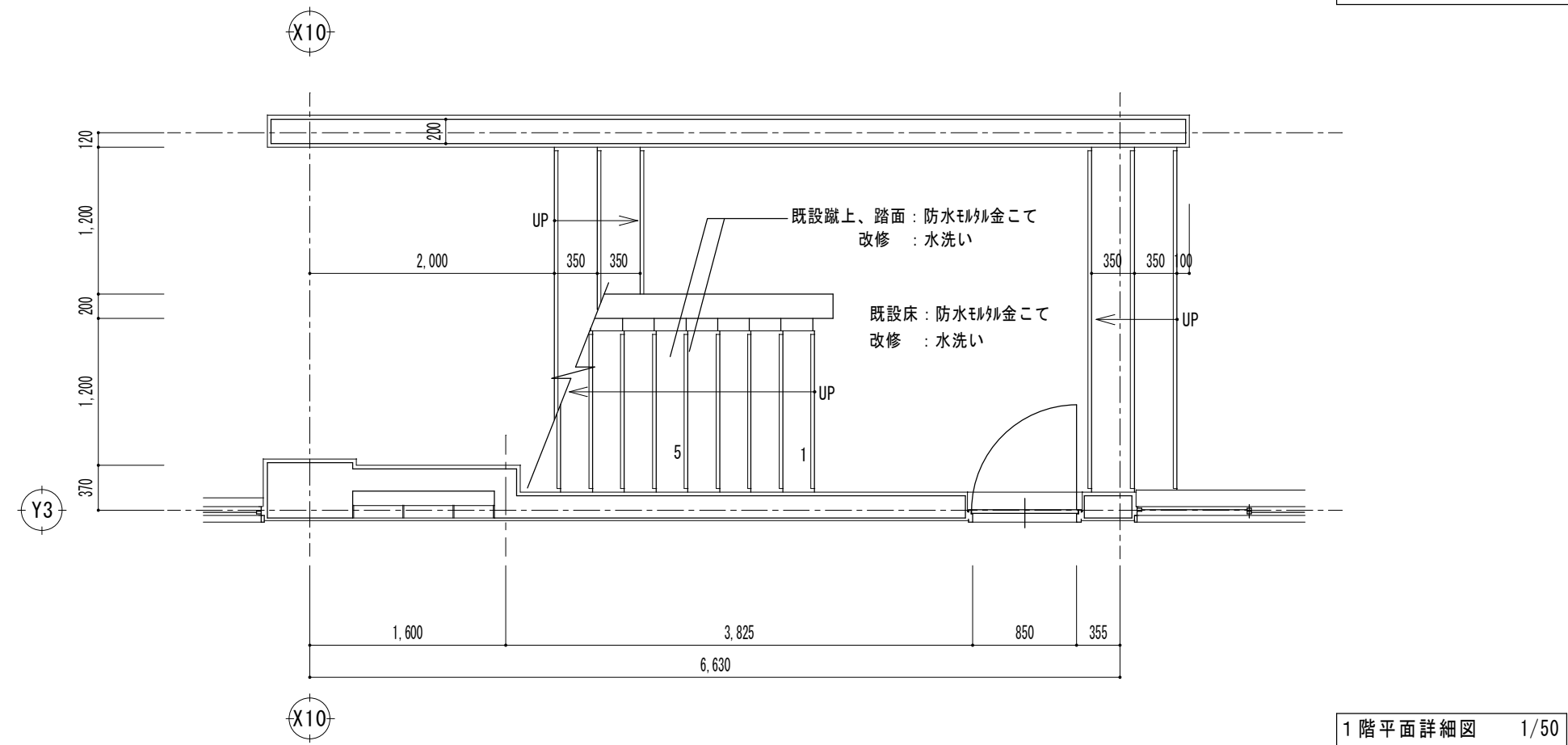
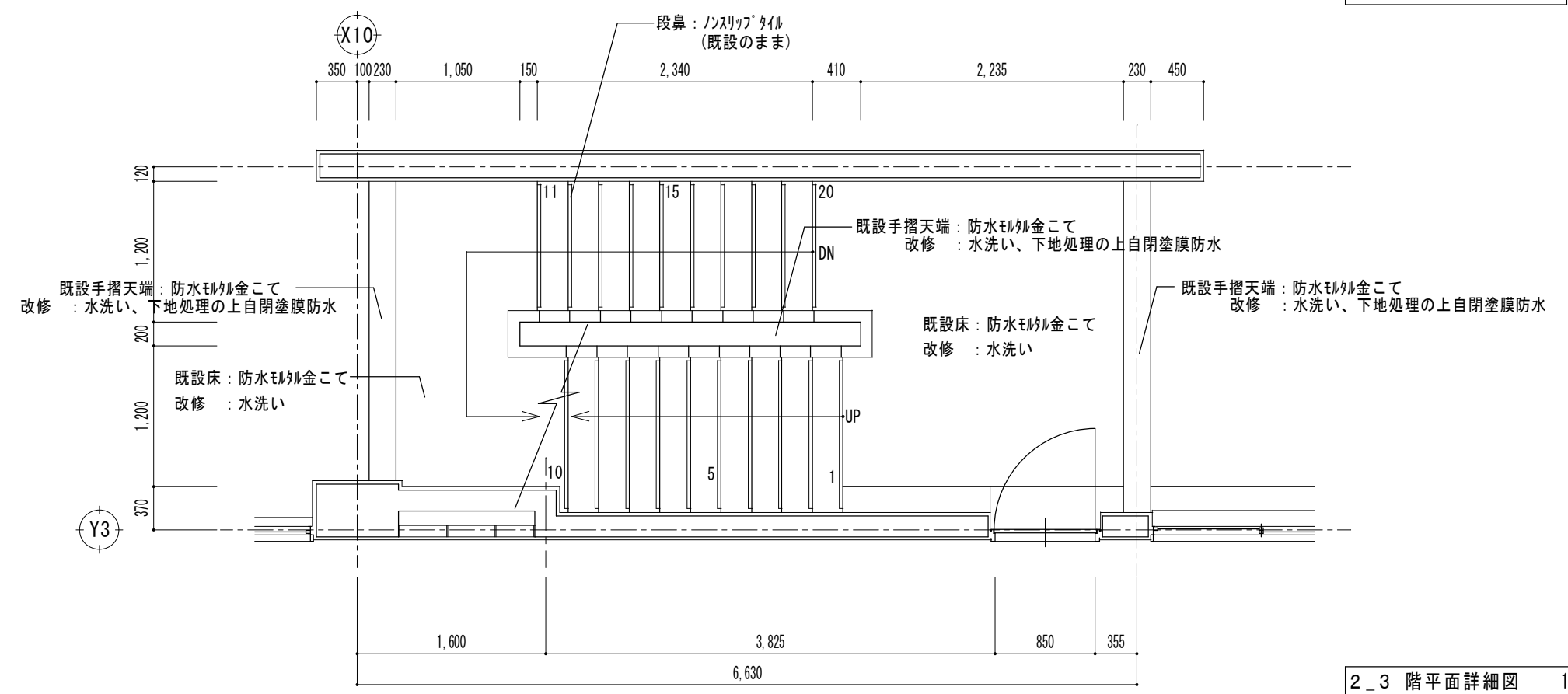
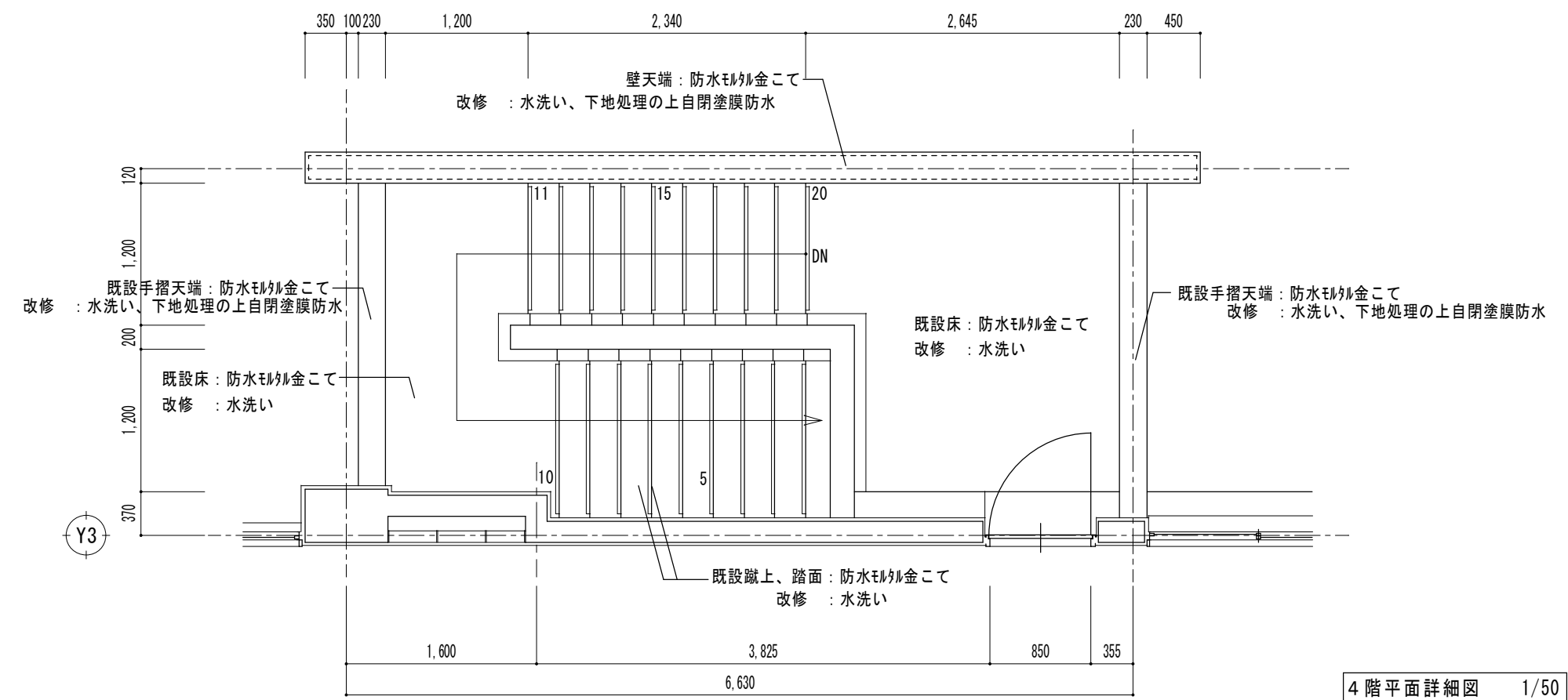


2_3 階平面詳細図 1/50



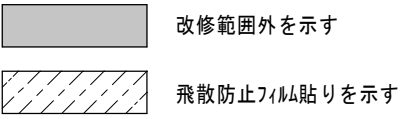
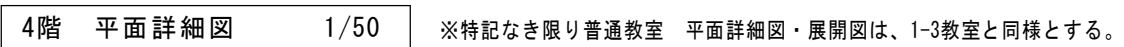
4 階平面詳細図 1/50



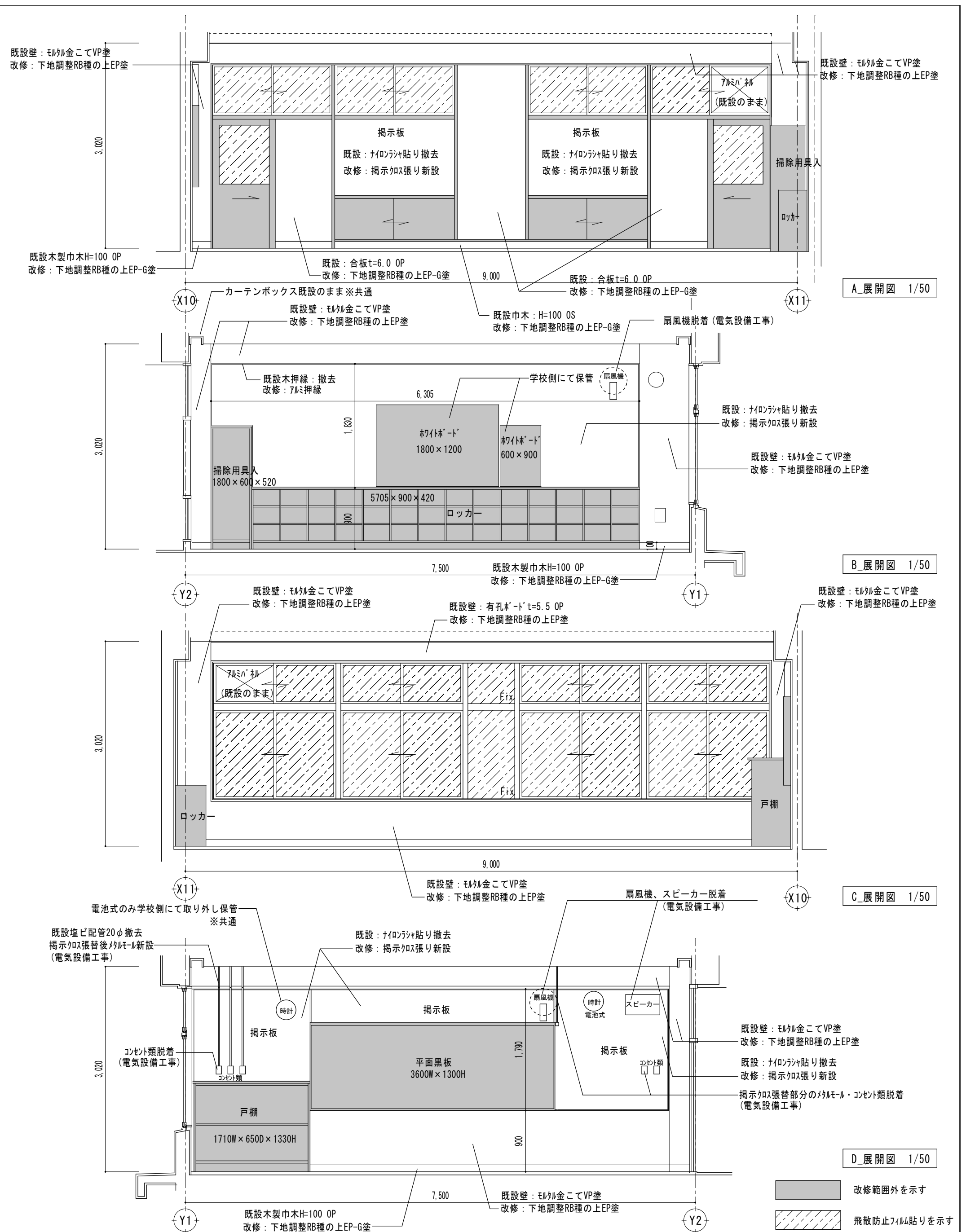
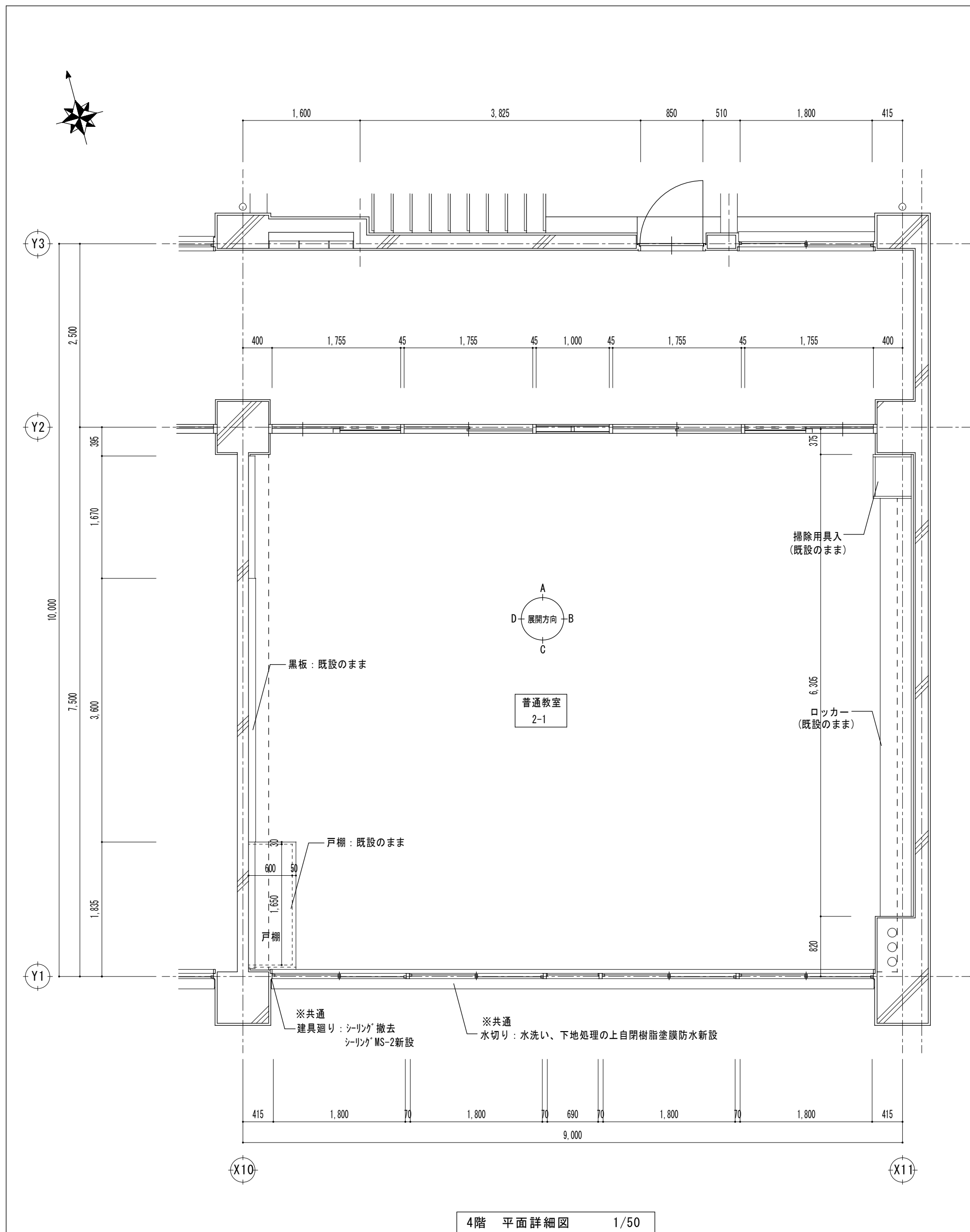


特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺 A2 1/50 A3 1/70.7	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 屋外階段 B 平面詳細図 改修前後	N0. A-26 ** 原図：A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之					

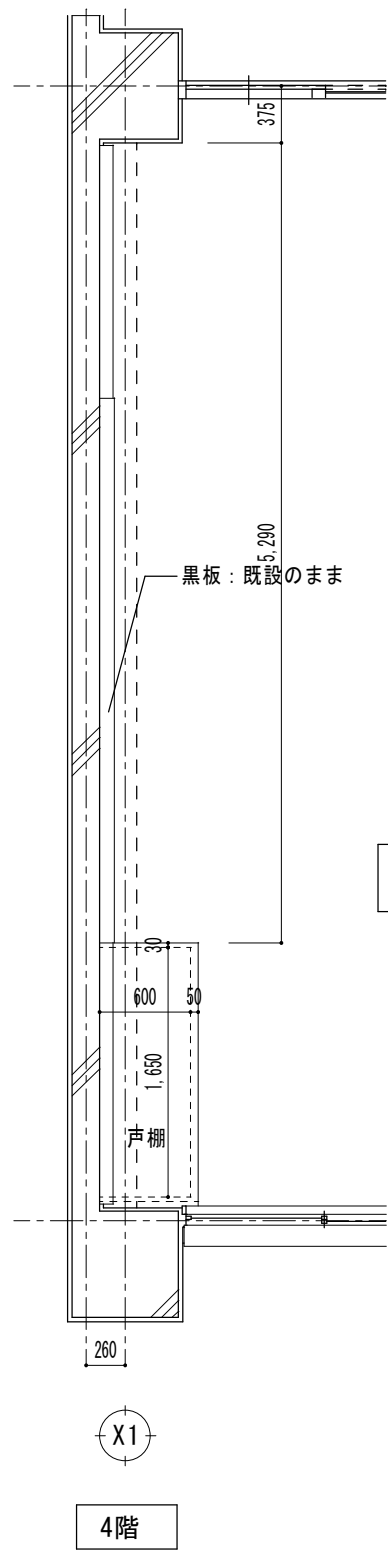
改 修 前		改 修 後					
特記			月	日			
			U 建 築 設 計				
			三重県 津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計番号		
			登録番号 (1) 第2118号	内 田 貴 之	年 月 日		
			縮尺				
			A2 1/50				
			A3 1/70.7				
			津市立橋北中学校長寿命化改修工事				
			屋外階段 B 断面詳細図 改修前後				
			N0.				
			A-27				
			**				
			原図: A2				



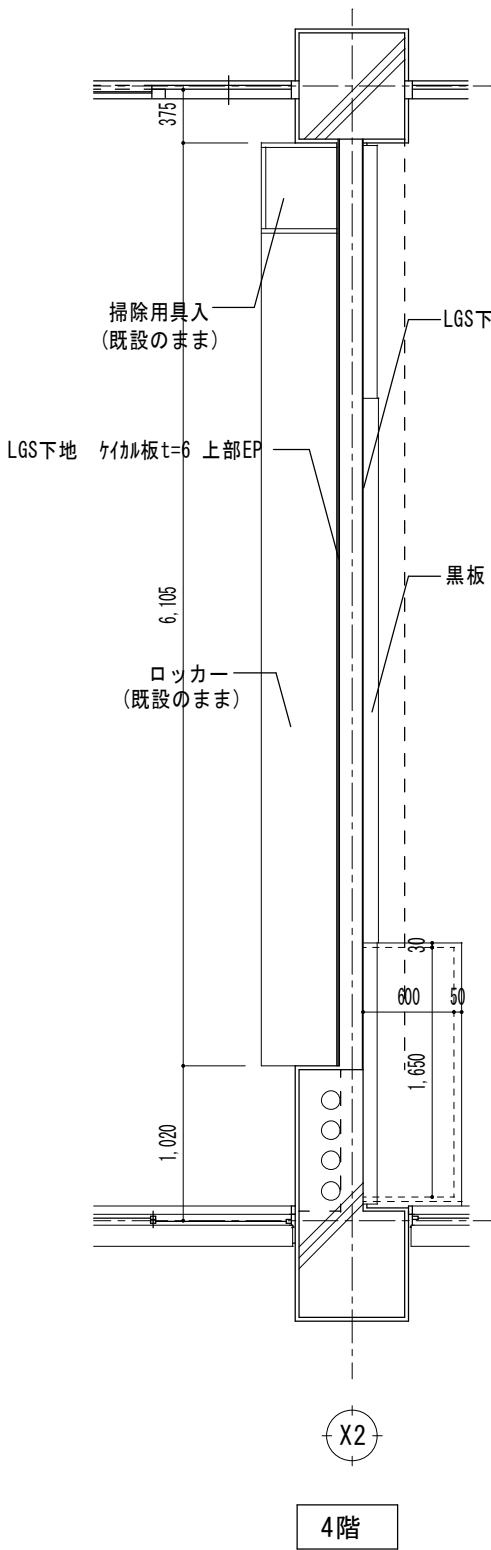
特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校校長寿命化改修工事 普通教室 4階 1-3教室 平面詳細図・展開図	N0. A-28 ** 原図：A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7		
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之					



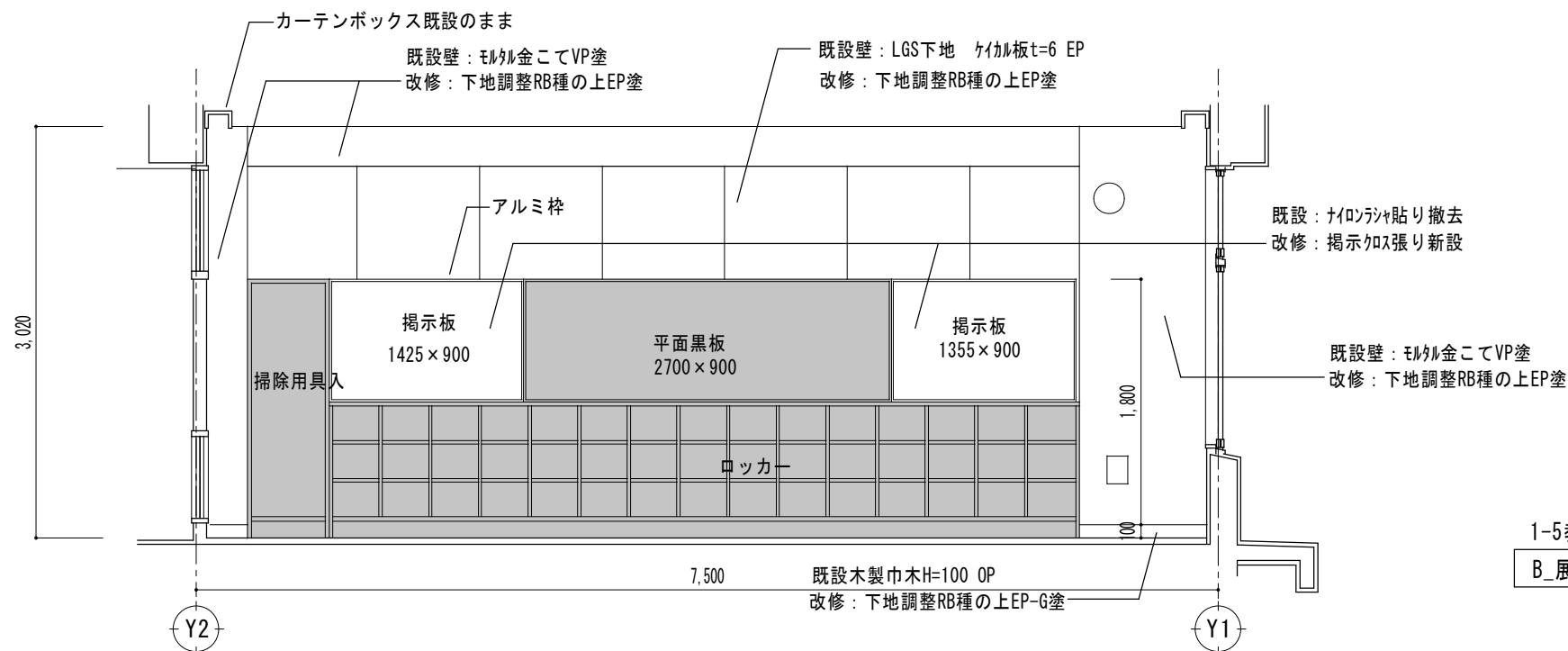
特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事		N0. A-29 ** 原図：A2
			三重県 津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897							
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	普通教室 3階 2-1教室	改修前後	
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之				平面詳細図・展開図		



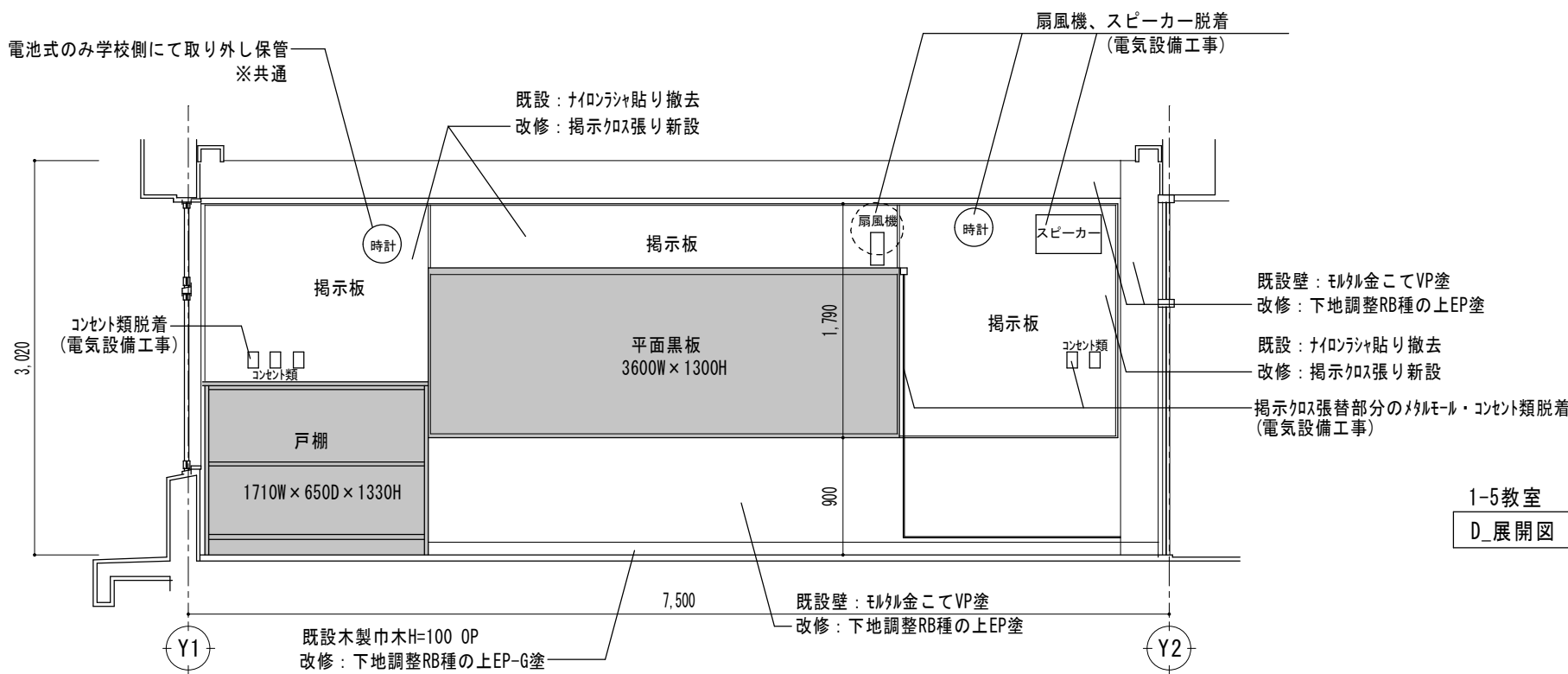
普通教室
1-5



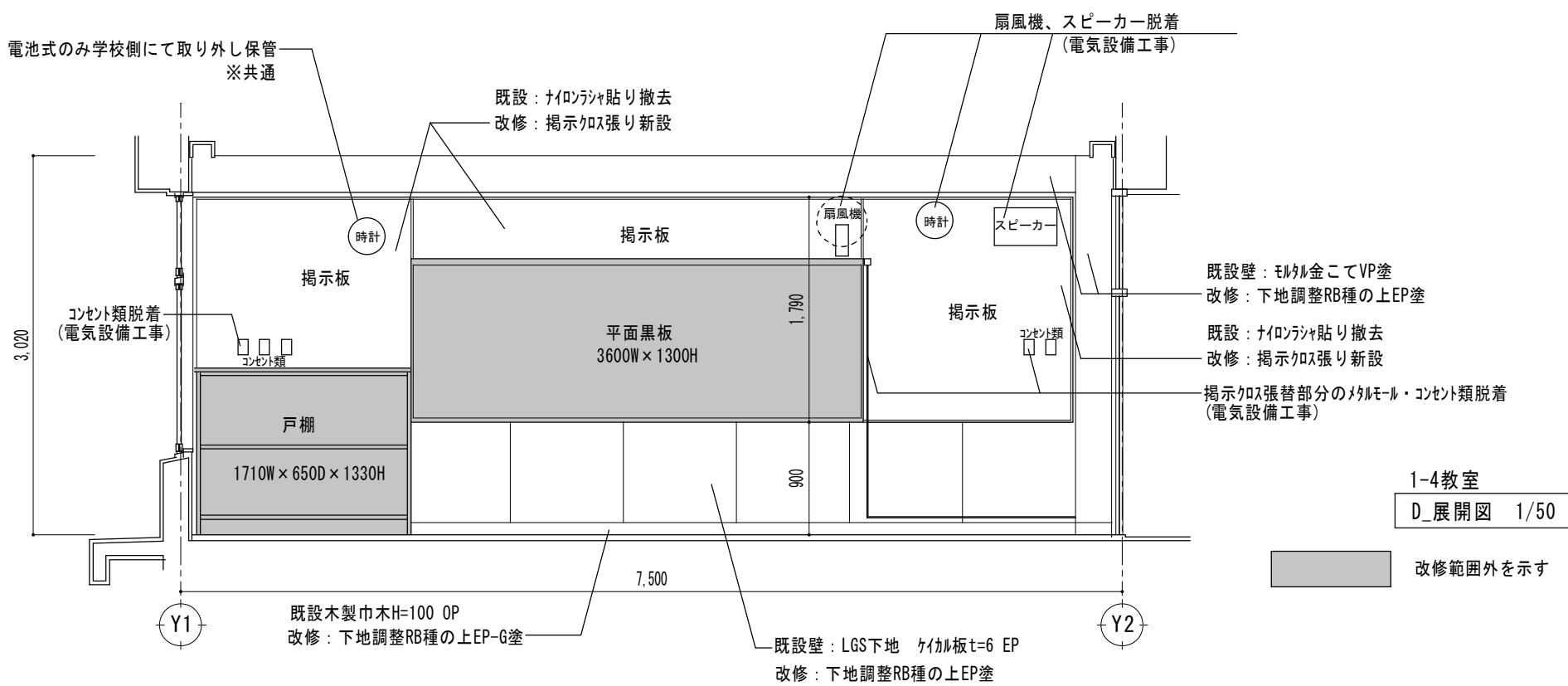
普通教室
1-4



1-5教室
B_展開図 1/50

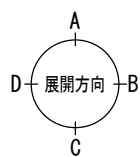


1-5教室
D_展開図 1/50

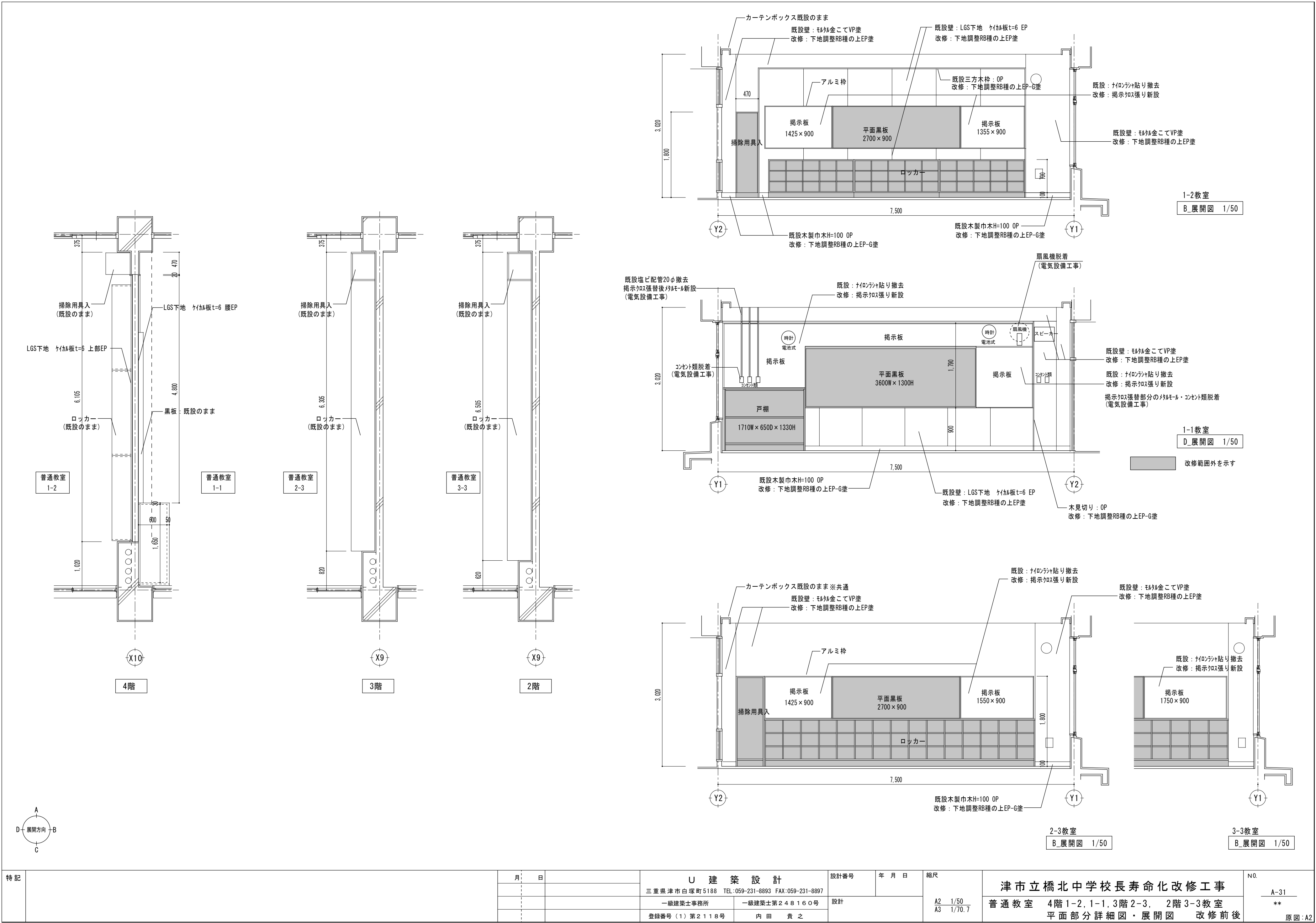


1-4教室
D_展開図 1/50

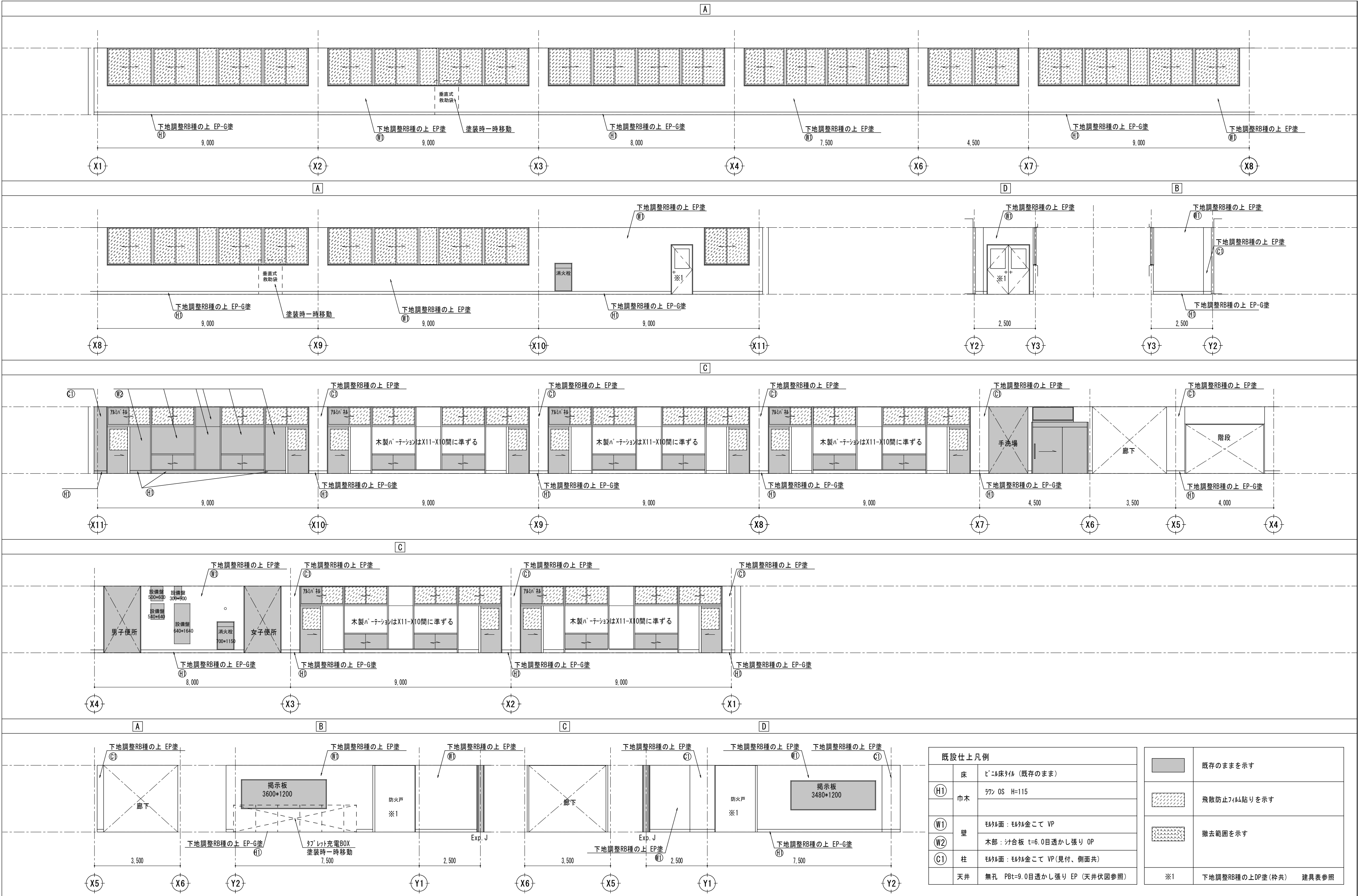
改修範囲外を示す



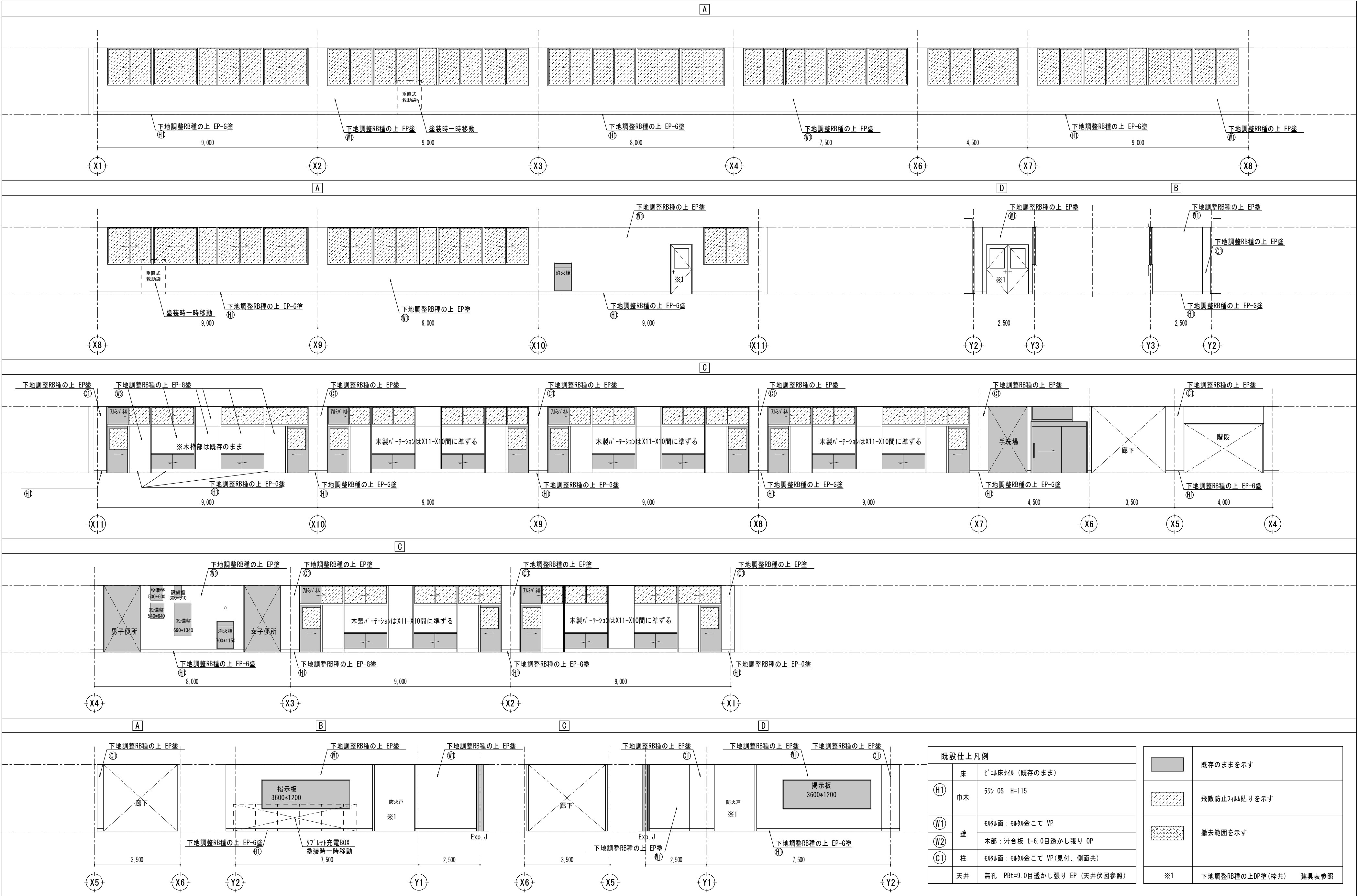
特記		月	日	U 建築設計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 普通教室 4階 1-4, 1-5教室 平面部分詳細図・展開図 改修前後	N.O. A-30 ** 原図：A2
				三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
				一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7		
				登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

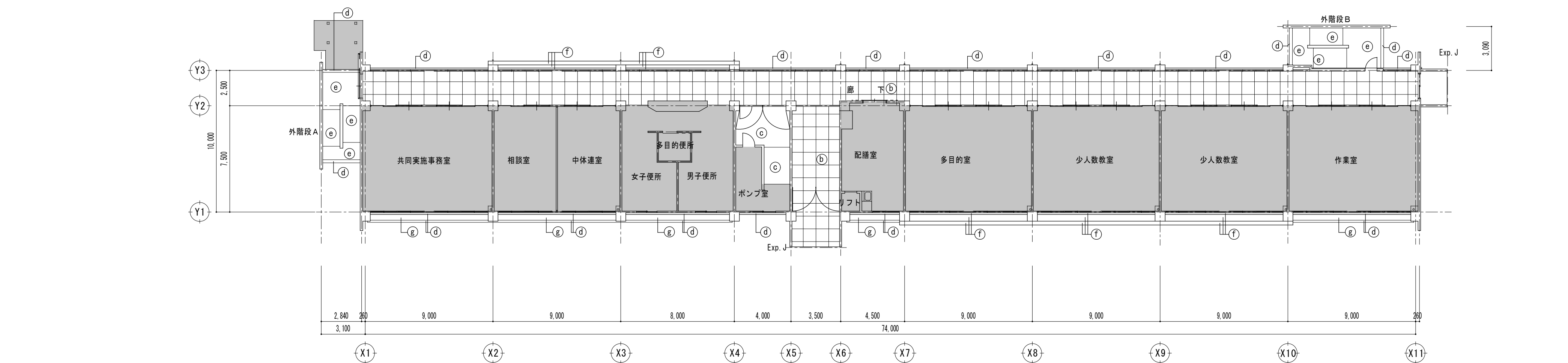
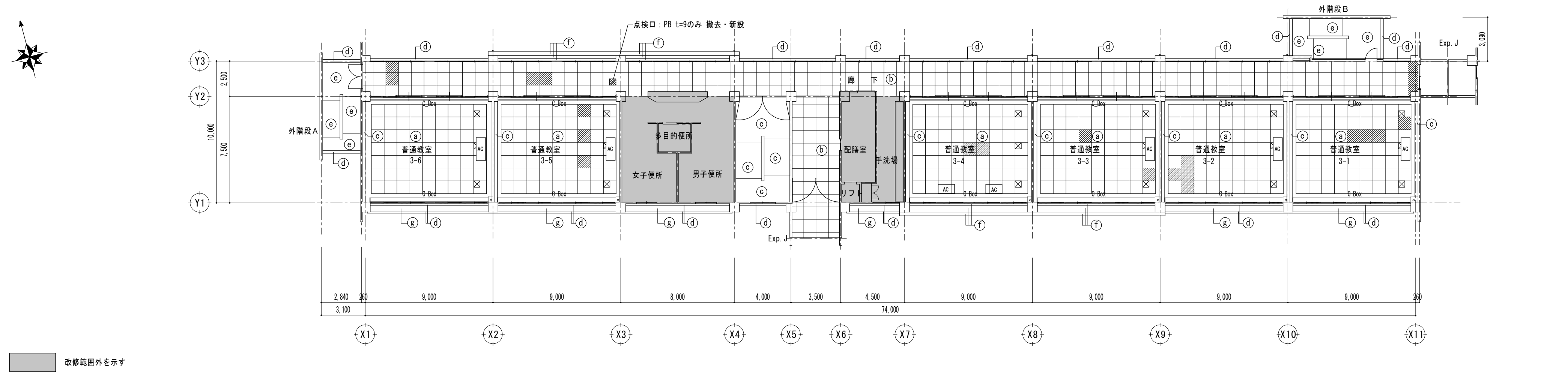


特記			月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事		N0.
					三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897					A-31		
					一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	普通教室 4階1-2, 1-1, 3階2-3, 2階3-3教室 平面部分詳細図・展開図 改修前後	**	
					登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之						原 図 : A2

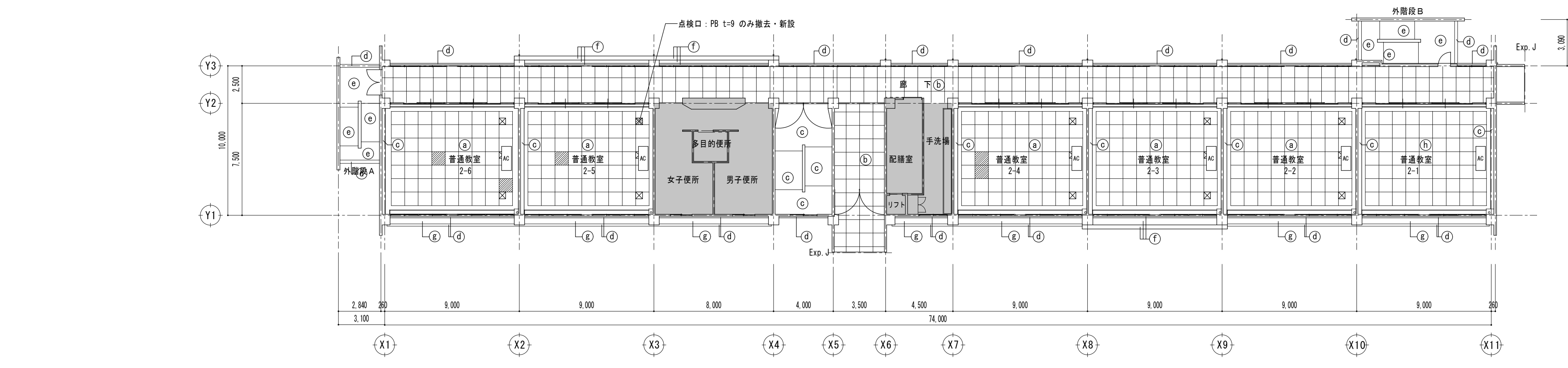
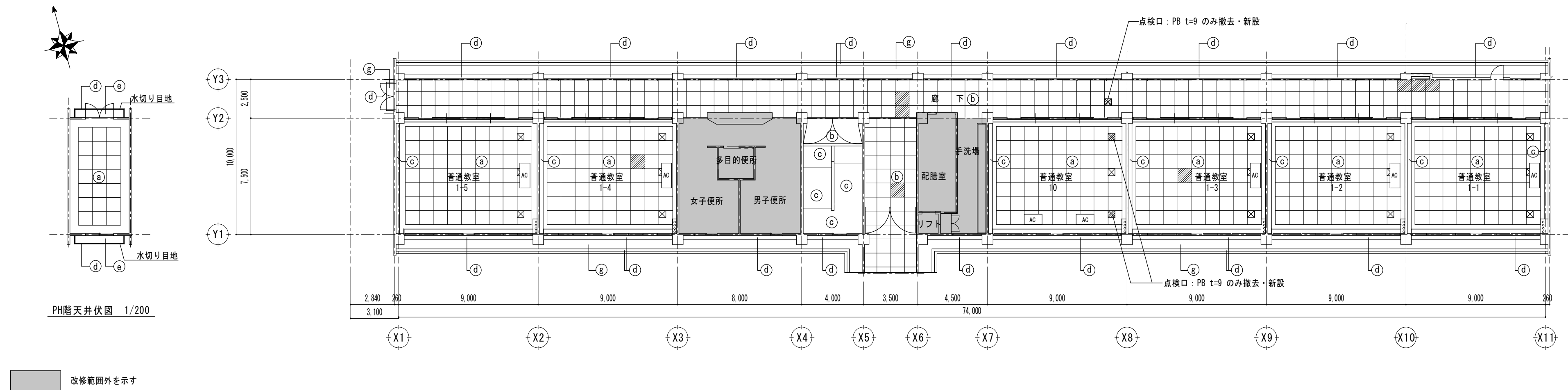


特記		月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事		N0.
				三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897					A-34		
				一級建築士事務所	一級建築士第 2 4 8 1 6 0 号	設計			3 階 廊 下 展 開 図		

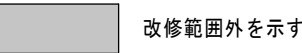




記号	改修前	改修後
(a)	有孔、無孔 石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗	下地調整RC種の上 EP塗
(b)	無孔 石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗 (既設のまま) 一部劣化部分撤去	無孔 石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗 (既設のまま) 一部劣化箇所 PBt=9.5 EP塗(新設)
(c)	モルタル金こて VP塗	下地調整RB種の上 EP塗
(d)	モルタル刷毛引き7カリ系リソ吹付	高圧洗浄 (30～50MPa)、下地調整の上、複層仕上塗材E
(e)	階段・底上裏：モルタル刷毛引き7カリ系リソ吹付	高圧洗浄 (30～50MPa)、下地調整の上、外装薄塗材E
(f)	防水型複層塗材E(耐震補強部分)	水洗い
(g)	底上裏：合板型枠打放の上7カリ系リソ吹付	高圧洗浄 (30～50MPa)、下地調整の上、外装薄塗材E
☒	天井点検口450角 (既設のまま)	
▨	天井PB劣化損傷部分を示す (撤去)	天井PB t=9.5 EP塗 (新設)

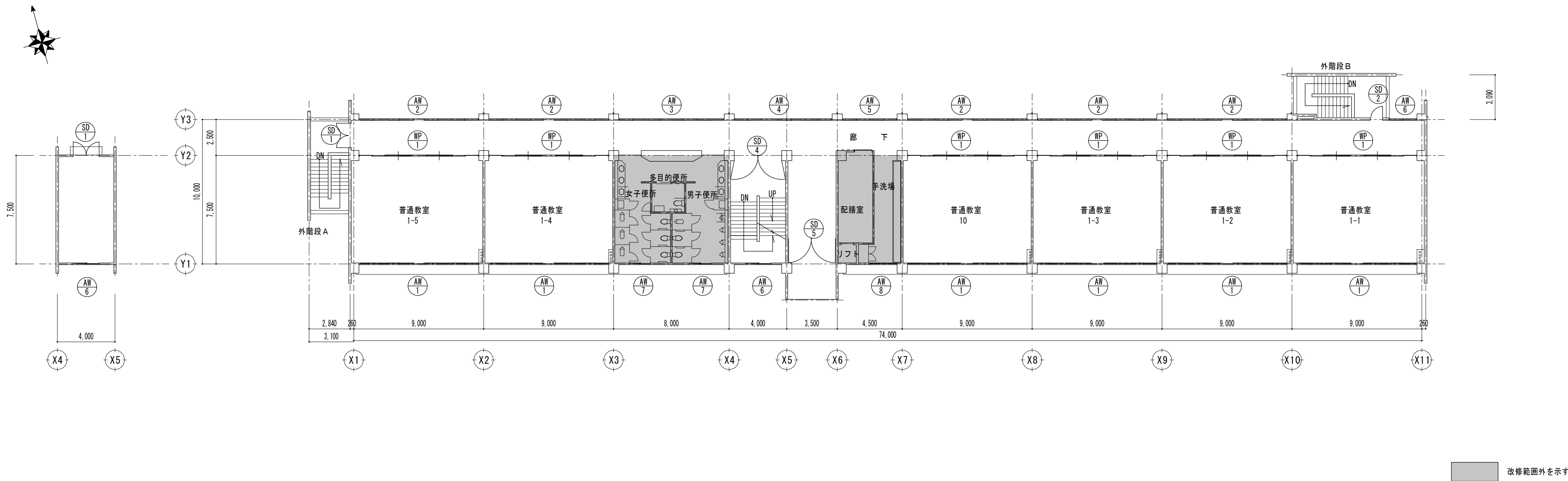


記号	改修前	改修後
(a)	有孔、無孔 石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗	下地調整RC種の上 EP塗
(b)	無孔 石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗 (既設のまま) 一部劣化部分撤去	無孔 石膏ボードt=9.0目透かし張り EP塗 (既設のまま) 一部劣化箇所 PBt=9.5 EP塗(新設)
(c)	モルタル金こて VP塗	下地調整RB種の上 EP塗
(d)	モルタル刷毛引き7ｸﾘﾙ系ｼﾝ吹付	高圧洗浄 (30～50MPa)、下地調整の上、複層仕上塗材E
(e)	階段・底上裏：モルタル刷毛引き7ｸﾘﾙ系ｼﾝ吹付	高圧洗浄 (30～50MPa)、下地調整の上、外装薄塗材E
(f)	防水型複層塗材E(耐震補強部分)	水洗い
(g)	底上裏：合板型桟打放の上7ｸﾘﾙ系ｼﾝ吹付	高圧洗浄 (30～50MPa)、下地調整の上、外装薄塗材E
(h)	化粧石膏ｶﾞｰﾄﾞ t=9.5 改修済 (既設のまま)	化粧石膏ｶﾞｰﾄﾞ t=9.5(既設のまま)
⊗	天井点検口450角 (既設のまま)	
▨	天井PB劣化損傷部分を示す (撤去)	天井PB t=9.5 EP塗 (新設)

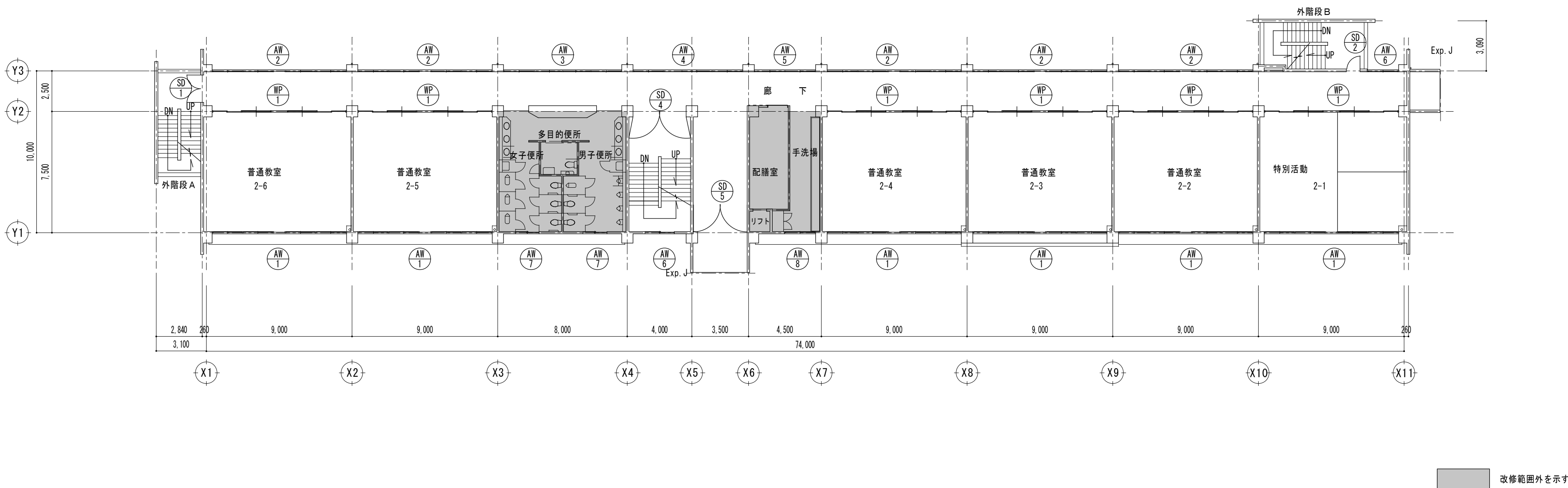


特 記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N.O. A-38 ** 原図：A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/200 A3 1/282.8	1,2階建具伏図	
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之					

4 階, PH階 建具伏図 1/200

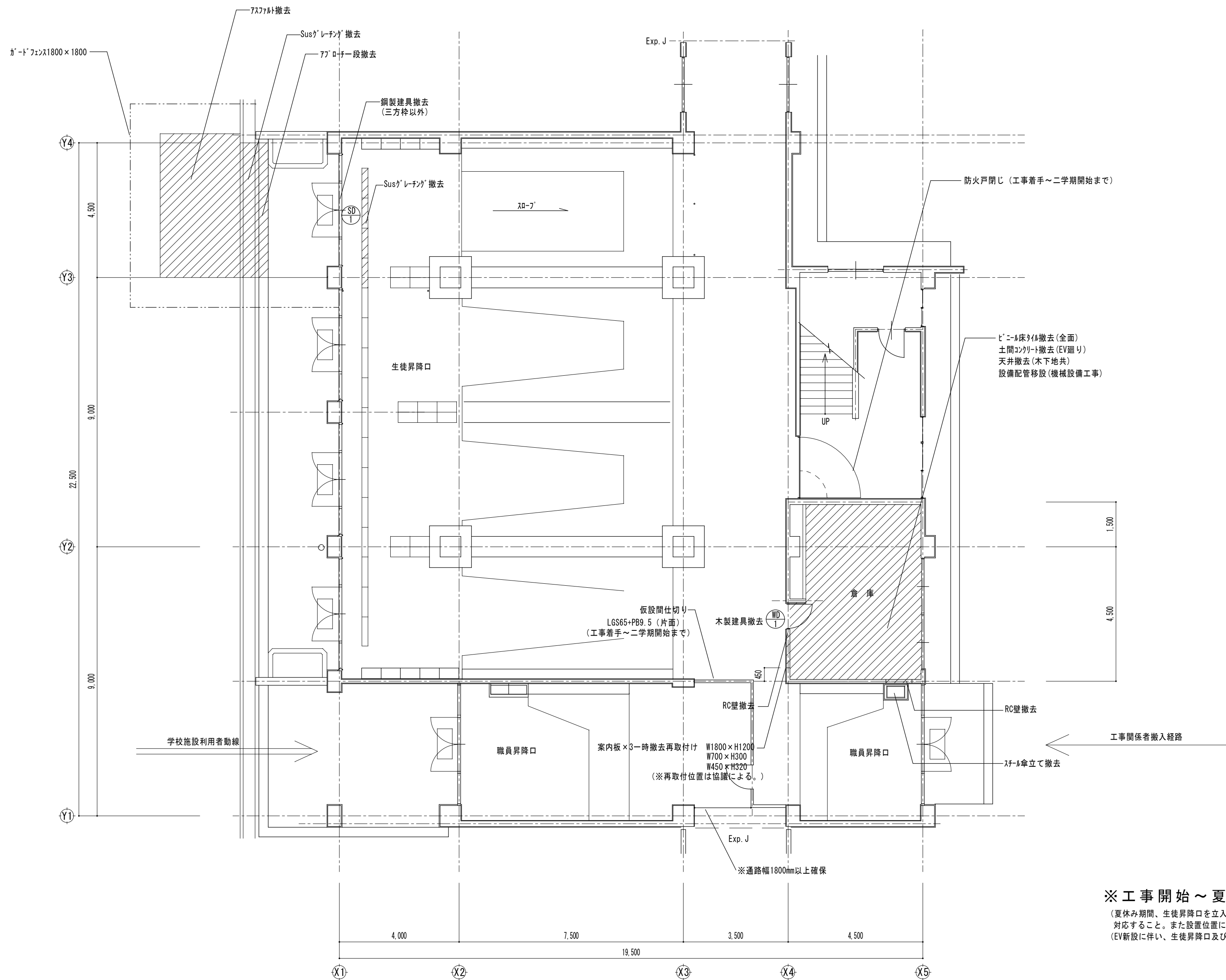


3 階建具伏図 1/200



特記		月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0.
				三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
				一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計	A2 1/200			
				登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之		A3 1/282.8			
3,4階建具伏図									A-39	
									**	
									原図:	

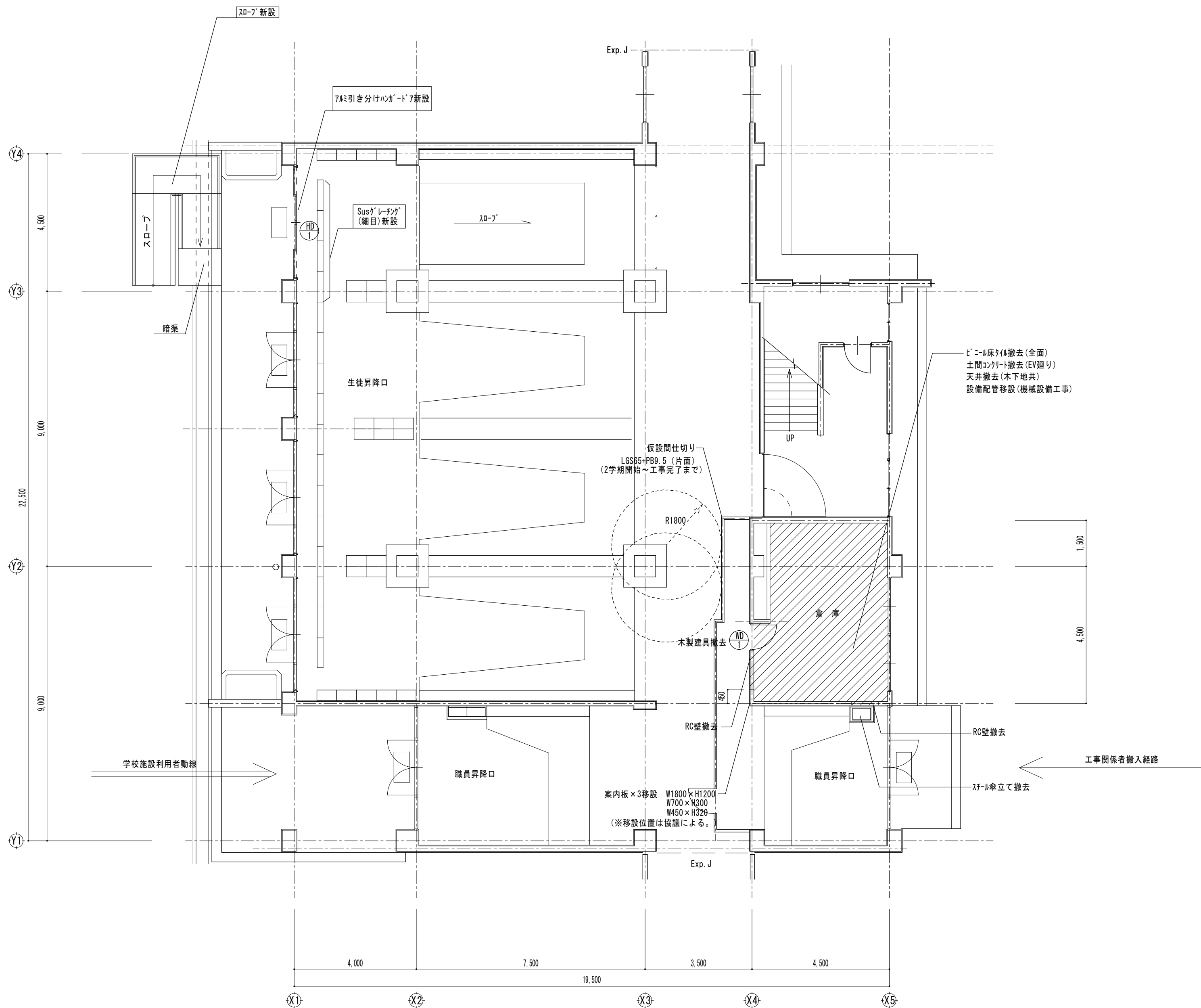
記号・数量		AW1連窓引き違い7&ミサッ(FIX付)		24	AW2連窓引き違い7&ミサッ(FIX付)		20	AW3連窓引き違い7&ミサッ		4	AW4連窓引き違い7&ミサッ		4			
窓 図																
室 名		1_4階 教室			1_4階 廊下			1_4階 廊下			1_4階 廊下					
改修内容		ガラス面に飛散防止フィルム貼り 枠廻りシーリング MS-2			ガラス面に飛散防止フィルム貼り 枠廻りシーリング MS-2			ガラス面に飛散防止フィルム貼り 枠廻りシーリング MS-2			ガラス面に飛散防止フィルム貼り 枠廻りシーリング MS-2					
記号・数量		AW5連窓引き違い7&ミサッ		4	AW6引き違い7&ミサッ		4	AW7引き違い7&ミサッ		8	AW8引き違い7&ミサッ		4	AW9引き違い7&ミサッ		1
窓 図																
室 名		1_4階 廊下			屋内階段 2_4階・PH階			1_4階 便所			1階 配膳室・2_4階 手洗場			1階 屋内階段下ポンプ室		
改修内容		ガラス面に飛散防止フィルム貼り 枠廻りシーリング MS-2			ガラス面に飛散防止フィルム貼り 枠廻りシーリング MS-2			ガラス面に飛散防止フィルム貼り 枠廻りシーリング MS-2			ガラス面に飛散防止フィルム貼り 枠廻りシーリング MS-2					
記号・数量																
窓 図																
室 名																
改修内容																
記号・数量		WP1木製教室パネーション												24		
窓 図																
室 名		1_4階 教室														
改修内容		ガラス面に飛散防止フィルム貼り 揭示板：既存パネーション撤去、下地調整の上揭示加2貼り 汁合板：下地調整R8種の上EP-G塗 巾木：下地調整R8種の上EP-G塗														
特 記																
月 日 設計番号 年 月 日 縮尺 津市立橋北中学校長寿命化改修工事 N0.																
U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 A2 1/100 A3 1/141.4 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 設計 建具表(1) 改修前後 A-40 **																
登録番号(1)第2118号 内田 貴之																



(夏休み期間、生徒昇降口を立入制限する為、下足入れ(50足分)を一時的に設置し、対応すること。また設置位置に対しては、協議によるものとする。)
(EV新設に伴い、生徒昇降口及び廊下を杭打機が自走する際は床養生を行うこと。)

 改修範囲を示す

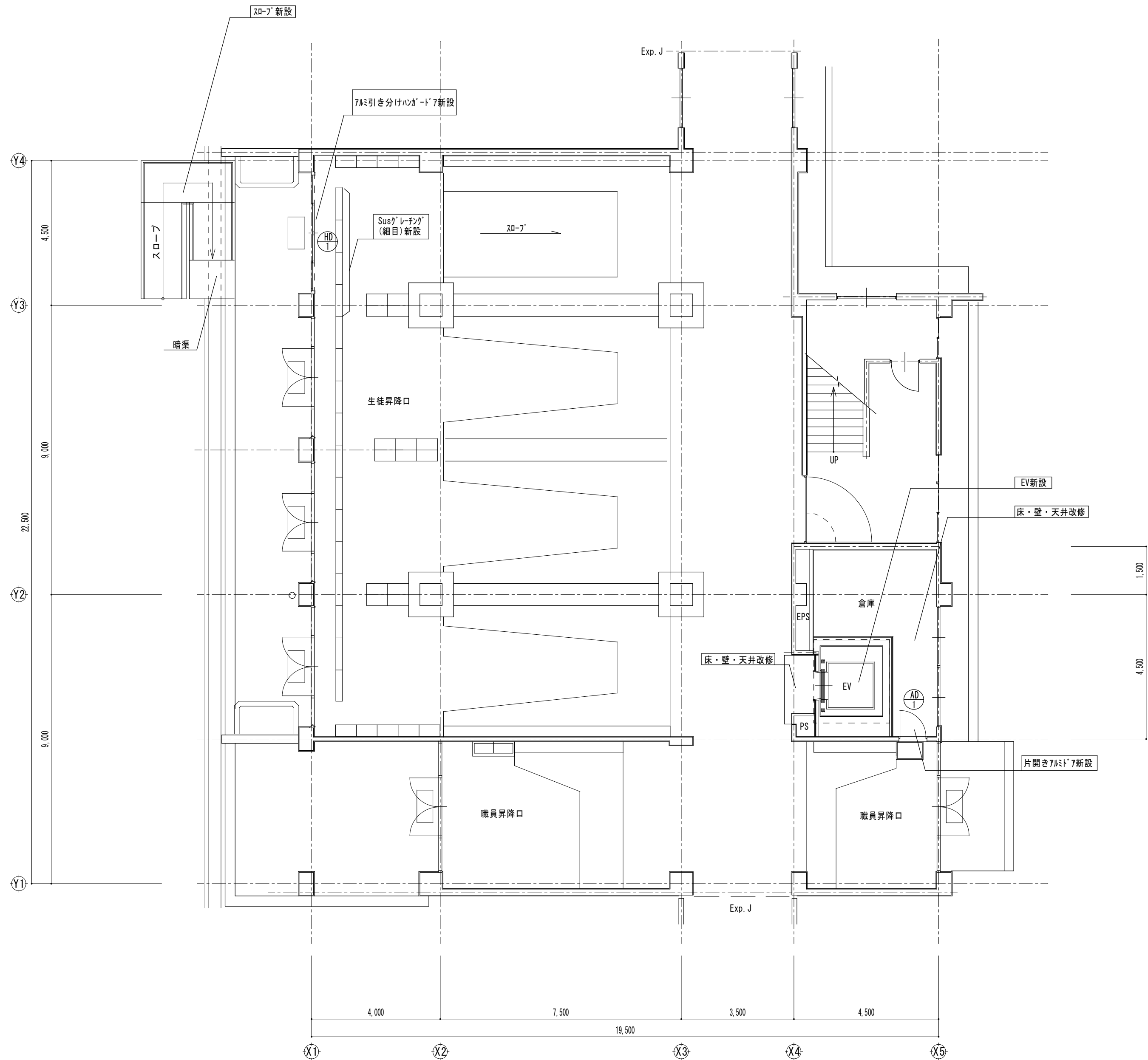
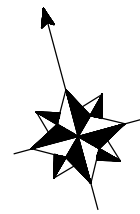
特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺 A2 1/100 A3 1/141.4	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0. A-42 ** 1階平面図兼仮設計画図（1） 改修前～夏休み期間 原図：A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号（1）第2118号	内 田 貴 之					



 改修範囲を示す

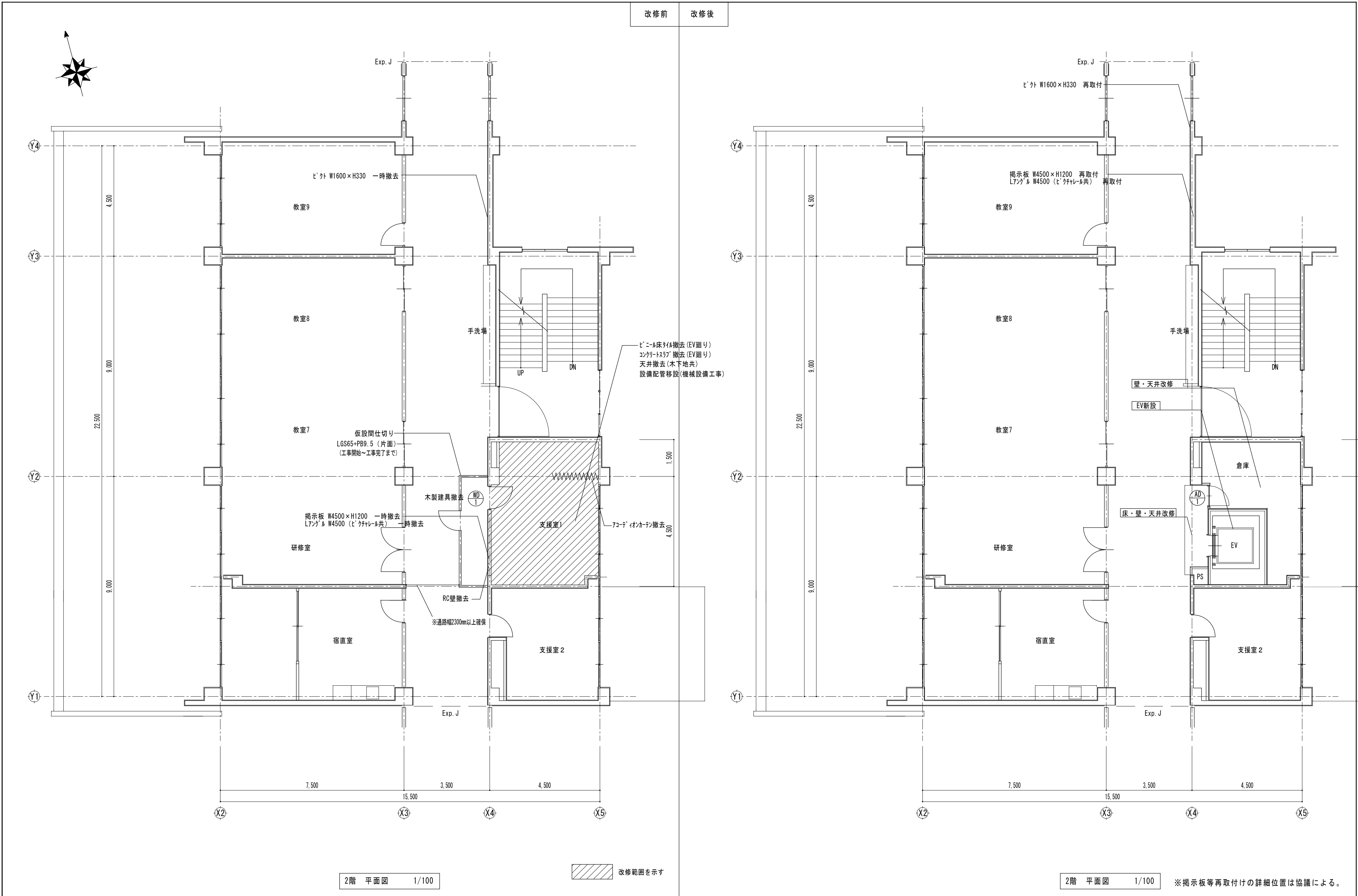
1階 平面図 1/100

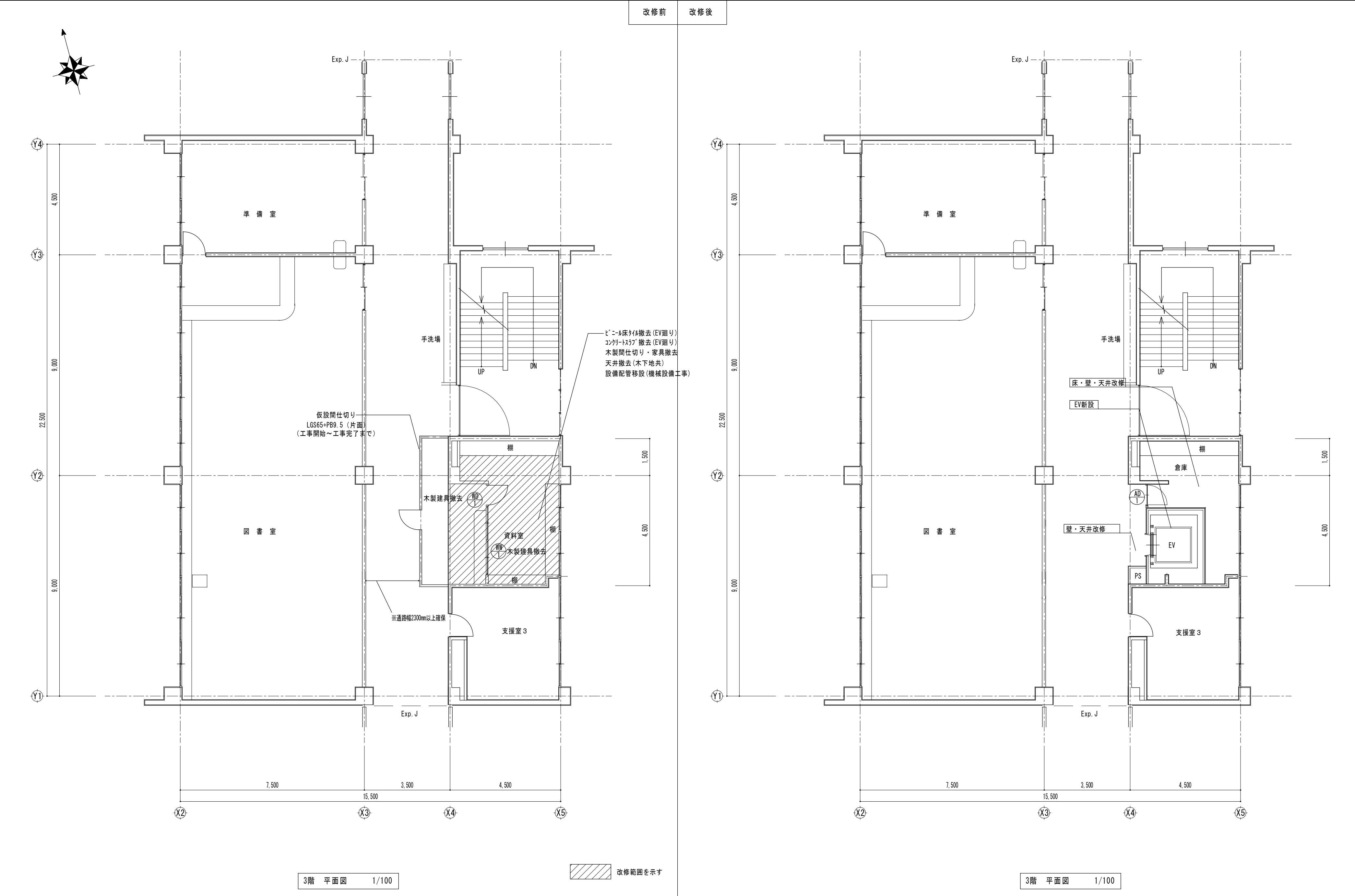
特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津 市 立 橋 北 中 学 校 長 寿 命 化 改 修 工 事	N0.
			三 重 県 津 市 白 塚 町 5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計	A2 1/100 A3 1/141.4	1階平面図兼仮設計画図（2） 二学期以降	A-43 ** 原図:A2	
			登録番号（1）第2118号	内 田 貴 之					

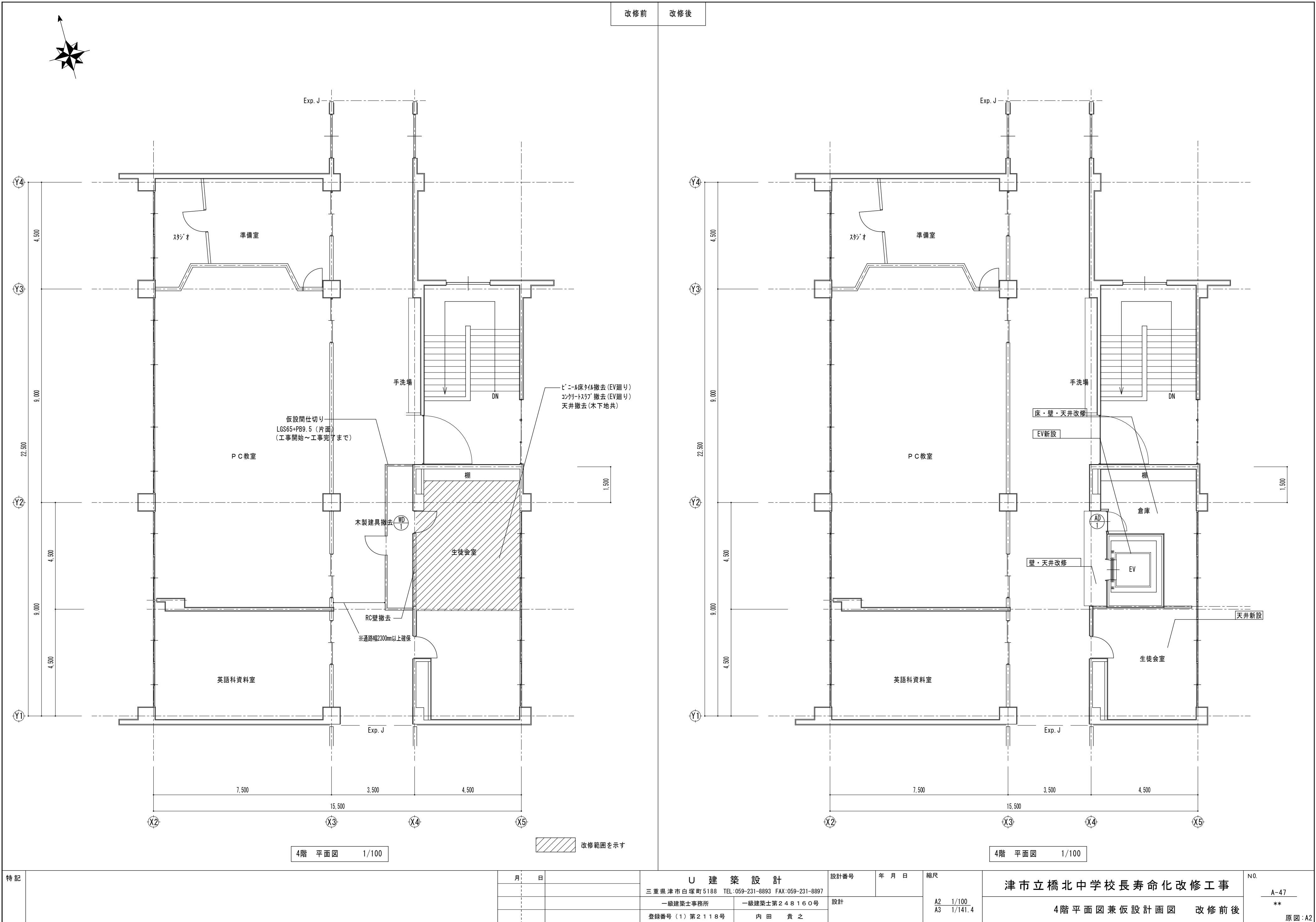


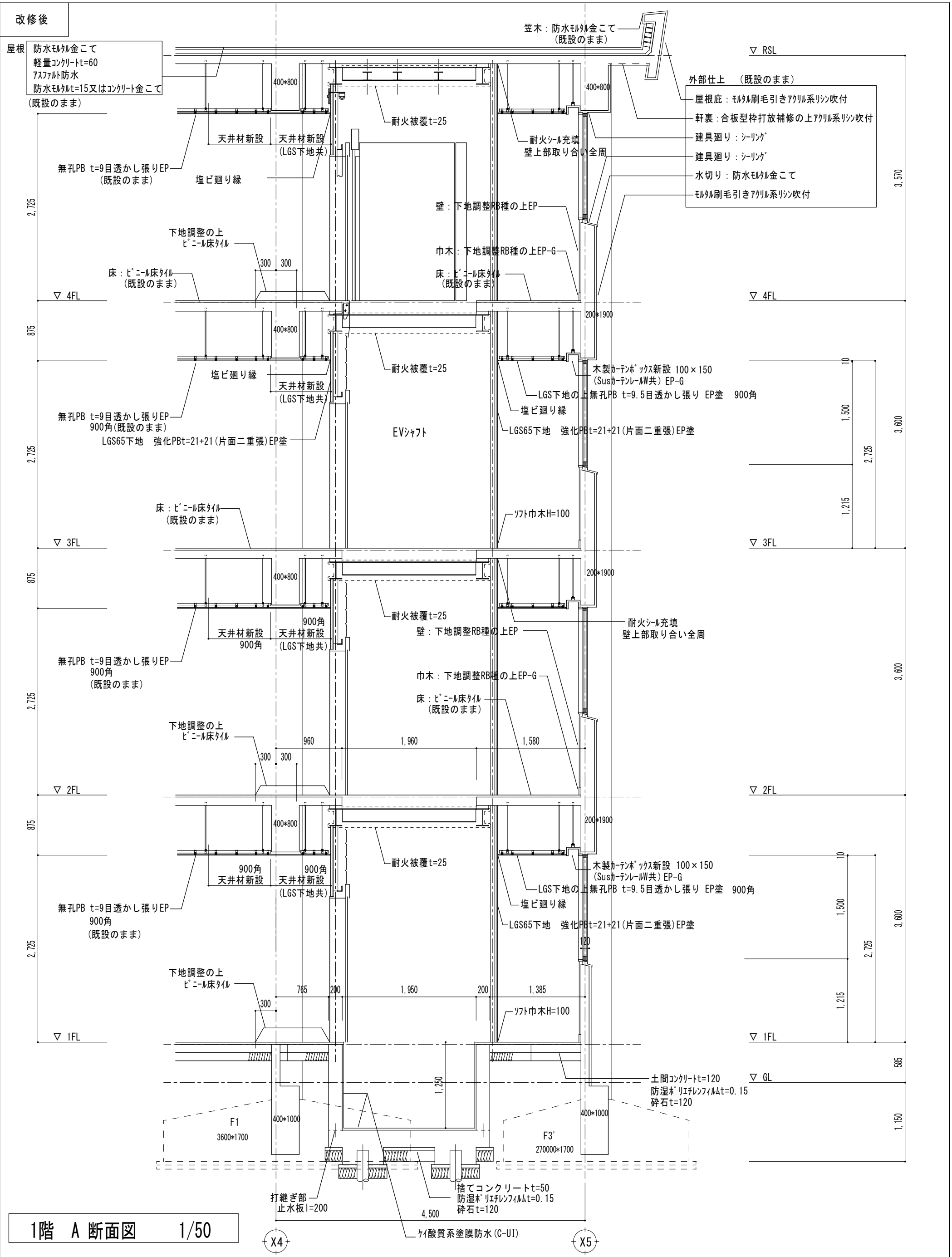
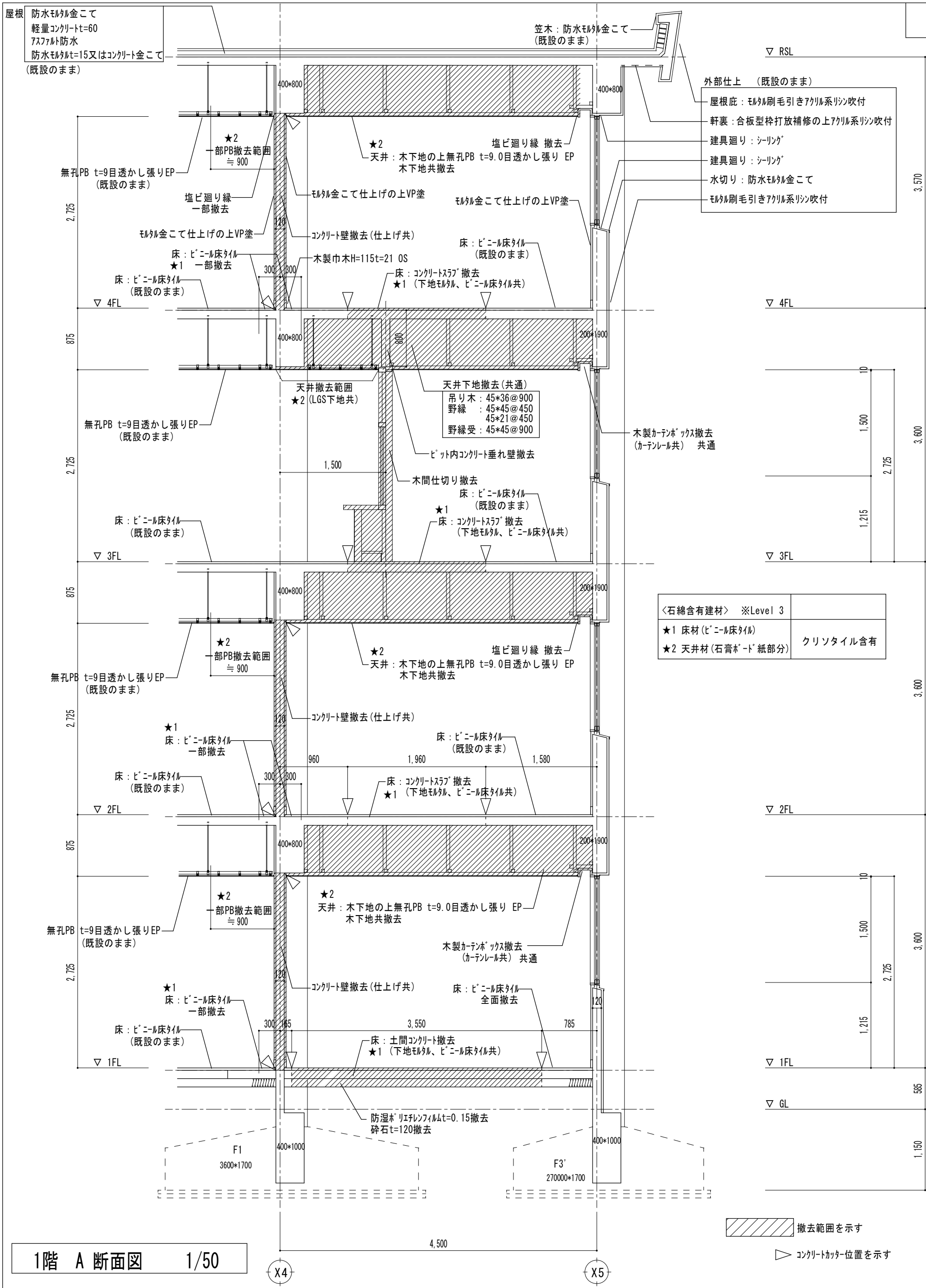
1階 平面図 1/100

特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺 A2 1/100 A3 1/141.4	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0. A-44 ** 原図：A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号（1）第2118号	内 田 貴 之					
1階平面図 改修後									

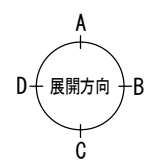
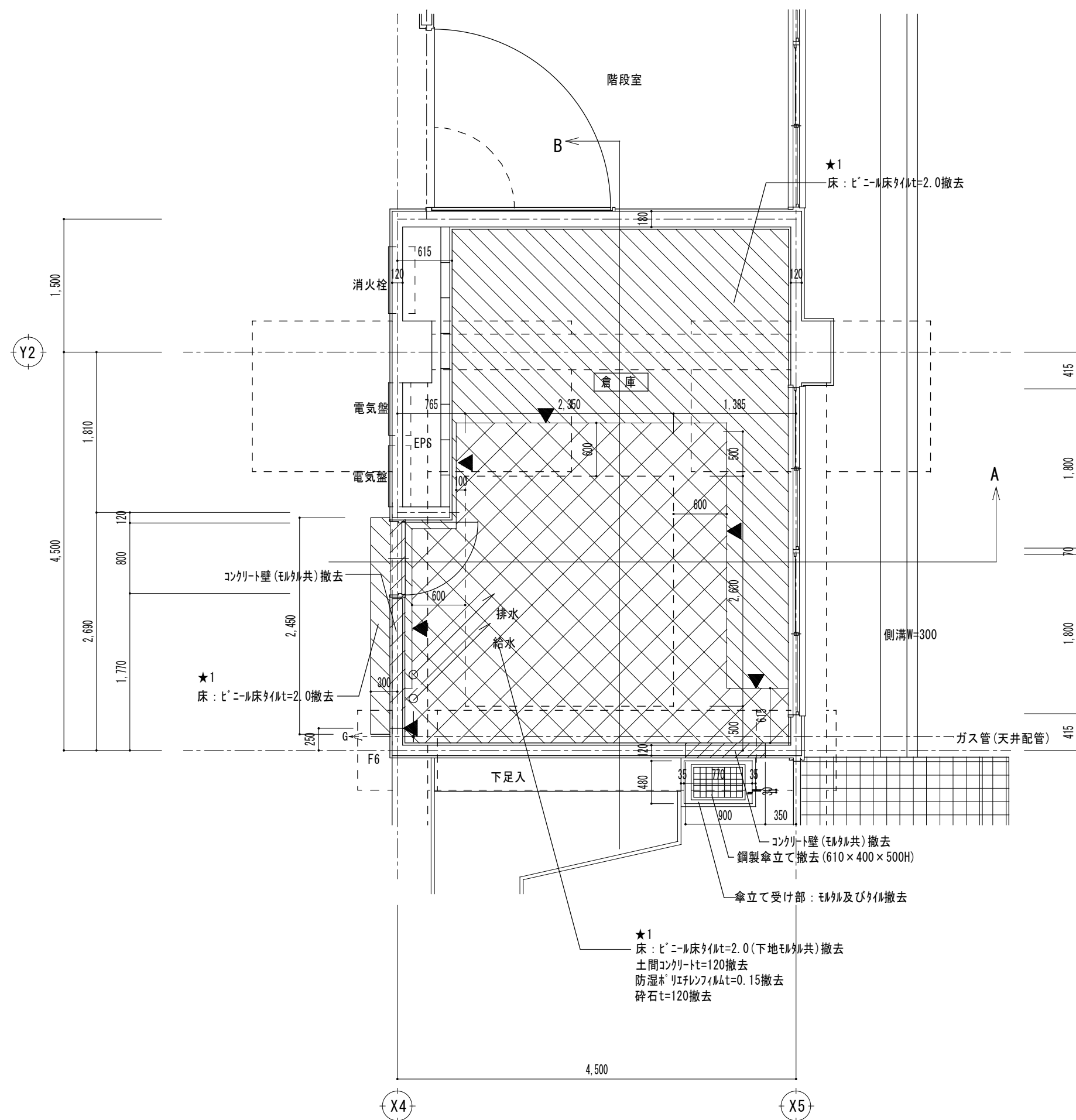








特記	月		日	U 建築設計		設計番号	年	月	日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 エレベーター廻り 断面詳細図 改修前後	N.O. A-48 ** 原図: A2
				三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897								
				一級建築士事務所 一級建築士第248160号		設計						
				登録番号(1)第2118号 内田 貴之								



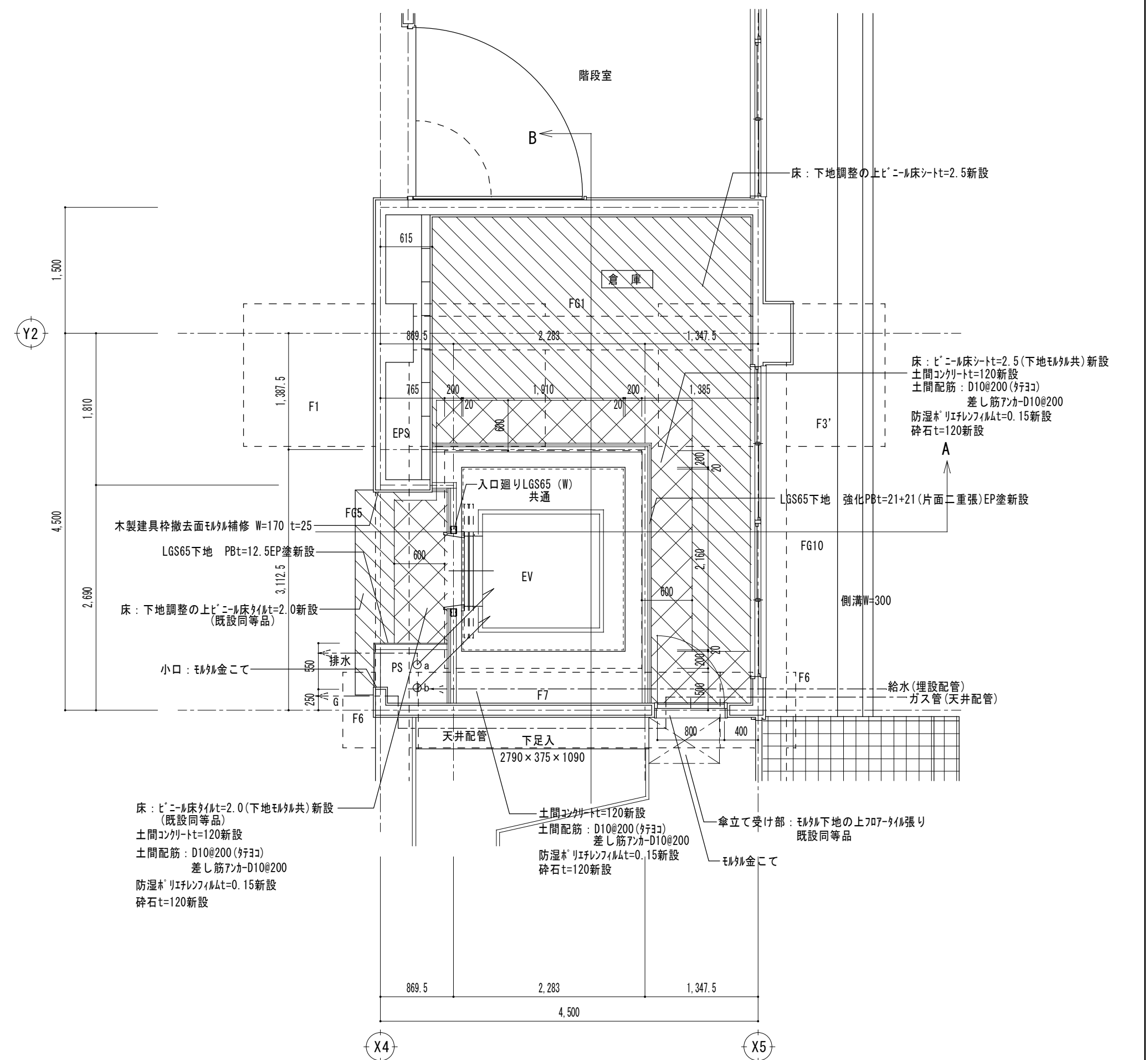
〈石綿含有建材〉 ※Level 3	
★1 床材 (ビニル床タイル)	クリソタイル含有
★2 天井材 (石膏ボード [※] 紙部分)	

▲ カッター入れを示す

 土間コン、仕上げ(モルタル下地共)撤去範囲を示す

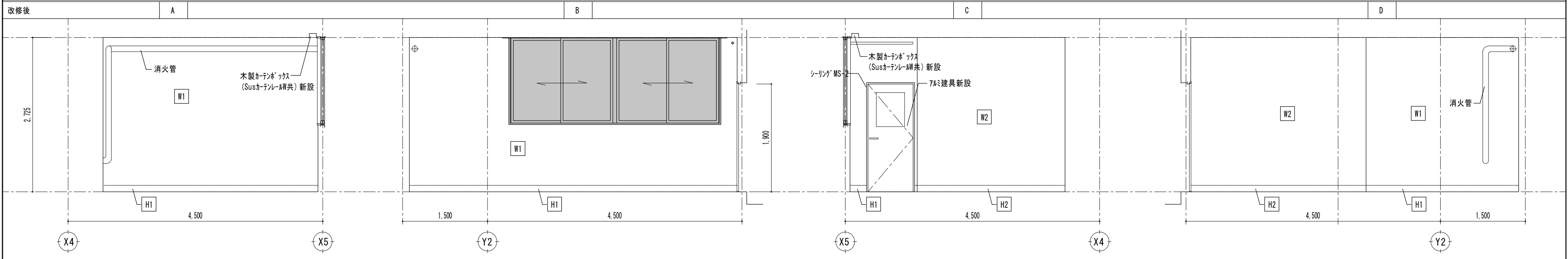
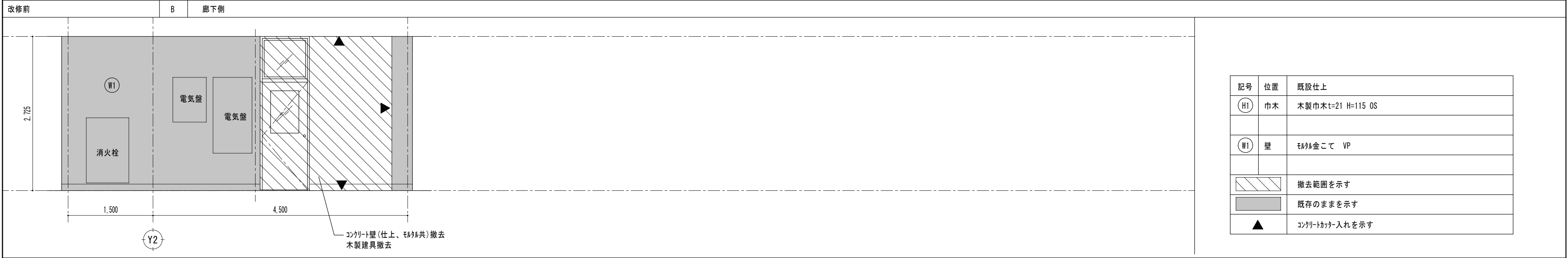
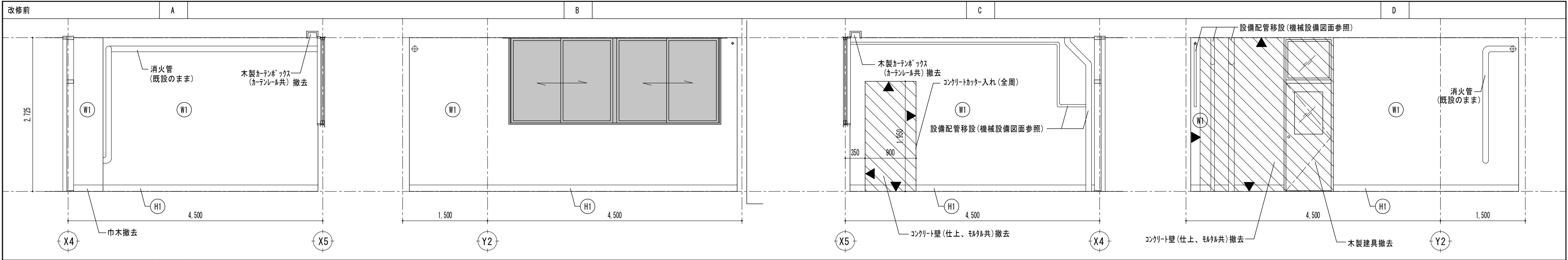
 床仕上げ撤去範囲を示す

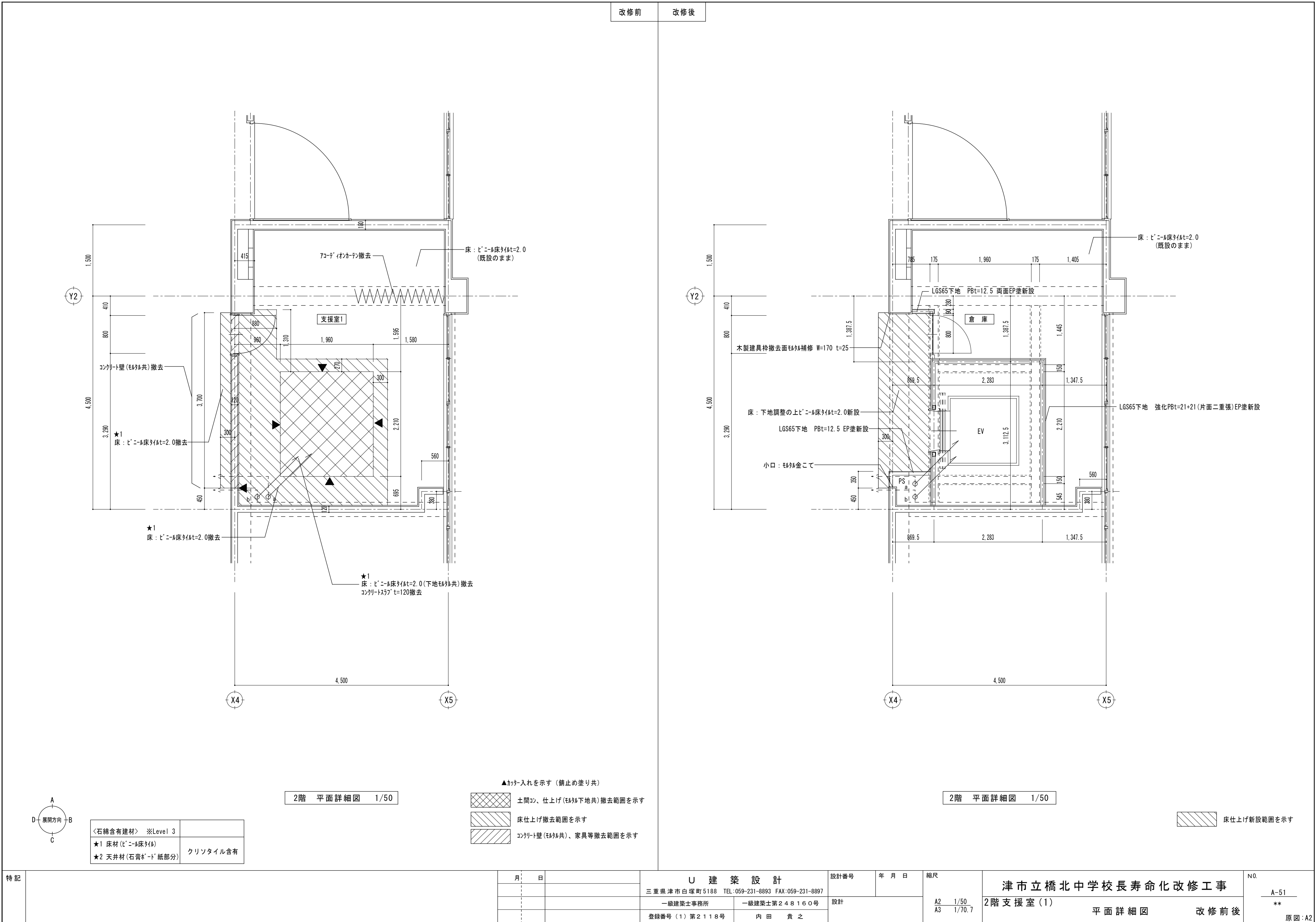
 コンクリート壁(モルタル共)、家具等撤去範囲を示す

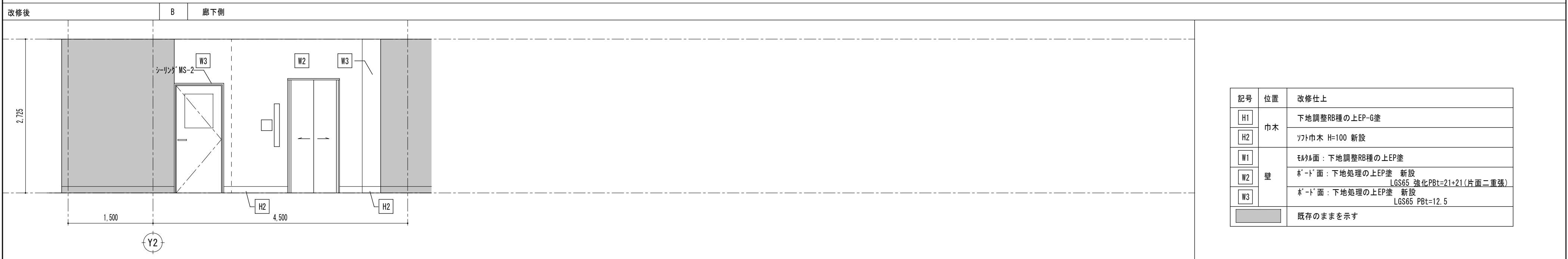
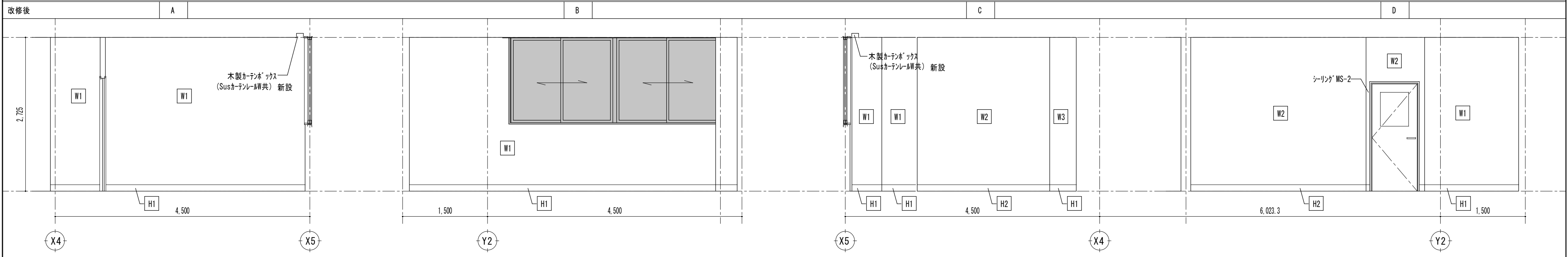
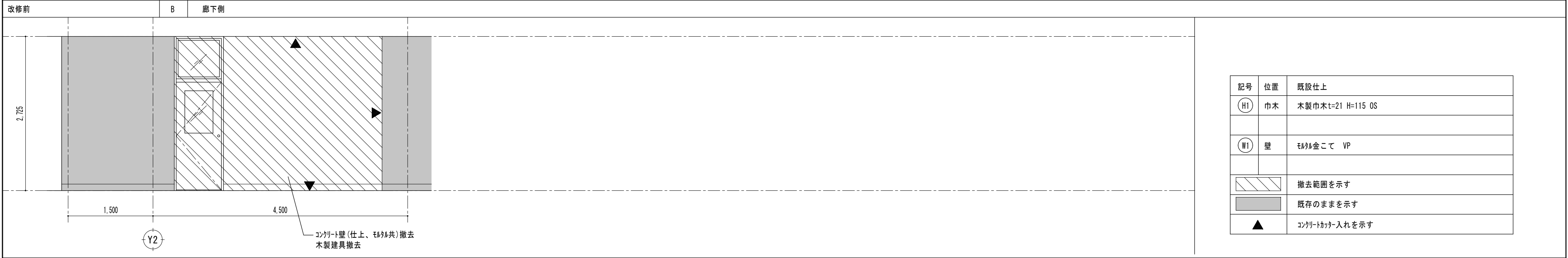
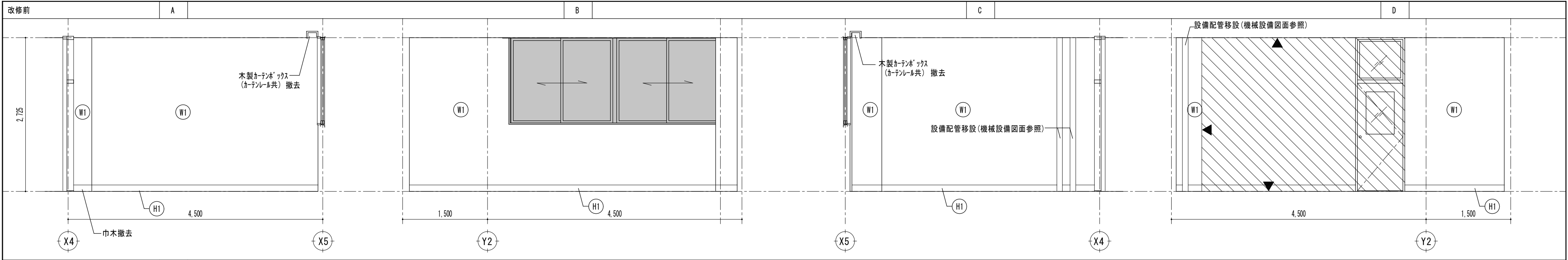


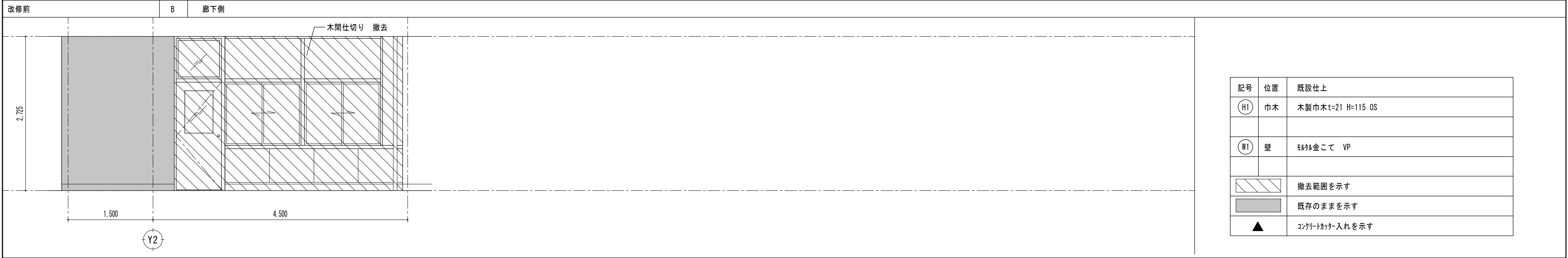
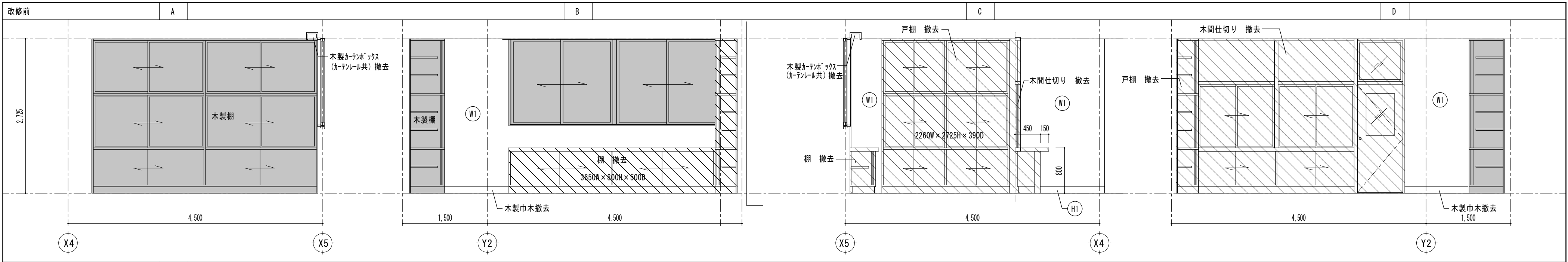
 土間コン、仕上げ(モルタル下地共)新設範囲を示す

 床仕上げ新設範囲を示す

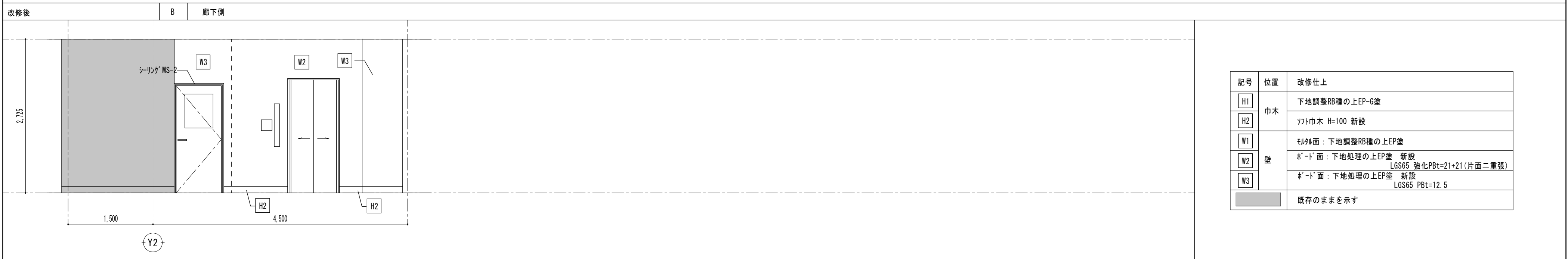
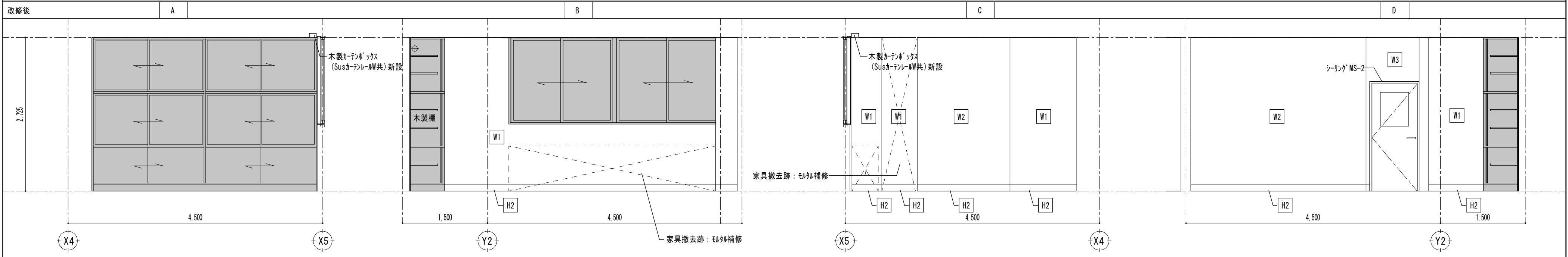






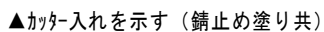


記号	位置	既設仕上
ⓗ1	巾木	木製巾木t=21 H=115 OS
Ⓦ1	壁	モルタル金こて VP
		撤去範囲を示す
		既存のまますを示す
		コンクリートカッター入れを示す



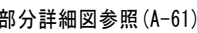
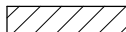
記号	位置	改修仕上
ⓗ1	巾木	下地調整RB種の上EP-G塗
ⓗ2	巾木	ツツ巾木 H=100 新設
Ⓦ1	壁	モルタル面：下地調整RB種の上EP塗
Ⓦ2	壁	ボード面：下地処理の上EP塗 新設 LGS65 強化PBt=21+21(片面二重張)
Ⓦ3	壁	ボード面：下地処理の上EP塗 新設 LGS65 PBt=12.5
		既存のまますを示す

改修後

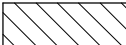


クリソタイル含有

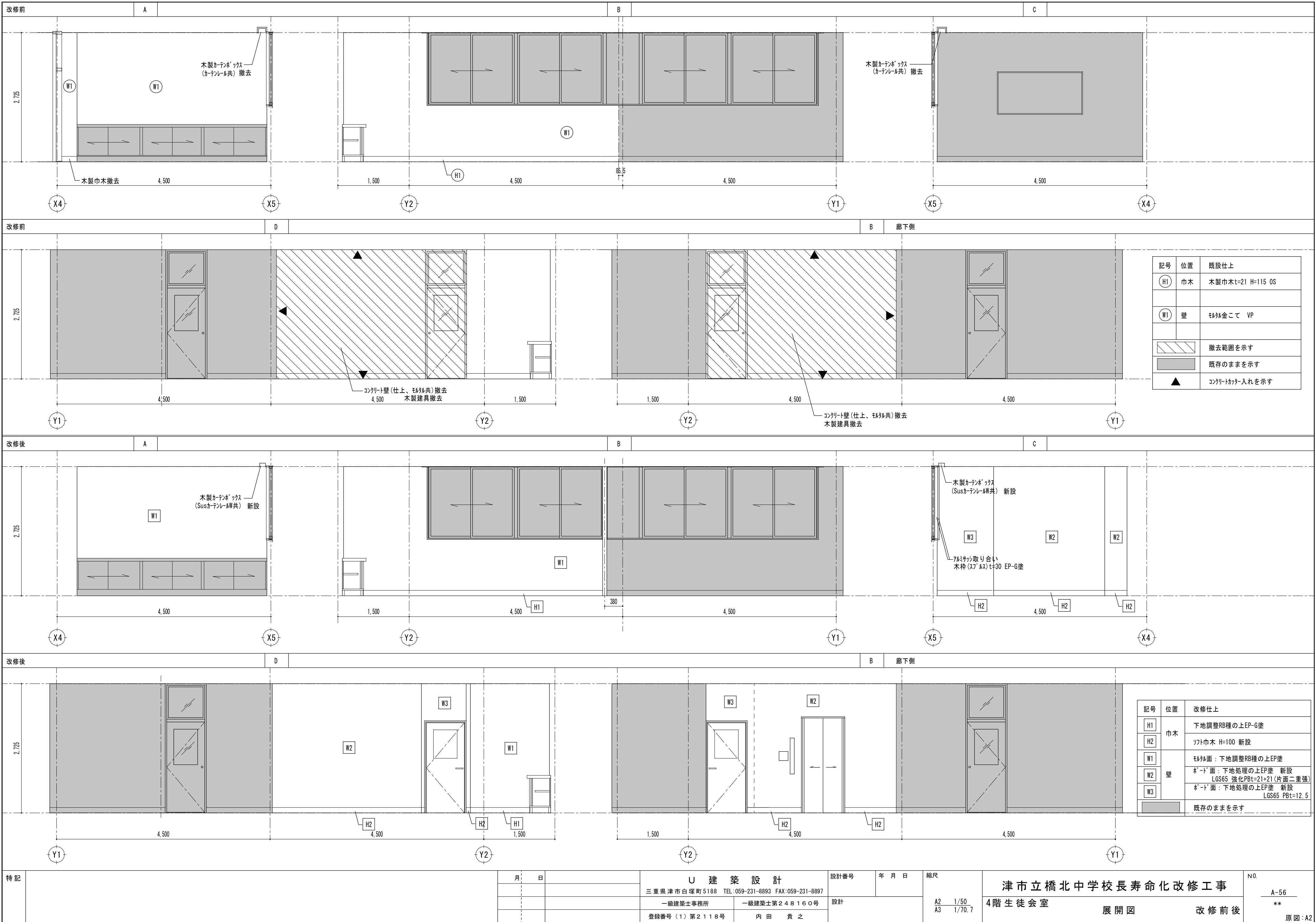
4階 平面詳細図

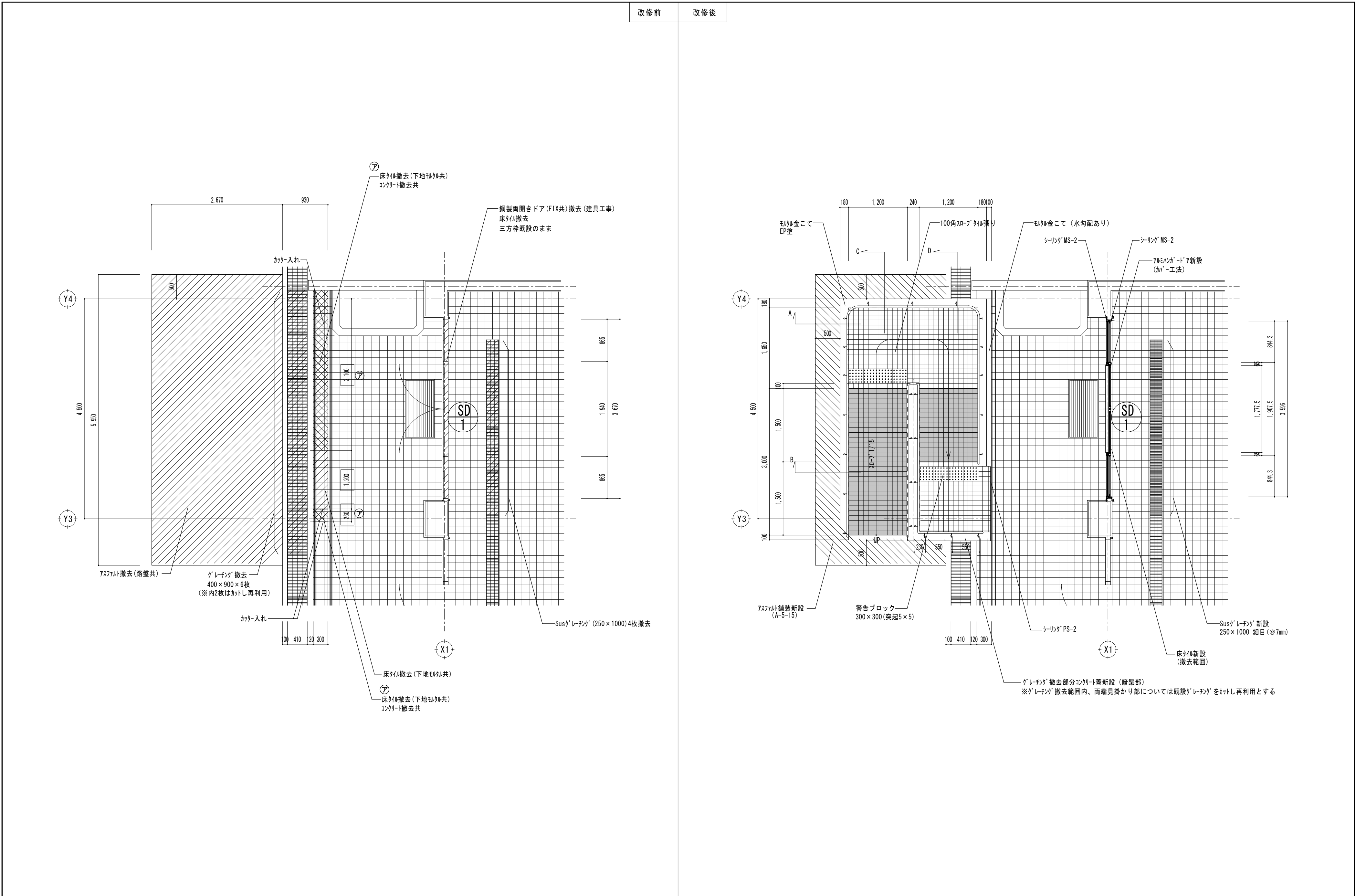


4階 平面詳細図

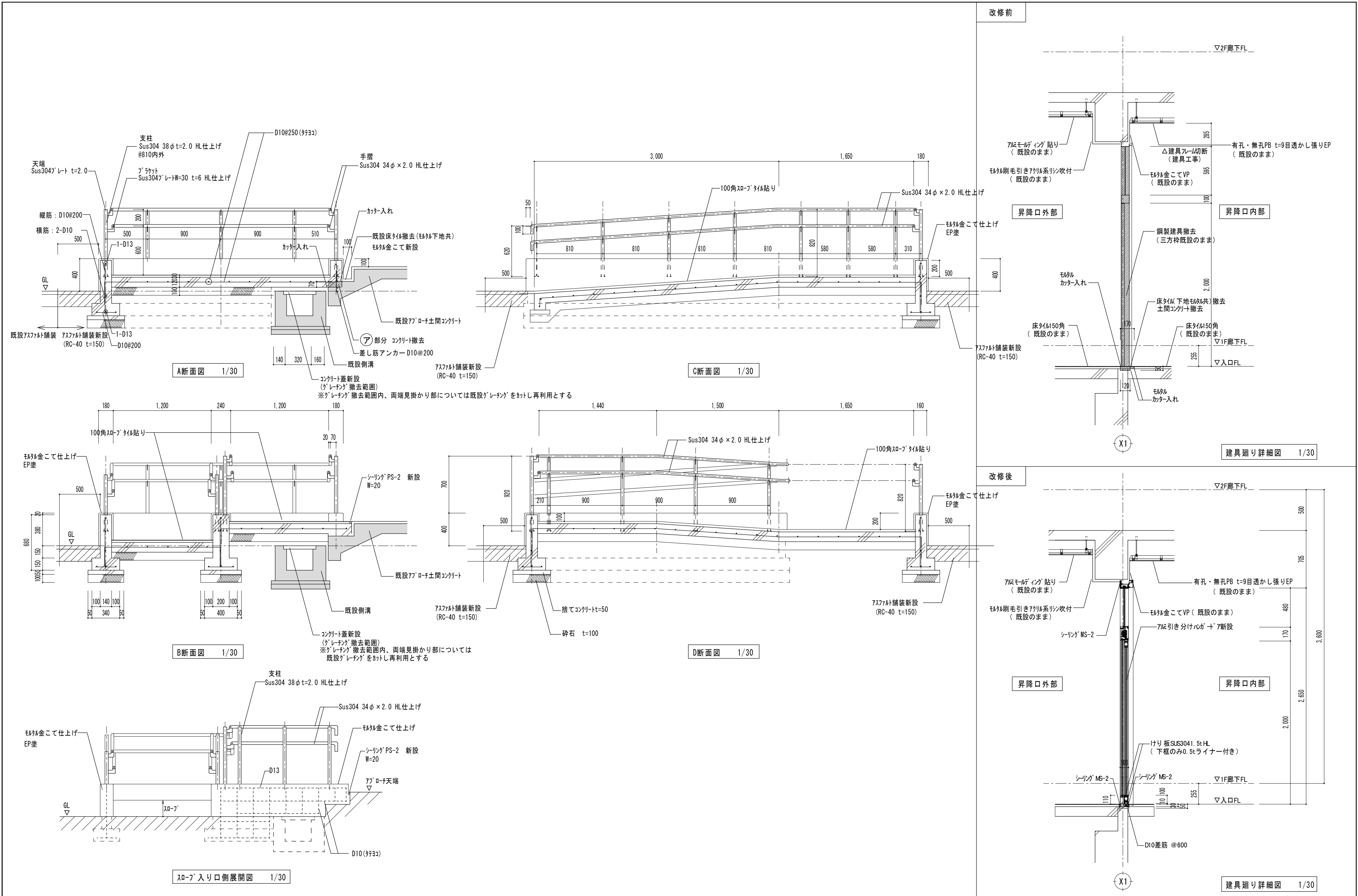


原图：A2





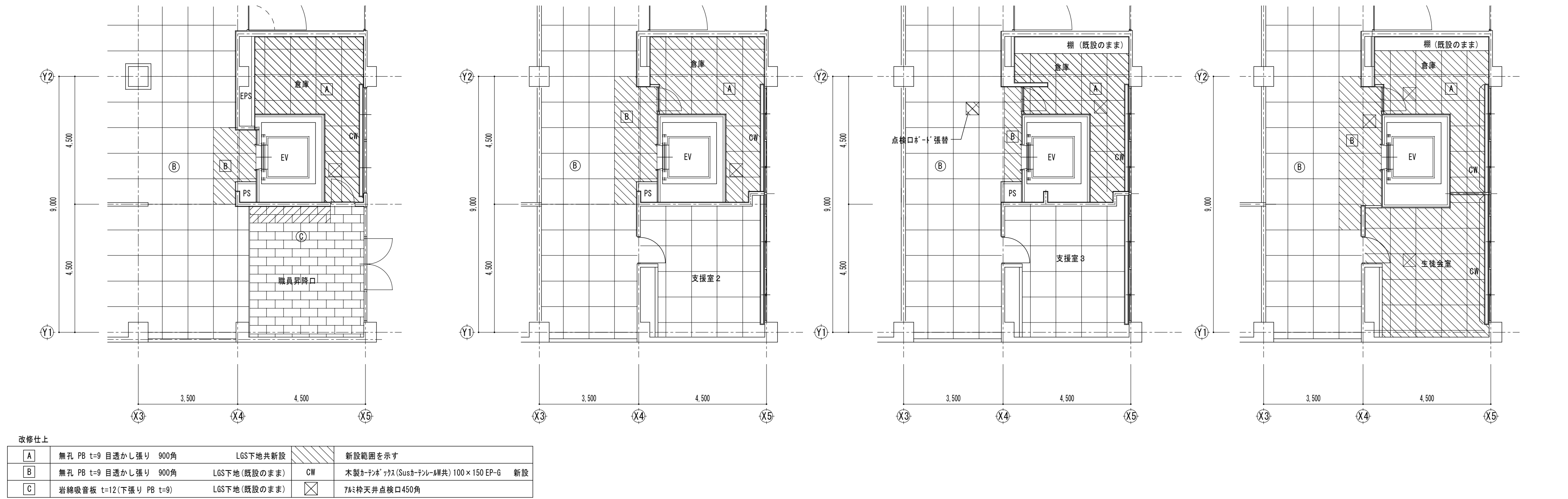
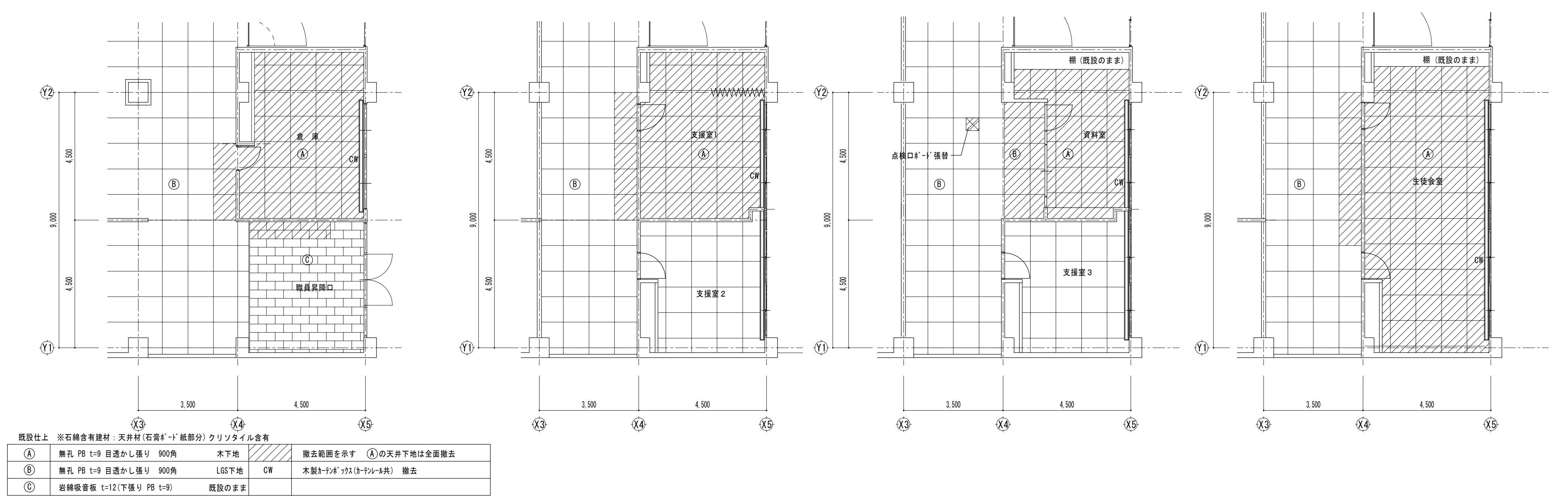
特記		月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0.
				三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
				一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	1 階昇降口廻り詳細図(1)	



特記		月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺 1/30 A2 1/50 A3 1/42.4 1/70.7	津市立橋北中学校長寿命化改修工事		N0.
				三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						A-58	
				一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計			1 階 昇 降 口 廻 り 詳 細 図 (2)	**	
				登録番号 (1) 第 2 1 1 8 号	内 田 貴 之				改 修 前 後	原 図 : A2	

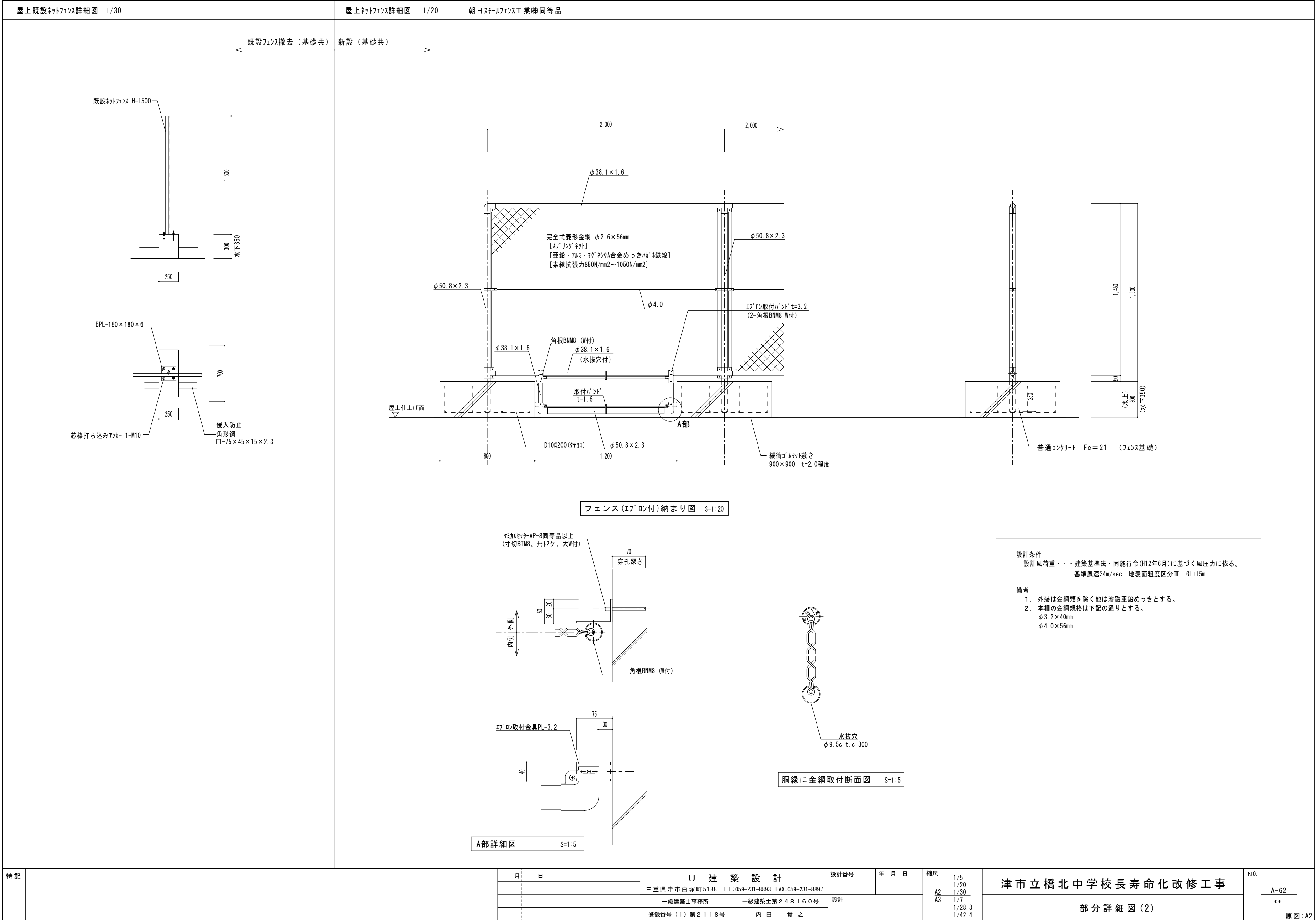
1/30
1/50
1/42.4
1/70.7

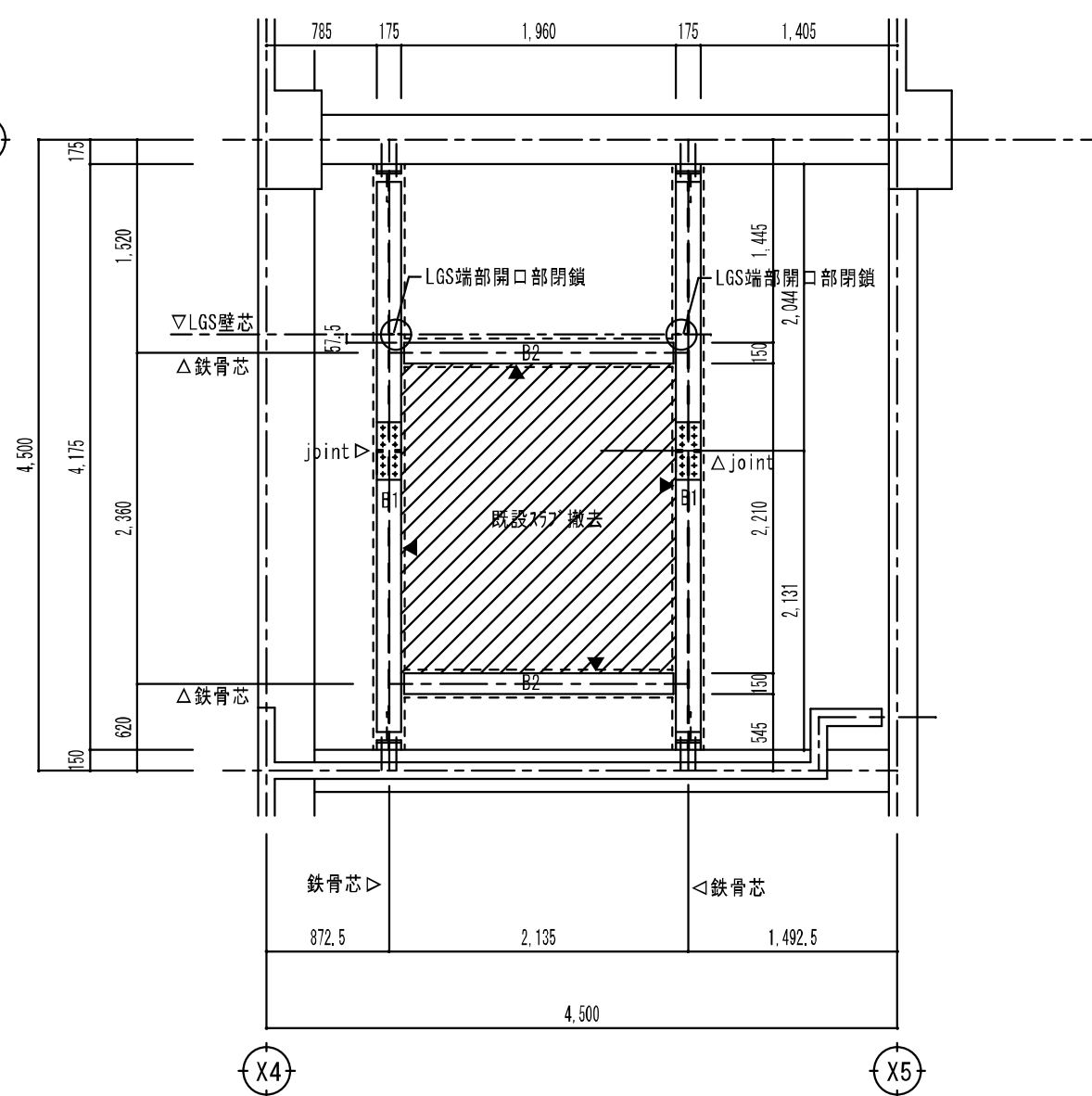
A-58
**
原図: A2



記号・数量		SD 1 撤去（三方枠は既設のまま）	1	WD 1 撤去	4	WW 1 撤去	1				
形状 (改修前)	△フレーム切断 ▽フレーム切断 フレーム切断▷				800 650 800 715 1,900 2,675		1,890 2,755				
位置	昇降口			1階倉庫・2階支援室1・3階資料室・4階生徒会室		3階資料室					
形式	袖・ラマ付 両開きスライド7			片開き木製ファッショ戸(額付) 上部外倒し木製窓		木製引き違い窓 上部FIX付					
見込	100			36		36					
材質・仕上	OP			木製		木製					
ガラス	網入りガラス t=6.8 透明ガラス t=5			透明 t=3 スリ t=3		透明 t=3					
金物	フック・本締リング・錠、フラス落とし、SUS押棒、ケリ板(SUS)H=150			丁番、ドフック リング・錠		クレセント、戸車、引手、レール					
	その他必要金物一式			その他必要金物一式		その他必要金物一式					
備考											
記号・数量	HD 1 新設	1	AD 1 新設	4					2		
形状 (改修後)	強化ガラスt=5 強化ガラスt=5 強化ガラスt=5 強化ガラスt=5 強化ガラスt=5 強化ガラスt=5 844.3 65 1,777.5 65 844.3 3,596 2,000 170 480 2,650				800 650 800 1,900		1F：RC 壁厚t=170 2_4F:LGS+PB 壁厚t=90				
位置	昇降口			1_3階倉庫 4階生徒会室内倉庫							
形式	引き分けハンガードア(加付工法)			片開き7ミリファッショ戸(額付) 7ミリ額縁付							
見込	100			70							
材質・仕上	アルマイト ケリ板SUS H=150			アルマイト							
ガラス	透明強化ガラス t=4			強化型板ガラス t=4							
金物	ハンガー戸車、ストレートハンドル、POSTE錠、フロントゴム			丁番、ドフック リング・錠、下枠SUS t=2.0							
	傾斜レール、油圧制御装置、その他必要金物一式			その他必要金物一式							
備考											
特記				月 日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之		設計番号	年 月 日	縮尺 A2 1/50 A3 1/70.7	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 建具表 改修前後	N0. A-60 ** 原図：A2

屋上ハト小屋閉鎖処理詳細図 1/30																							
蓋 亜鉛引き鉄板t=0.5加工 撤去 石綿セメント 47' 125φ 既設のまま 22φボルト 耐熱塗装 撤去 RL-2.3加工 耐熱塗装 撤去 シーリング 撤去 防水モルタル金こて 既設のまま ▽ボルト切断位置 モルタル刷毛アクリル系リシン吹付 1.050 笠木：防水モルタル金こて 175 485 1,800 ▽RSL 改修前 改修後 新設 鋼板 t=5 DP塗 新設 ボルト M16 金属フタ-M16 鋼管21.7φ L=100 DP塗 960 60 420 420 60 1,800 水洗い、下地調整の上複層仕上塗材E 笠木：高圧水洗浄、ウレタンシーリング充填(クラック部) エポキシ系プライマセメント / ロ引き ウレタン塗膜防水密着工法(X-2) 1000/100 175 485 200 シーリング PS-2 ボルト切断周囲モルタル補修 ボルト切断部分錆止め 275 420 420 195 Y1 X9																							
4階生徒会室間仕切り 7mm建具取合い詳細図 1/20						普通教室棟 渡り廊下 建具廻り詳細図 1/20 4ヶ所																	
木枠 (ｽﾌﾟﾗｽ) EP-G塗 LGS65下地 PB t=12.5 EP PB t=12.5 EP 7mm額縁にビス止め固定 (上下) 7mmサッシ方立 7mm額縁 LGS65下地 LGS下地にビス止め ㊟300 60 70 3060 70 1000/100 60 70 Y5						三方枠7mmハットt=2.0 (建具工事) 外部側 下枠Sust=2.0 ビス止め (建具工事) 三方シーリング MS-2 有効開口 959.5 1,790 60 60 2,500 廊下側 モルタル補修の上 シーリング MS-2 Y3 Y2 外部側 厚撤去 (建具工事) 三方木枠撤去 (建築工事) カッター入れ (四方) ビニール床タイル下地モルタル撤去 (FL-5075) ※石綿含有建材：床材 (ビニール部分) クリソライト含有 1,925 2,500 廊下側 Y3 Y2						シーリング MS-2 シーリング MS-2 ▽既設建具天端 7mmハットt=2.0 (カシ近似色) (建具工事) 180 20 200 1,970 2,000 廊下側 外部側 けり板SUS304 1.5t HL シーリング MS-2 ▽廊下F.L. 埋込み代 Sus t=2.0t ビス止め (建具工事) 既設下枠 Y1											
特記						月		日		U 建築設計		設計番号	年 月 日		縮尺		津市立橋北中学校長寿命化改修工事		N.O.				
										三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897								A2 1/20		部分詳細図 (1)		A-61	
										一級建築士事務所 一級建築士第248160号		設計				A3 1/28.3		**					
										登録番号 (1) 第2118号 内田 貴之						1/42.4							
						原図: A2																	

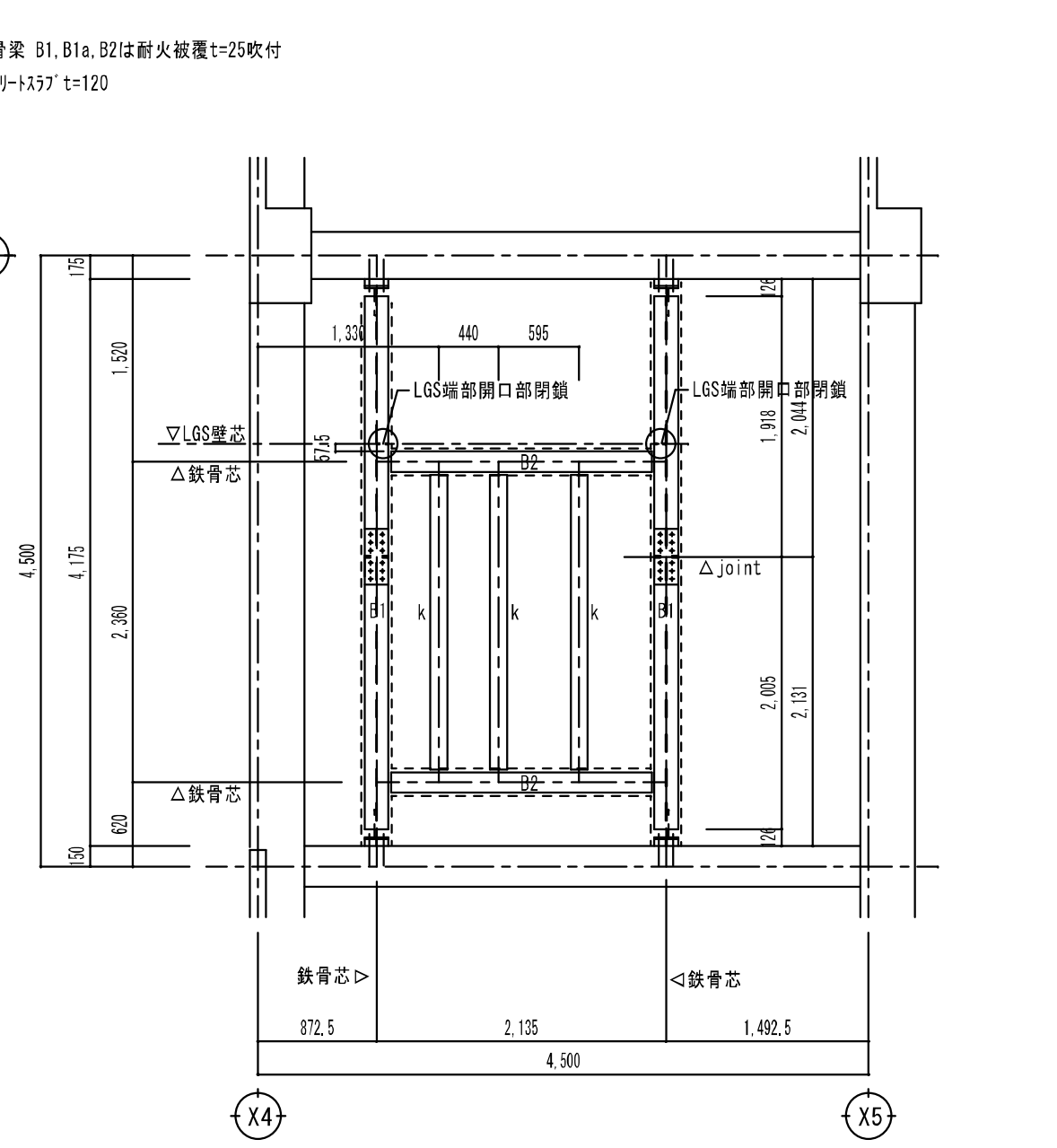




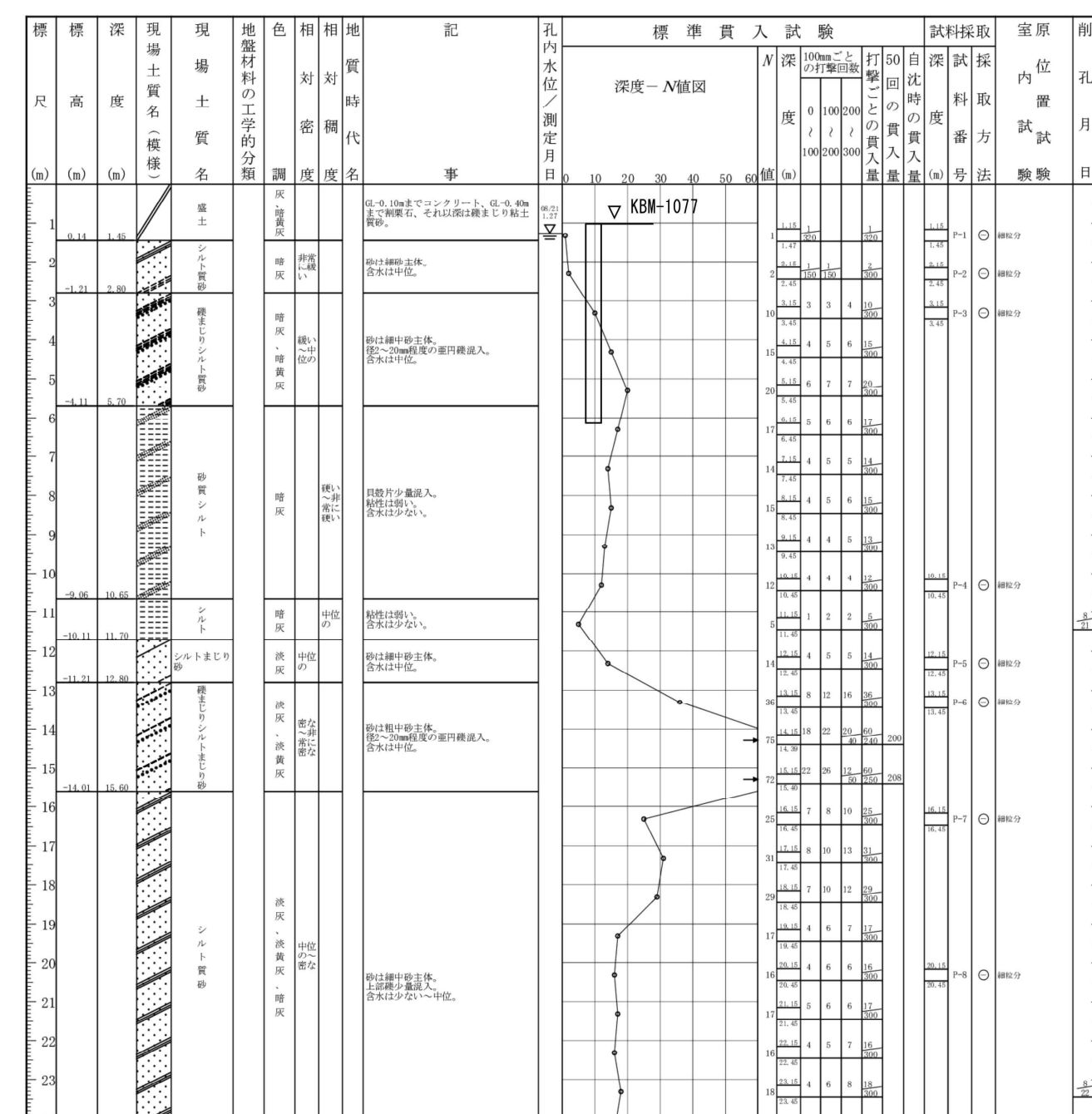
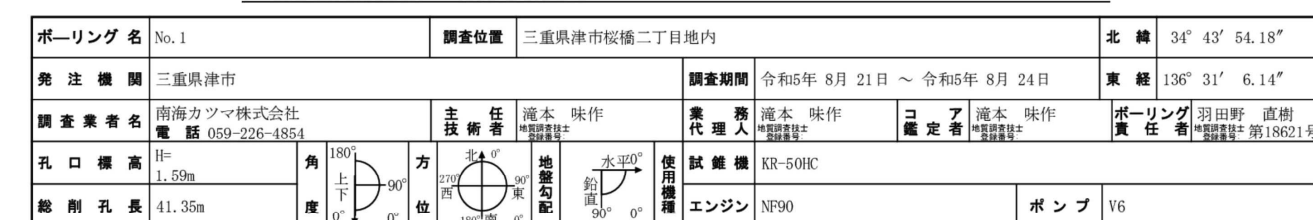
2、4階昇降路伏図 1/50

▲ コンクリートカッター入れを示す

※ 鉄骨梁 B1, B1a, B2は耐火被覆 $t=25$ 吹付
※ コンクリートスラブ $t=120$

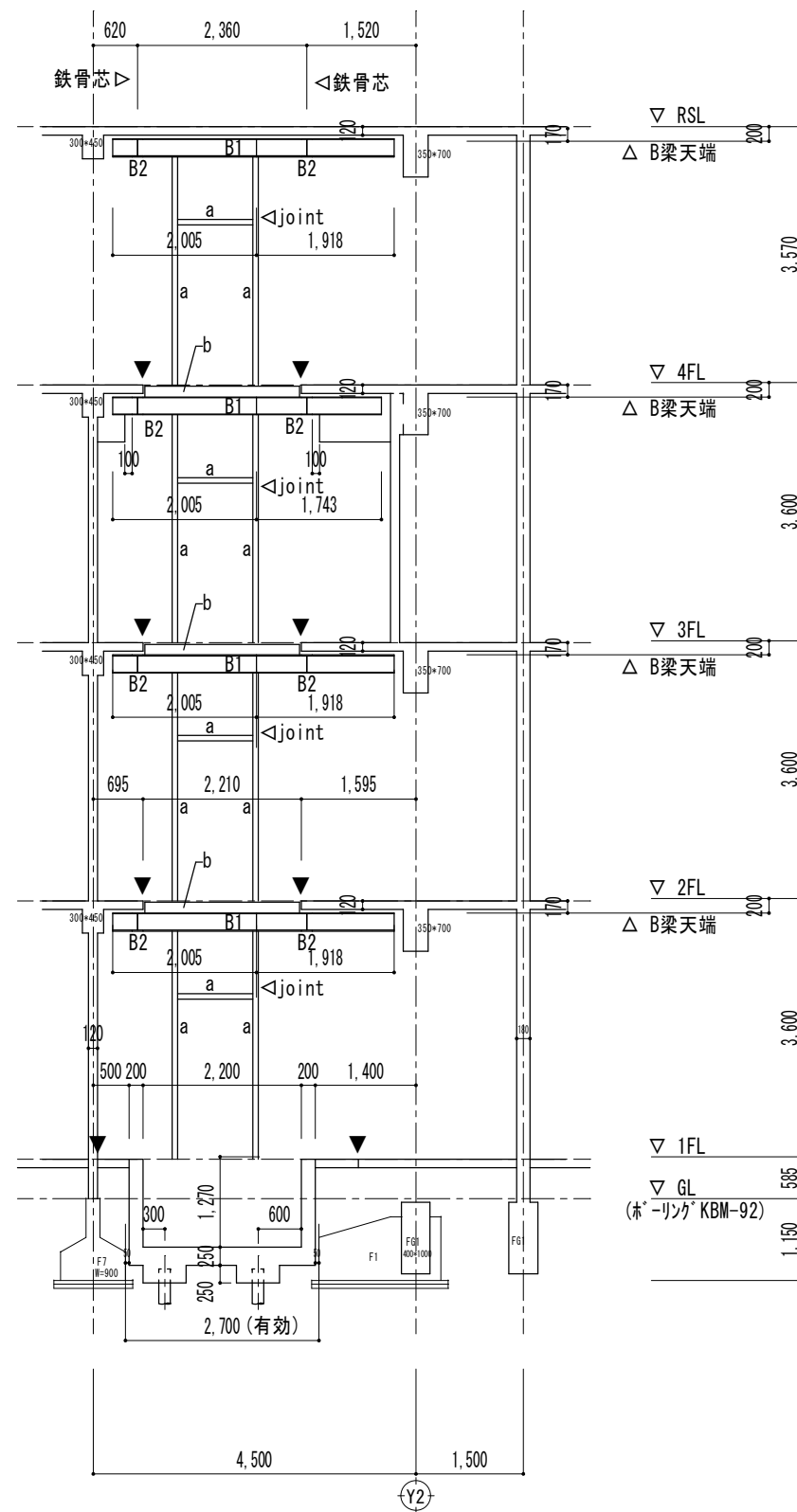
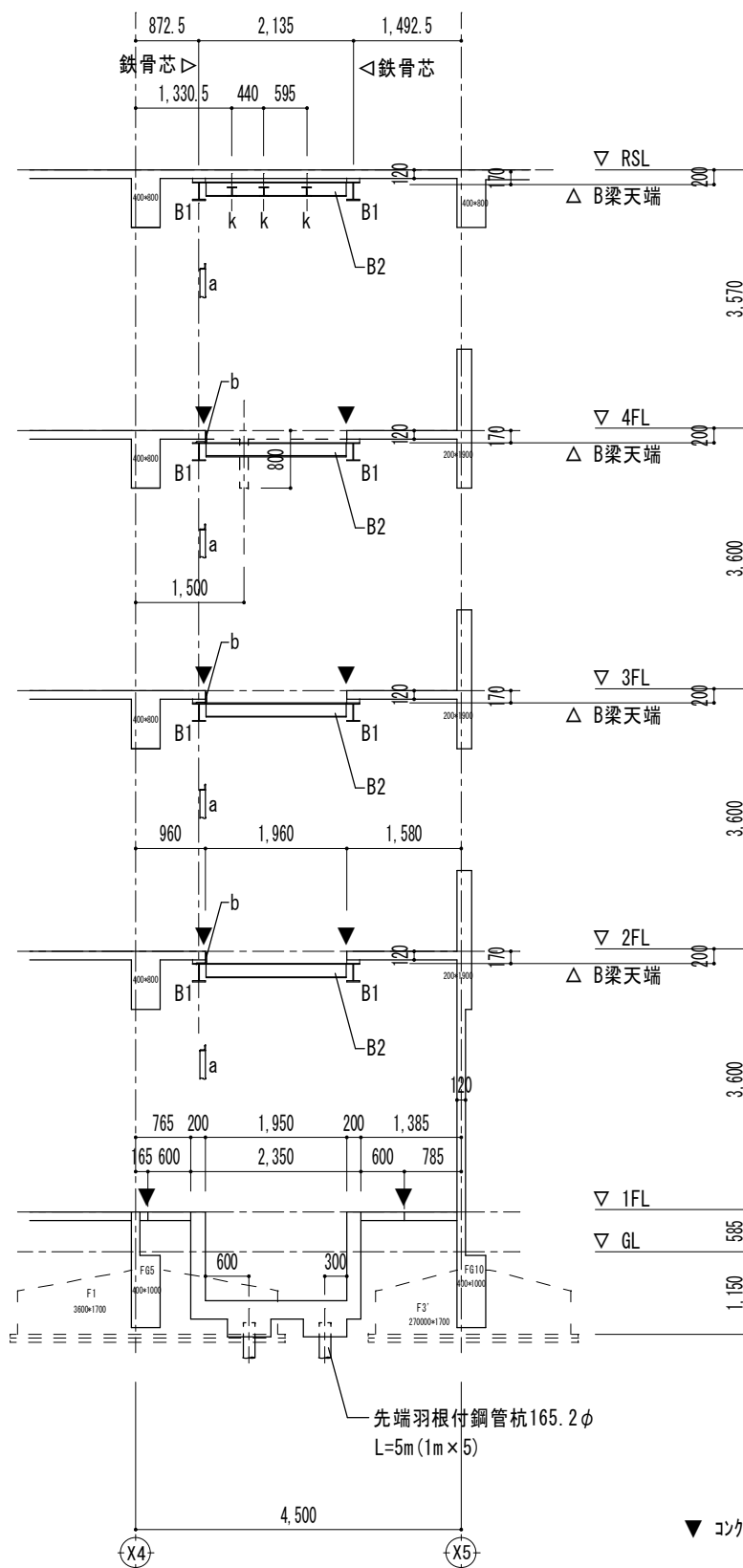


R階昇降路伏図	1/50
---------	------



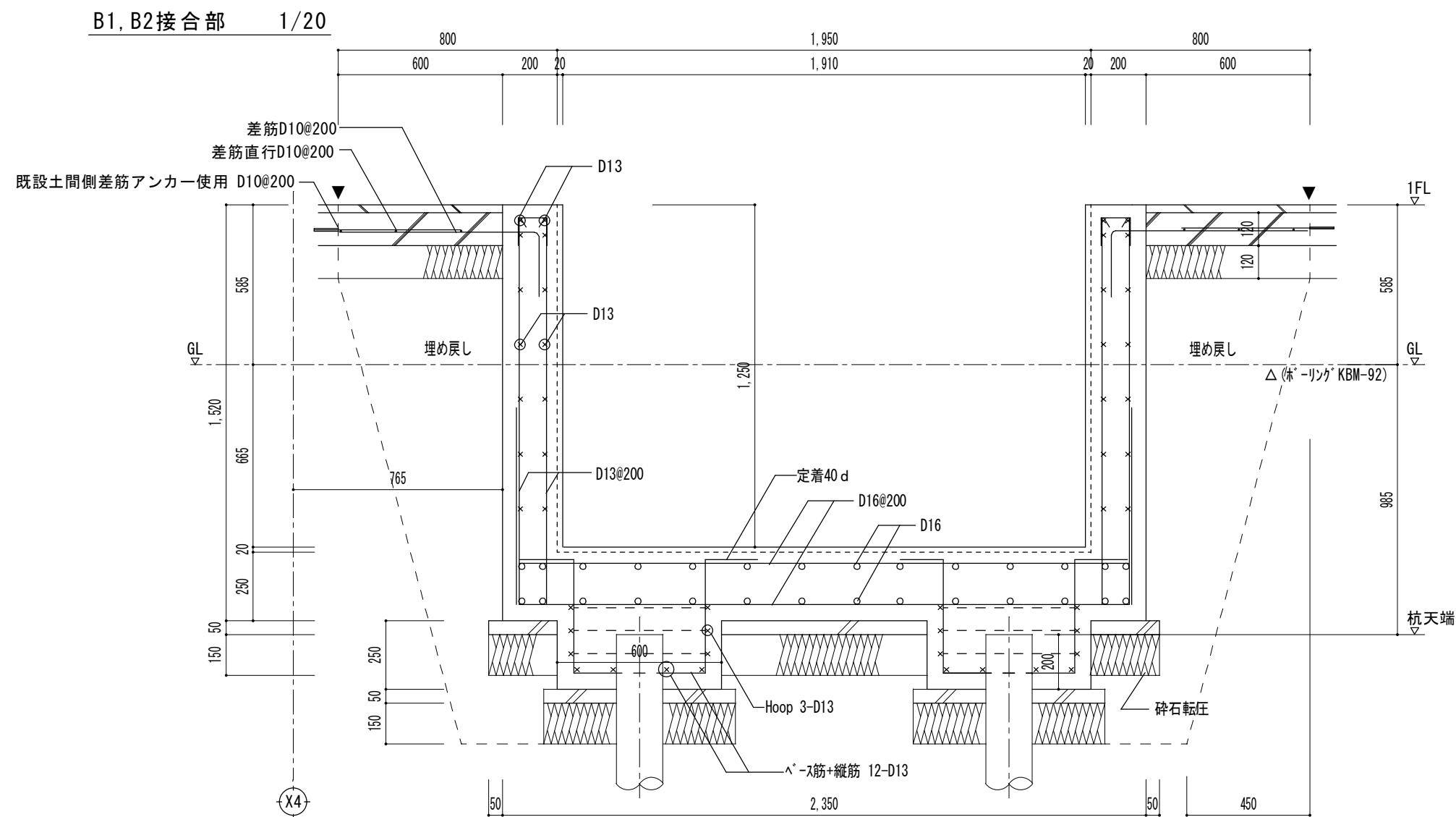
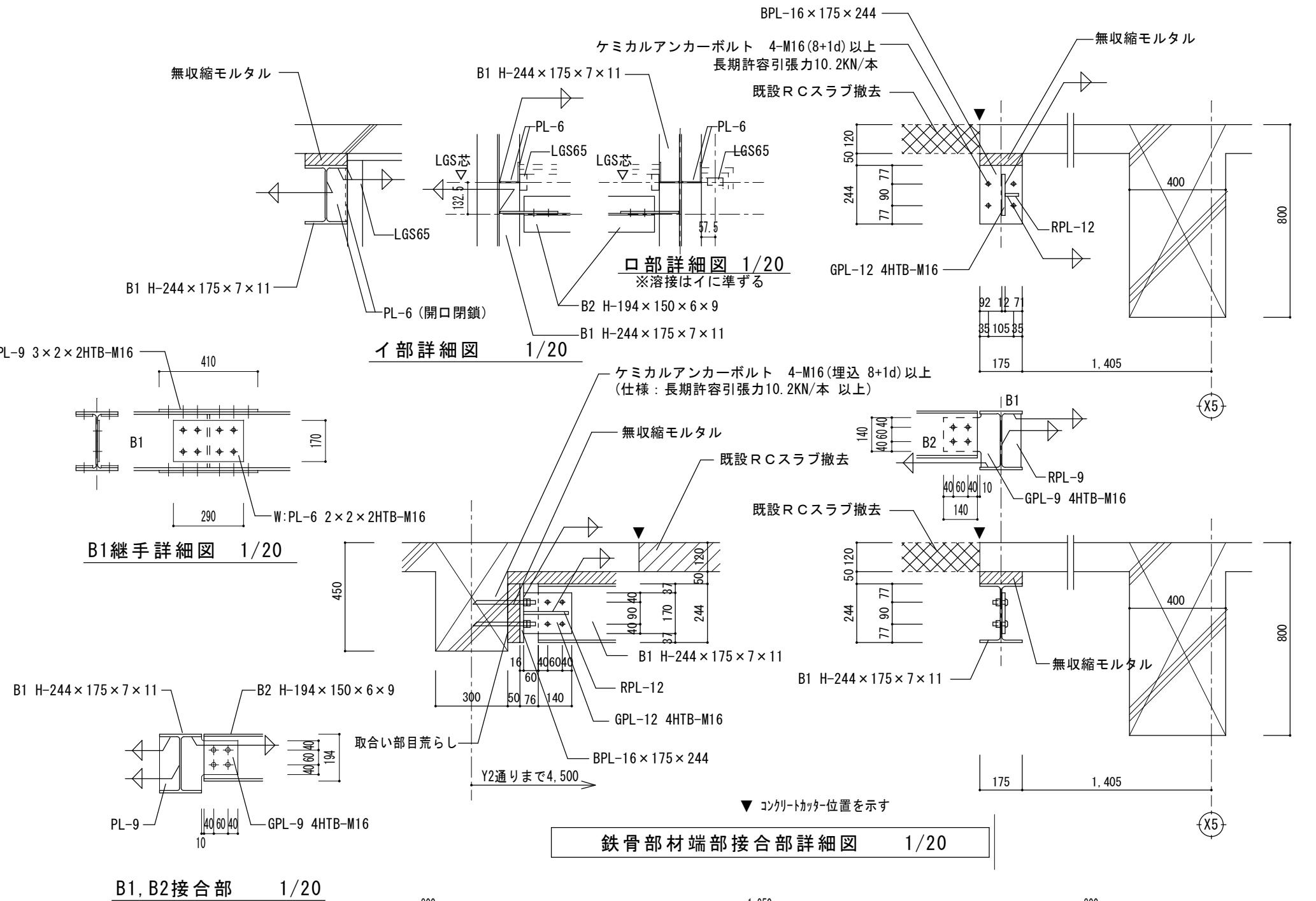
※調査位置は配置図参照

特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2 1/50 A3 1/70.7	エレベーター廻り構造詳細図(1)	**
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之					原図:A2

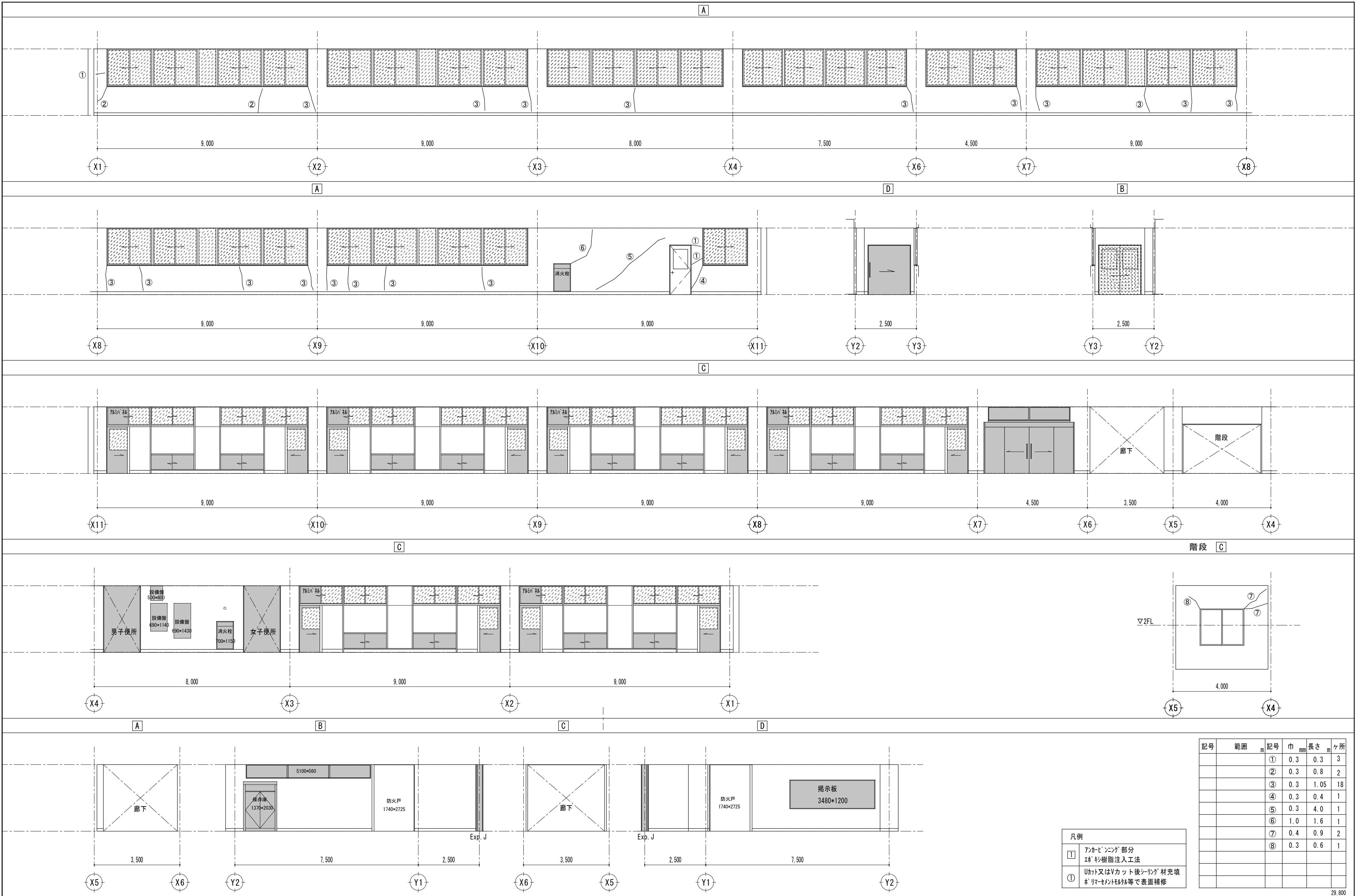


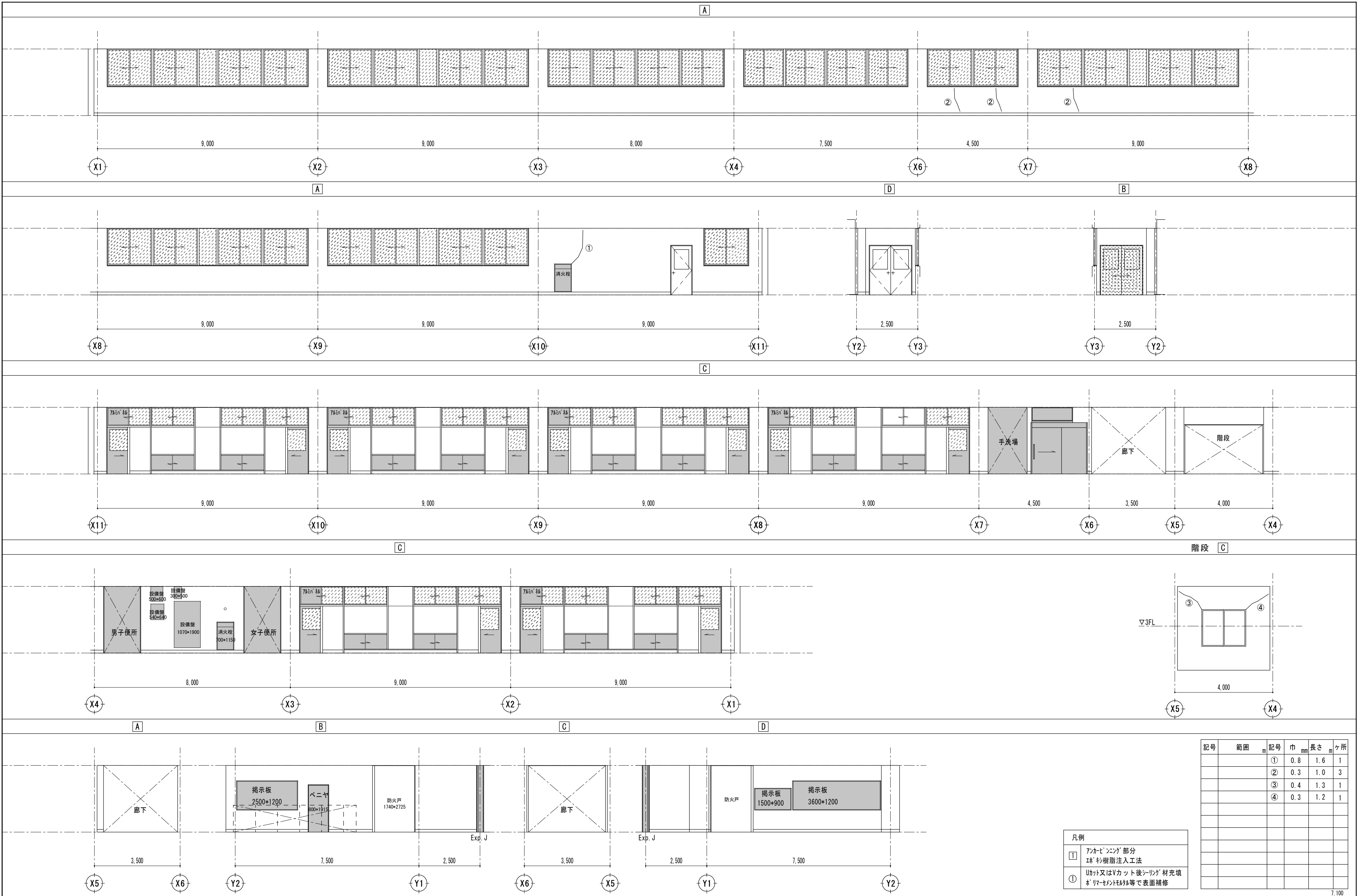
・ コンクリート 普通コンクリート $F_c=24+S$ (躯体、土間コンクリート) $F_c=21$ (捨てコンクリート) ・ 鉄 筋 SD295 (D16以下) SD345 (D19以上) ・ 鉄 骨 SS400 (H形鋼、鋼板) ・ 高力ボルト S-10T ・ 鉄骨錆止 一般錆止め塗料 (工場 1 回塗り+現場 1 回塗り)	杭：先端羽根付鋼管杭 (杭工法：スクリューパイプ EAZET 工法) 165.2φ t=7.1 (Dw450×22mm) STK490 L=5m (1m×5本) 施工機械：SS917* (特殊小型機械) ※試験杭：1本目を試験杭とする。 先端支持層の確認を行う。
---	--

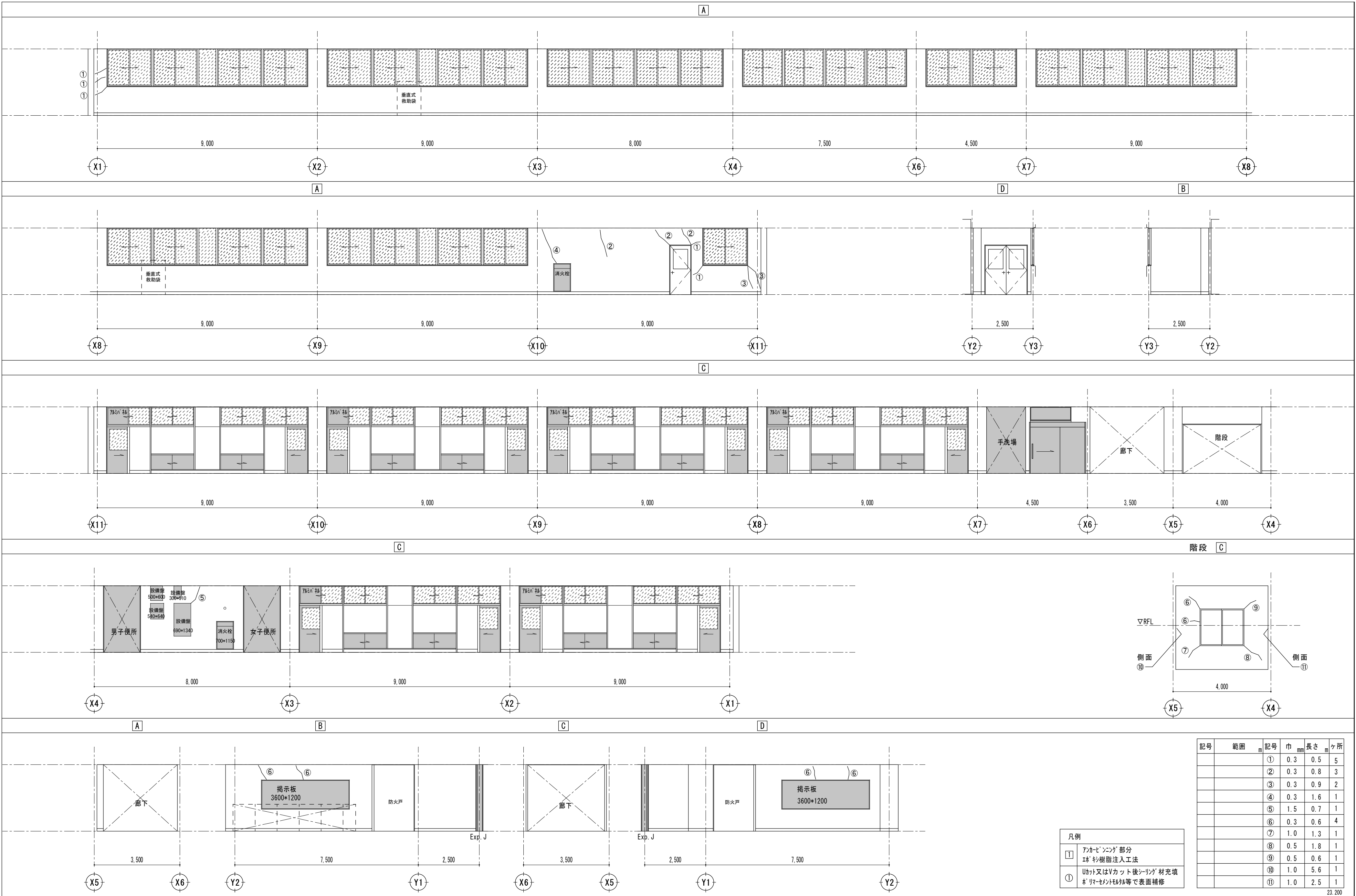
部材 記号	名 称	部 材	接合部	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-75×75×6	EⅤ詳細参考図を参照	建築工事
b	敷居取付材	L-150×150×12	EⅤ詳細参考図を参照	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	EⅤ詳細参考図を参照	建築工事
d	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	PL-t12	EⅤ詳細参考図を参照	建築工事
k	揚重ビーム	H-100×100×6×8	EⅤ詳細参考図を参照	建築工事
B1 B1a	補強梁	H-244×175×7×11	当図面による	建築工事
B2	補強梁	H-194×150×6×9	当図面による	建築工事



特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺 1/20 1/50 1/100 A2 1/28.3 A3 1/70.7 1/141.4	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0.	
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897							A-65
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計					**
			登録番号(1)第2118号	内 田 貴 之						原図:A







特記	月	日	U 建 築 設 計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N0.
			三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897					A-69	
			一級建築士事務所	一級建築士第 2 4 8 1 6 0 号	設計		A2 1/100 A3 1/141.4	4 階 廊 下 劣 化 調 査 (参 考)	**
			登録番号 (1) 第 2 1 1 8 号	内 田 貴 之				原 図 : A2	

